

DTX Studio™ suite - providing you continuity of care

The DTX Studio suite powers your patient visits, every time, for every patient. From diagnostics, to treatments to collaboration and follow-up. For your entire team, for your patient.



DTX Studio suite



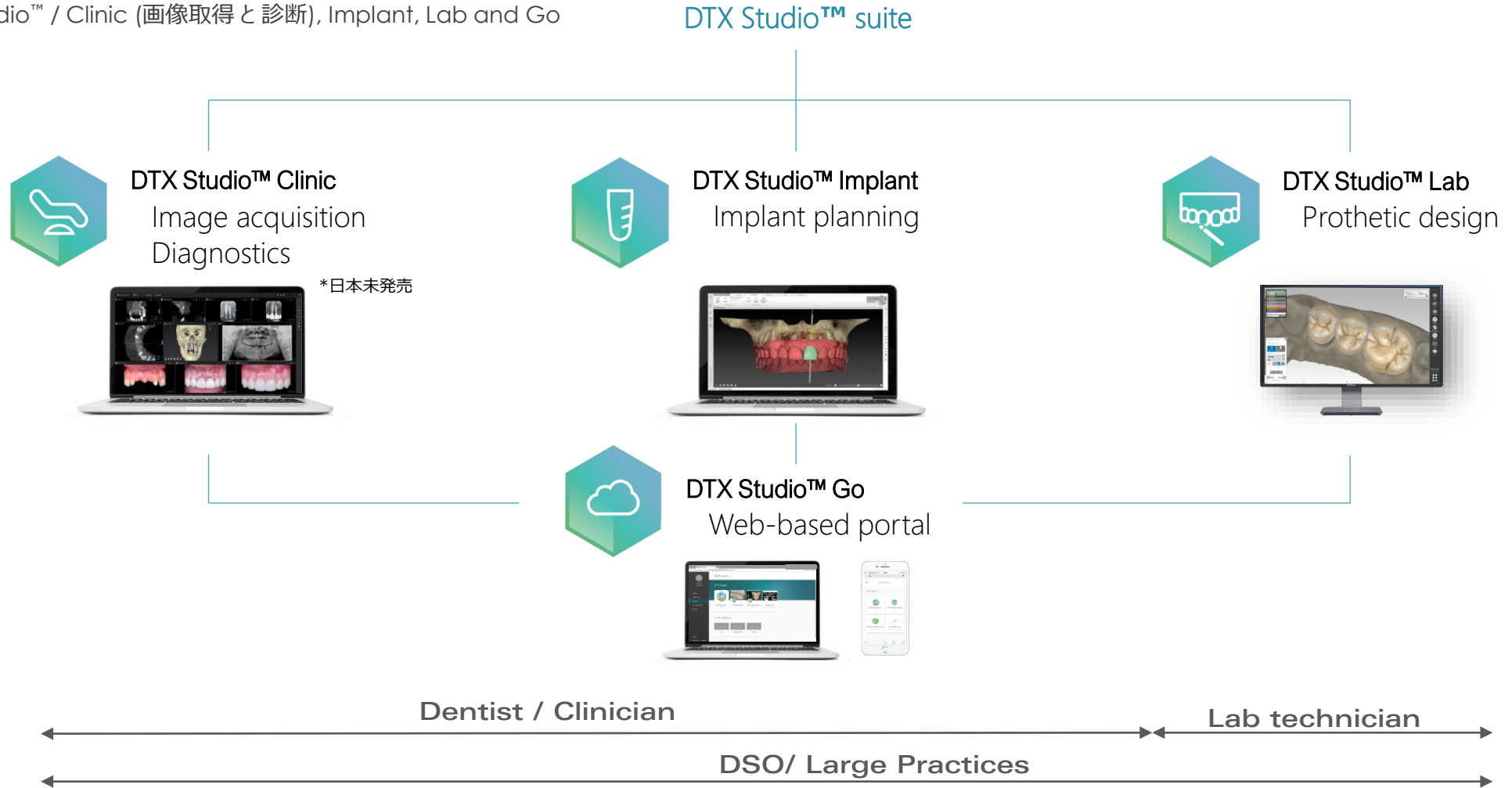
Contents

• DTX Studio™ suiteについて . . .	03	• DTX Studio™ Implant – Workflow . . .	
• DTX Studio™ Goでできる事 . . .	06	• TempShell . . .	76
• DTX Studio™ Implantでできる事 . . .	07	• Chair side (Order) . . .	81
• DTX Studio™ Labでできる事 . . .	08	• Lab side (Receive and Reply) . . .	84
• One Connected Workflow DTX Studio™ suite . . .	09	• Chair side (Receive) . . .	90
• DTX Studio™ Go – Workflow . . .	10	• Surgical template Local production order . . .	93
• Restoration order . . .	12	• Chair side (Order) . . .	94
• Chair side (Order) . . .	13	• DTX Studio™ Go (Receive) . . .	102
• Lab side (Receive) . . .	20	• Lab side (Receive and design and export) . . .	105
• ConstructionInfo . . .	32	• DTX Studio™ Other – Workflow . . .	112
• DTX Studio™ Implant – Workflow . . .	37	• DTX Studio™ Ecosystem – immediate full arch provisional . . .	113
• Scan order . . .	39	• Contact support . . .	126
• Chair side (Order) . . .	40		
• Lab side (Receive and Reply) . . .	47		
• Chair side (Receive) . . .	55		
• Add lab design . . .	62		
• Chair side (Order) . . .	64		
• Lab side (Receive and Reply) . . .	68		
• Chair side (Receive) . . .	73		

DTX Studio™ suite は 3つのソフトウェアと1つのWeb Portalの総称です。

DTX Studio™ suiteの4つの主要コンポーネント:

DTX Studio™ / Clinic (画像取得と診断), Implant, Lab and Go





DTX Studio™ Go

DTX Studio™のすべてのソフトウェアバージョンおよび加入状況に関する詳細情報を表示するオンラインプラットフォーム
(ウェブサイト)
レストレーションオーダーや、サージカルテンプレートの.stlファイルをダウンロードします



DTX Studio™ Implant

歯科医師および臨床医の2Dおよび3D診断（および治療計画）ソフトウェア



DTX Studio™ Clinic *日本未発売

診療におけるすべての画像データを取得し管理および視覚化するためのソフトウェア



DTX Studio™ Lab

歯科技工士のための補綴設計ソフトウェア
インラボ製造とプロダクションセンター製造



DTX Studio™ Core *日本未発売

患者データベースと全てのイメージングデバイスとの接続および管理
(KAVOおよび他社のイメージングデバイス機器)

DTX Studio™ suite

One Connected Workflow DTX Studio™ suite



DTX Studio™ suiteでは、顧客に合わせた好み、患者のニーズに最も合ったワークフローを選択することができます。

ワークフロー効率を差別化してサポートします。

DTX Studio™ suiteは、歯科医院から歯科技工所まで、治療チーム全体をつなぎます。

誰もがどこからでも単一のソフトウェアソリューションにアクセスして使用することができます。

MacとWindowsの両方で利用可能です。
(* DTX Studio Lab ソフトウェアは除く)



患者データのキャプチャ

診療におけるすべての画像データを取得し視覚化するためのソフトウェア。歯科医院や研究室のテクノロジーを1つのプラットフォームで結び付けます。



DTX Studio™ Clinic
画像取得 & 診断機能
*日本未発売

3Dおよび2Dイメージング装置との接続及び画像取得

- KaVo、Gendex、i-CAT、Instrumentarium、その他のイメージング機器
- KaVo、DEXIS、Gendexおよびその他のイメージング装置

口腔内患者情報の取得

- LS 3スキャナーおよびその他のデスクトップスキャナー
- DEXIS CariVu*とその他の口腔内カメラ

(*カポデンタルシステムズ株式会社へお問い合わせください)



診断、計画、デザイン

審査診断、インプラント治療計画を視覚化し、サージカルテンプレート製作やX-Guideのデータ転送など、インプラン治療ソリューションをサポートするソフトウェア。顧客のニーズと臨床に最も最適なソフトウェアモジュールで、治療チームのコラボレーション力が向上します。



DTX Studio™ Implant
インプラント治療計画

インプラント手術

- X-Guide 3Dナビゲーションインプラント手術
- ノーベルガイド(パイロットガイドとフルガイド)による、インプラント手術



補綴設計と製造

最終補綴装置の設計製造を担うソフトウェア。DTX Studio Implantと信頼できる製造元を簡単に接続でき、補綴計画や計画を基にした即時テンポラリーの製作など、手術プロトコルをサポートします。



DTX Studio™ Lab
補綴装置デザイン

補綴装置の製造:

- CAD / CAM修復物、樹脂模型および外科用テンプレートのラボ製作
- 工業用機器によるノーベルプロセアでの製造



DTX Studio™ Go

DTX Studio™ Go Webクラウドポータルへパーソナライズされたオンラインアクセスにより、アカウント、ユーザーライセンスの管理、トレーニングへのアクセス、ラボや紹介とのコラボレーションが可能になります。

スムーズなコラボレーションDTX Studio™ Goを使用すると、近隣の診療所、ラボ、またはその他のサービスプロバイダーを検索して見つけることができます。DTX Studio™スイートを使用して、接続された臨床医にインプラント計画を外部委託するか、接続されたラボで補綴修復物またはTempShell™を注文します。ノーベルバイオケアの製造施設でNobelProcera®インプラントバーを注文することもできます。デンタルスキャンリクエストとローカルプロダクションのプレートリクエストは、DTX Studio™ Goを介して管理することもできます。

DTX Studio™ Goは、すべてのコンピューターおよびモバイルデバイスで利用できるオンラインプラットフォームであり、ソフトウェアインストーラーのダウンロード、インストールの管理、および他のDTX Studio™スイートユーザーへの接続を可能にします。スキャンやTempShellリクエストなど、DTX Studio™スイート接続への注文を簡単にフォローアップできます。

(* DTX Studio スイートユーザーへの接続(コネクト)方法は、DTX Studio Go ユーザーマニュアルを参照してください)

DTX Studio™ Goでシェアできる事

License & order management

ライセンスとオーダーの管理

Share

- GoShare

患者ファイルの共有

Order

- Surgery plan order
- Restoration order
- NobelProcera service order

米国のみ
補綴修復物のオーダー (DTX Studio Lab)
現在サービス中止

Request

- Template request

STLファイルのダウンロード

ConstructionInfo

マテリアル製造情報ファイルのダウンロード



DTX Studio™ Implantでシェアできる事

Order

- Scan order (DTX Studio Lab)
- Add lab design (DTX Studio Lab)
- TempShell order (DTX Studio Lab)
- Surgical Template Local production order
- Surgical Template Production center order

Receive

- Scan order (DTX Studio Lab)
- Add lab design (DTX Studio Lab)
- TempShell order (DTX Studio Lab)

Share (Communicate)

- Viewer
- iPad Communicator
- Osseo Care Pro
- X-Guide

Nobel Connect

- Connection
- Online up load
- Share

SmartFusionデータのオーダー
補綴デザインのオーダー
テンプレートのデザインおよび製造のオーダー
ローカルプロダクションオーダー (Go & Lab)
プロダクションセンターオーダー

SmartFusionデータの受信
補綴デザインの受信
テンプレートのデザインの受信

ビューアファイル作成、シェア、エクスポート
コミュニケーションファイル作成、シェア
オッセオケアプロファイルのシェア
X-ガイドファイルのエクスポート

カスタマー間のコネクション
.ncleファイルのサーバーアップロード
.ncleファイルの共有



DTX Studio™ Implant

歯科医師および臨床医の2Dおよび3D診断（および治療計画）
ソフトウェア

患者の解剖学的構造と補綴要件に従って、主要なインプラントシステムのインプラントを計画します。

手術用プレートまたは3Dナビゲートインプラント手術を使用して、
計画を実現します。



DTX Studio™ Labでシェアできる事

Order

- TempShell order
- Surgical Template order
- Procera products order
- Restoration order

テンプレルのインラボ製造
サージカルテンプレートのインラボ製造
プロセラプロダクトのセンターオーダー
補綴修復物のファイルエクスポート

Receive

- Scan request (DTX Studio Implant)
- Add lab design (DTX Studio Implant)
- TempShell request (DTX Studio Implant)
- Surgical Template design
- Restoration Order (DTX Studio Go)

SmartFusionオーダーの受信
補綴デザイン・リクエストの受信
テンプレルのデザイン・リクエストの受信
サージカルテンプレートのデザイン・リクエスト
補綴製作オーダーリクエストの受信

Reply

- Scan request (DTX Studio Implant)
- Add lab design (DTX Studio Implant)
- TempShell request (DTX Studio Implant)

SmartFusionデータの返信
補綴デザインの返信
テンプレルデザインの返信



DTX Studio™ Lab

歯科技工士のための補綴設計ソフトウェア
インラボ製造とプロダクションセンター製造

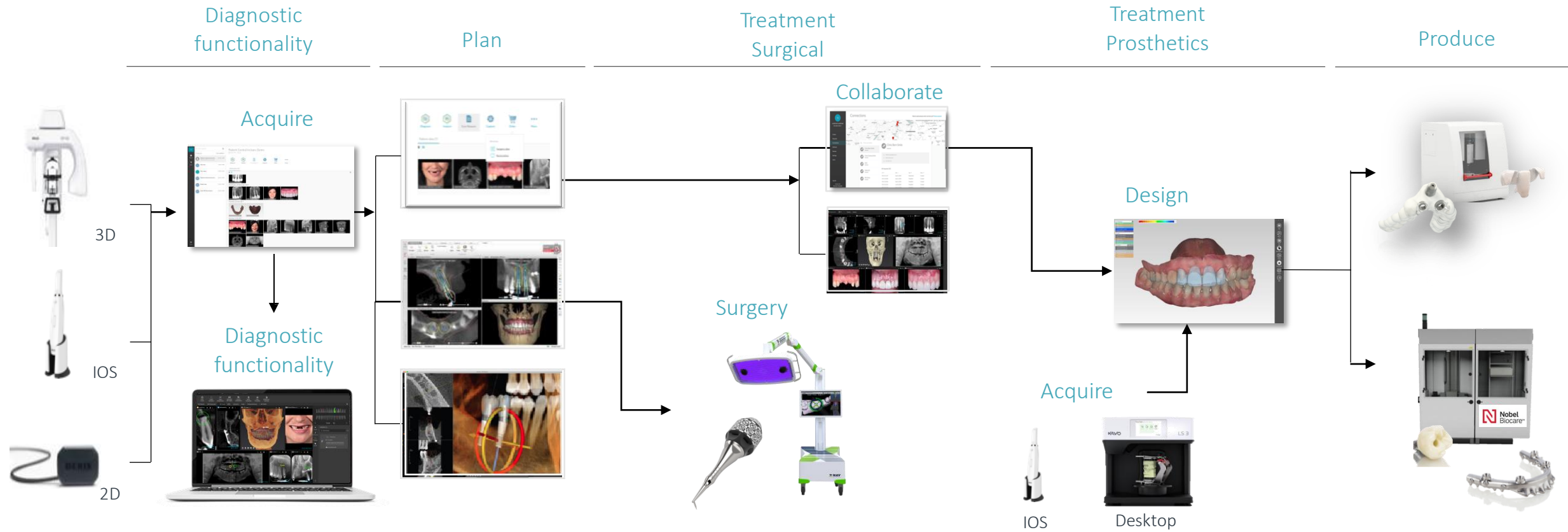
主要な口腔内およびデスクトップスキャナーの入力に対してオープンであり、インハウスで生産したり、プロダクションセンターに接続したりすることができます。

歯科技工所と臨床医を治療計画から最終的な修復まで共有するワークフローを促進します。



DTX Studio™ suite

One Connected Workflow DTX Studio™ suite



*日本未発売



DTX Studio™ Go

Workflow





DTX Studio™ Go

DTX Studio™ Go Webクラウドポータルへパーソナライズされたオンラインアクセスにより、アカウント、ユーザーライセンスの管理、トレーニングへのアクセス、ラボや紹介とのコラボレーションが可能になります。

スムーズなコラボレーションDTX Studio™ Goを使用すると、近隣の診療所、ラボ、またはその他のサービスプロバイダーを検索して見つけることができます。DTX Studio™スイートを使用して、接続された臨床医にインプラント計画を外部委託するか、接続されたラボで補綴修復物またはTempShell™を注文します。ノーベルバイオケアの製造施設でNobelProcera®インプラントバーを注文することもできます。デンタルスキャンリクエストとローカルプロダクションのプレートリクエストは、DTX Studio™ Goを介して管理することもできます。

DTX Studio™ Goは、すべてのコンピューターおよびモバイルデバイスで利用できるオンラインプラットフォームであり、ソフトウェアインストーラーのダウンロード、インストールの管理、および他のDTX Studio™スイートユーザーへの接続を可能にします。スキャンやTempShellリクエストなど、DTX Studio™スイート接続への注文を簡単にフォローアップできます。

(* DTX Studio スイートユーザーへの接続(コネクト)方法は、DTX Studio Go ユーザーマニュアルを参照してください)

DTX Studio™ Goでシェアできる事

License & order management

ライセンスとオーダーの管理

Share

- GoShare

患者ファイルの共有

Order

- Surgery plan order
- Restoration order
- NobelProcera service order

米国のみ
補綴修復物のオーダー (DTX Studio Lab)
現在サービス中止

Request

- Template request

STLファイルのダウンロード

ConstructionInfo

マテリアル製造情報ファイルのダウンロード





DTX Studio™ Go

Restoration order



DTX Studio™ Go



DTX Studio™ Lab





DTX Studio™ Go

Chair side

修復物オーダーリクエスト (オーダー側)

DTX Studio™ Goから修復物の注文ができます。
(IOSファイルや臨床写真を含めることができます)

- DTX Studio Goからリクエストされたオーダーは、【DTX Studio™ Lab (DTX Studio™ design)】のユーザーがソフトウェア上で直接リクエスト(技工指示とIOSデータ)を受け取る事が可能です。
- 受け取ったデータはデザインソフトウェアに取り込まれ、補綴装置のデザインおよびオーダーが行なえます。

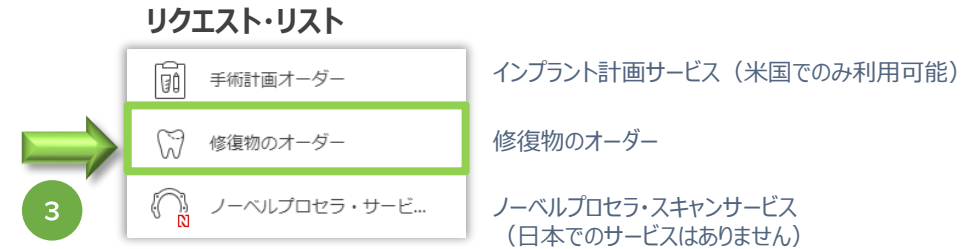
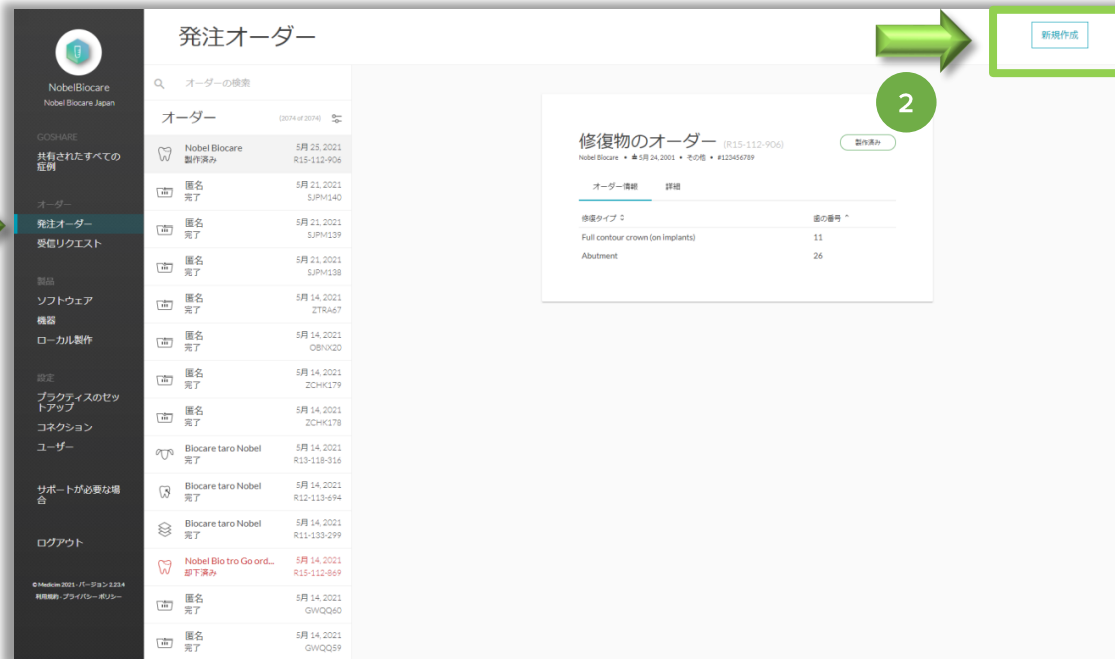




DTX Studio™ Go Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (to DTX Studio Lab)

1 【発注オーダー】から【新規作成】をクリックします。

2 リクエスト・リストから【修復物のオーダー】をクリックします。





DTX Studio™ Go Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (to DTX Studio Lab)

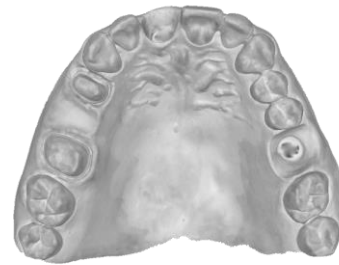
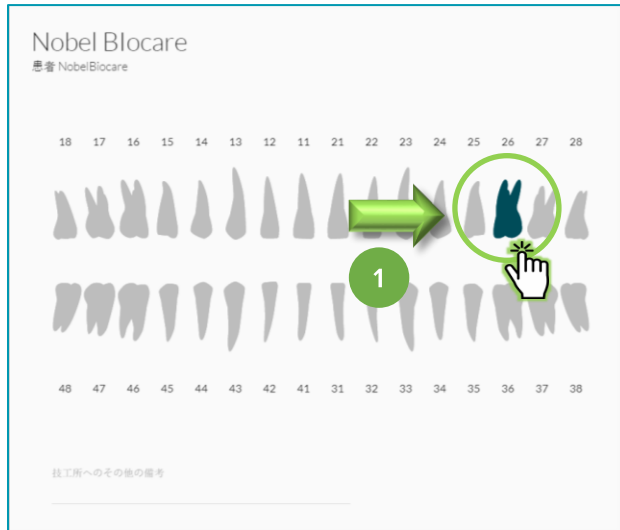
3 患者情報を入力し、【次へ】をクリックします。

4 【歯科技工所】欄をクリックし、コネク先を選択します。（* 事前にラボとのコネクが必要です。）
期日を選択し、【次へ】をクリックします。



DTX Studio™ Go Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (to DTX Studio Lab)

5 修復部位をクリックします。



例)
26番へNobelParallelCC RP用
Abutmentをオーダーする場合

6 補綴装置のタイプ、補綴修復オプション、インプラント情報を選択します。
(天然歯修復の場合はインプラント情報は表示されません。)
【保存】をクリックします。

修復の詳細

2

選択された歯または範囲
26

補綴修復タイプの検索または選択
Abutment 補綴タイプの選択

補綴修復オプション (オプション)

認証を受けた製品のみを許可

マテリアル
Zr

シェード
A3

デザインについてのコメント

インプラント情報

歯番号 26 メーカー名 Nobel Biocare®

インプラント製品/サイズ
NobelParallel CC - RP

インプラントの場合

メーカーの選択

サイズの選択

保存

3



DTX Studio™ Go Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (to DTX Studio Lab)

7 他の修復物がある場合は【+他の補綴修復の追加】をクリックし、指示を追加します。
前項4～5のステップを実行します

Nobel Biocare
患者 NobelBiocare

補綴修復の概要 添付ファイル (0)

26 Abutment ×

+他の補綴修復の追加

他の修復物を追加する場合

Nobel Biocare
患者 NobelBiocare Times

補綴修復の概要 添付ファイル (0)

11 Full contour crown (on implants) ×
26 Abutment ×

+他の補綴修復の追加

複数の修復物を追加した場合

8 IOSなどのデータがある場合は、【添付ファイル】のタブをクリックします。

Nobel Biocare
患者 NobelBiocare

補綴修復の概要 添付ファイル (0)

26 Abutment ×

+他の補綴修復の追加

STLデータを添付する場合

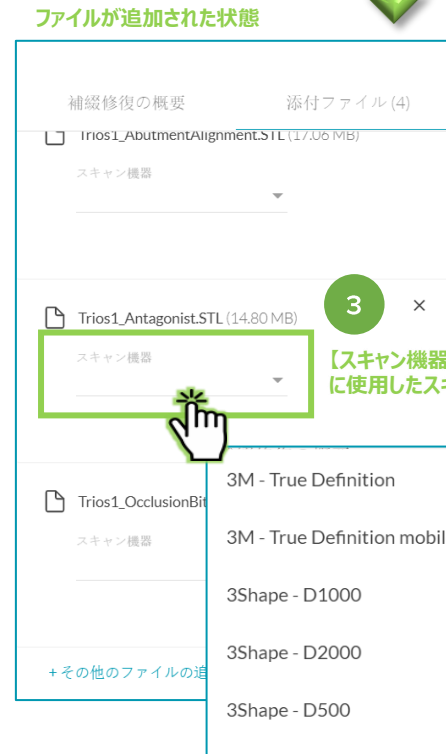
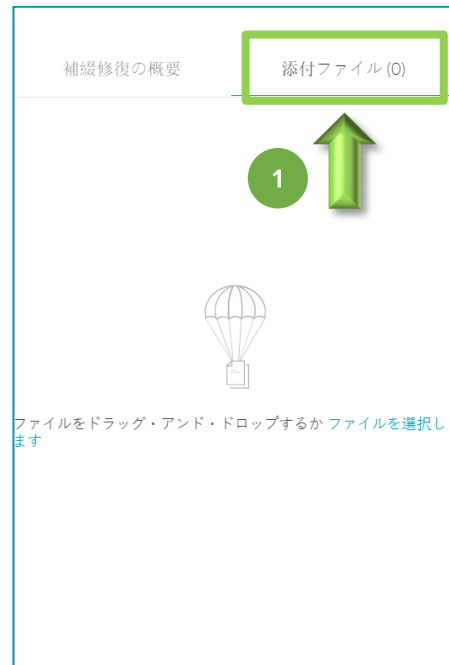
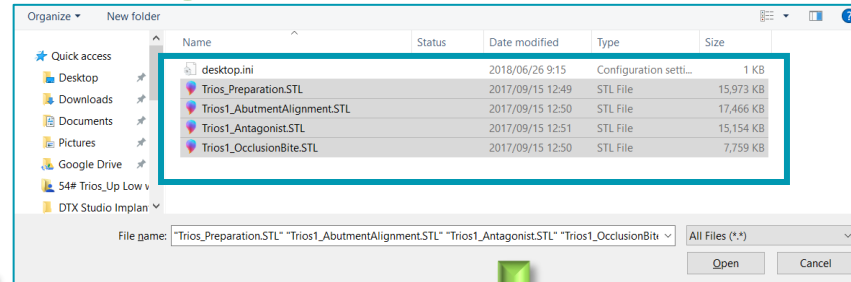


DTX Studio™ Go Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (to DTX Studio Lab)

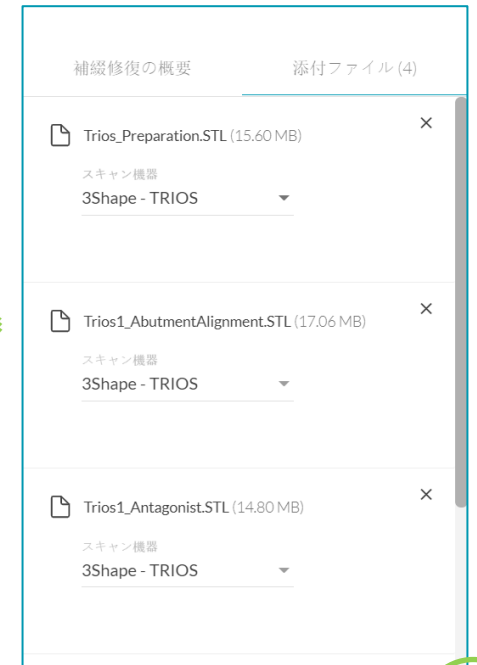
9 【添付ファイル】のタブをクリックし、ファイルの選択および設定を選択します。選択後【終了】をクリックします。

- 2 ファイルを選択します。
ドラッグ・アンド・ドロップ
ファイルを選択をクリック
- 3 追加されたファイルを読み取った機器を選択します。
- 4 【スキャン機器】欄をクリックします。

2 必要なファイルを選択します



【スキャン機器】欄をクリックし、口腔内撮影に使用したスキャナータイプを選択します





DTX Studio™ Go Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (to DTX Studio Lab)

10 DTX Studio™ Goの【発注オーダー】に履歴が表示されます。



Nobel Biocare
Nobel Biocare Japan

新規作成

GO SHARE
共有されたすべての症例

オーダー

発注オーダー

受信リクエスト

製品

ソフトウェア

機器

ローカル製作

認定

プラクティスのセットアップ

コネクション

ユーザー

サポートが必要な場合

ログアウト

© Medicom 2021 - バージョン 2.23.4
利用規約: プライバシーポリシー

発注オーダー

オーダーの検索

オーダー (2074 of 2074)

オーダー	日付	ステータス
Nobel Biocare 製作済み	5月 25, 2021 R15-112-906	完了
匿名	5月 21, 2021 SJPM140	完了
匿名	5月 21, 2021 SJPM139	完了
匿名	5月 21, 2021 SJPM138	完了
匿名	5月 14, 2021 ZTR467	完了
匿名	5月 14, 2021 OBNX20	完了
匿名	5月 14, 2021 ZCHK179	完了
匿名	5月 14, 2021 ZCHK178	完了
Biocare taro Nobel	5月 14, 2021 R13-118-316	完了
Biocare taro Nobel	5月 14, 2021 R12-113-694	完了
Biocare taro Nobel	5月 14, 2021 R11-133-299	完了
Nobel Bio tro Go ord... 却下済み	5月 14, 2021 R15-112-869	完了
匿名	5月 14, 2021 GWQQ60	完了
匿名	5月 14, 2021 GWQQ59	完了

修復物のオーダー (R15-112-906)

Nobel Biocare • 5月 24, 2021 • その他 • #123456789

製作済み

オーダー情報 詳細

修復タイプ	歯の番号
Full contour crown (on Implants)	11
Abutment	26



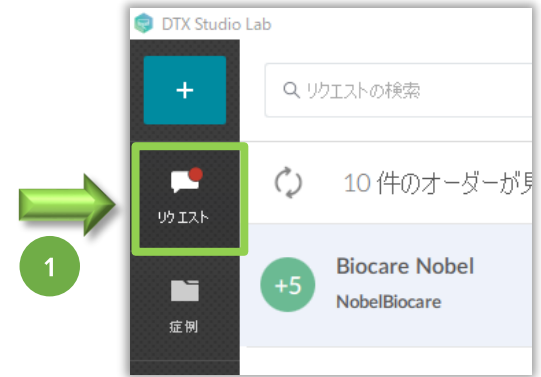
DTX Studio™ Lab Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (from DTX Studio Go)

Lab side

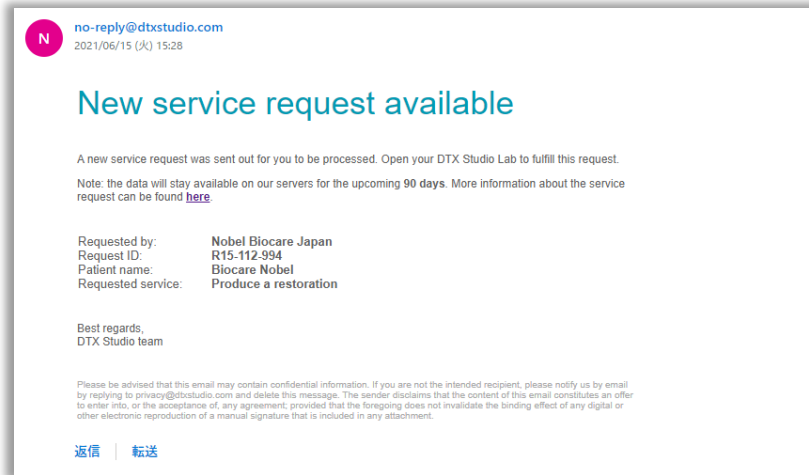
修復物オーダーの受信 (受信側)

DTX Studio™ Goから修復物データの受信とデザイン。

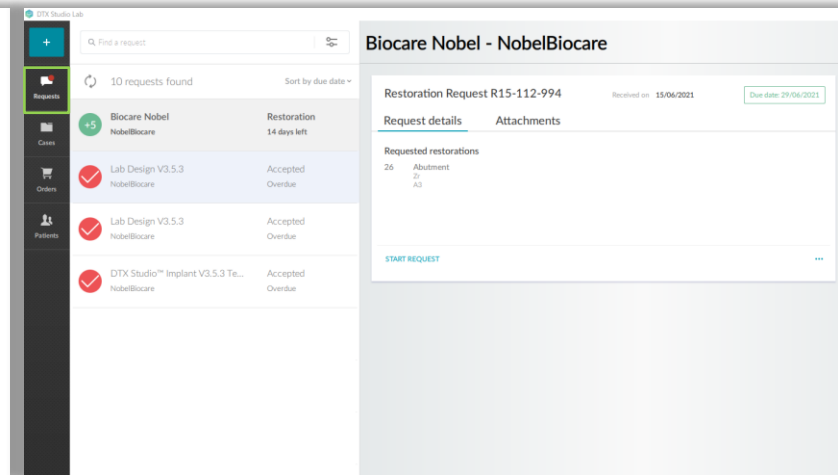
【DTX Studio™ Go】からオーダーされた修復物リクエストを、DTX Studio™ Lab ソフトウェアで受け取り、デザインおよびオーダーが可能です。



E mail



DTX Studio Lab



11 DTXの登録メールアドレスに、リクエストの案内が送信されます。DTX Studio Lab ソフトウェアを起動し、リクエストを開きます。



DTX Studio™ Lab Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (from DTX Studio Go)

12 リクエストの詳細から、【リクエストの開始】をクリックします。
データのダウンロードを開始します。



13 【症例を追加】から症例情報を確認し、【次へ】をクリックします。



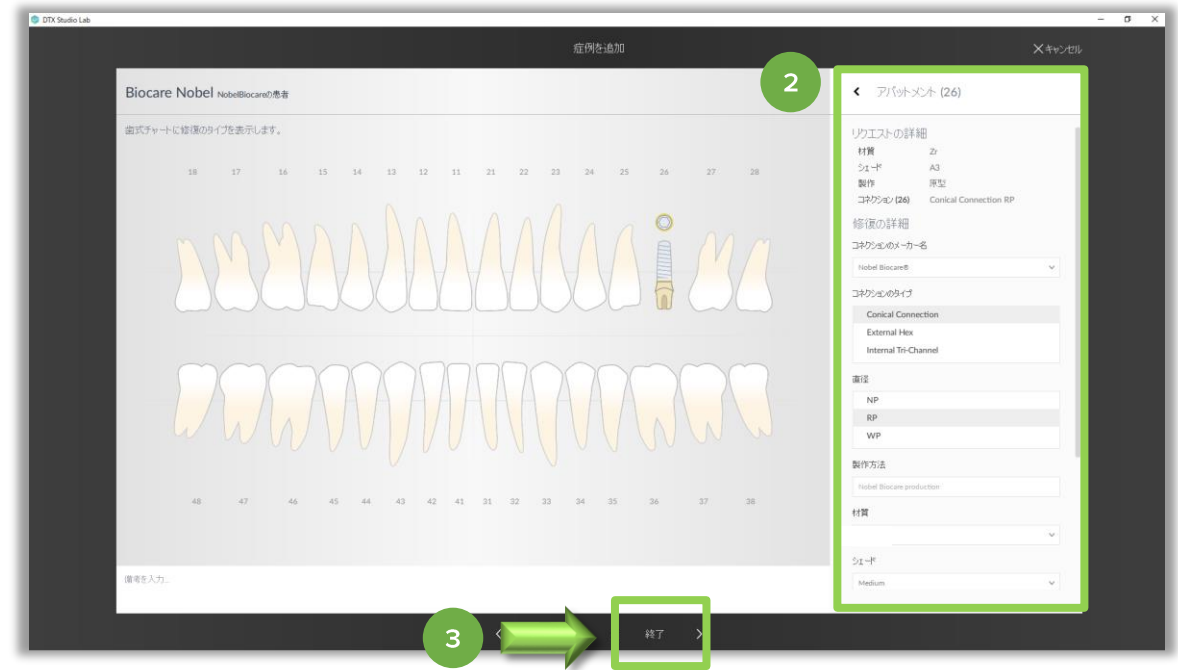


DTX Studio™ Lab Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (from DTX Studio Go)

14 補綴修復の画面から、【修復の詳細の追加】をクリックします。



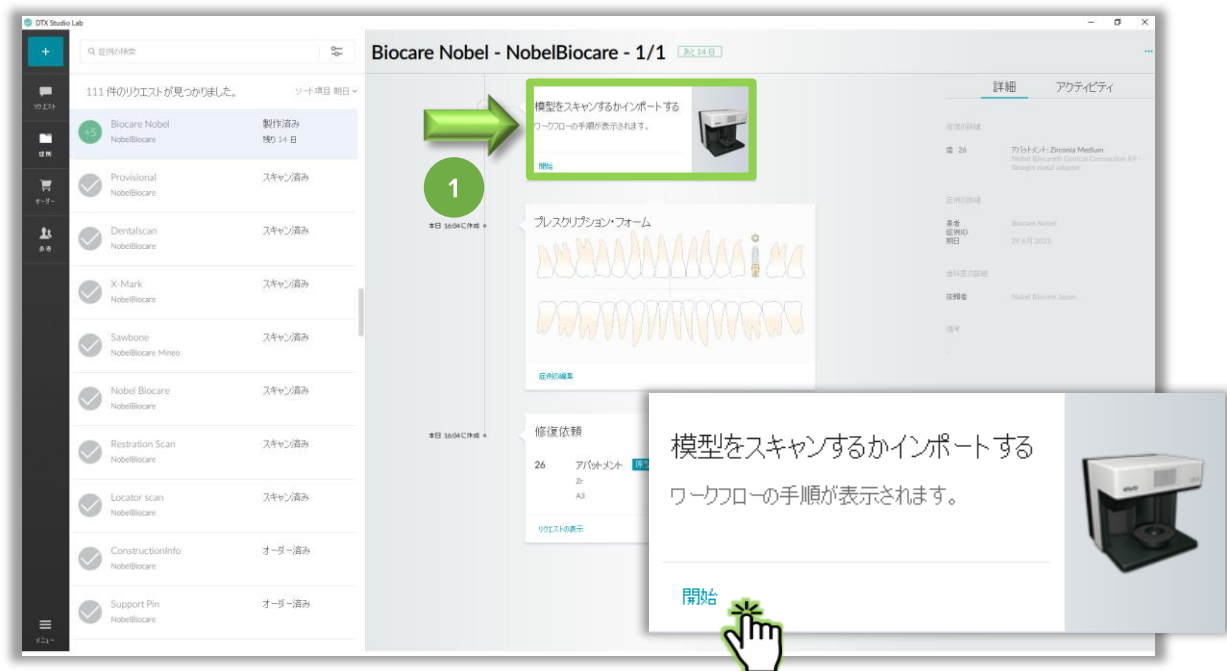
15 オーダー側が設定したリクエスト詳細が反映されます。指示内容の確認または変更を設定し、【終了】をクリックします。



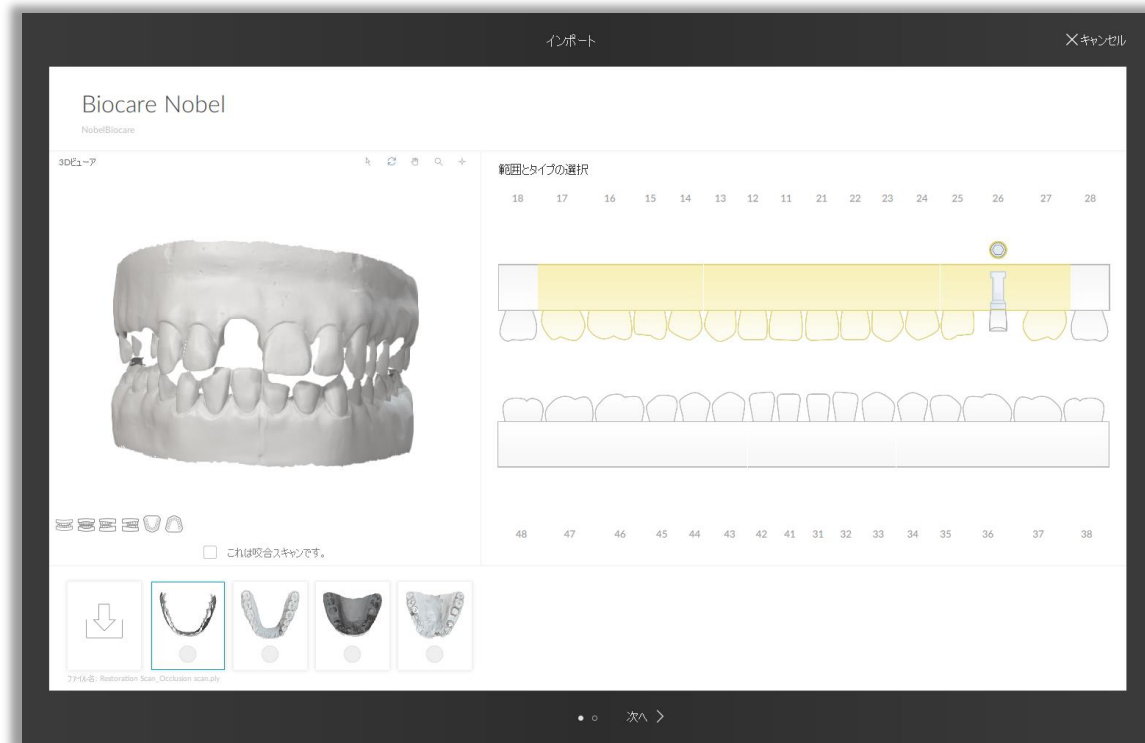


DTX Studio™ Lab Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (from DTX Studio Go)

16 【模型をスキャンするかインポートする】ウィンドウから、【開始】をクリックします。



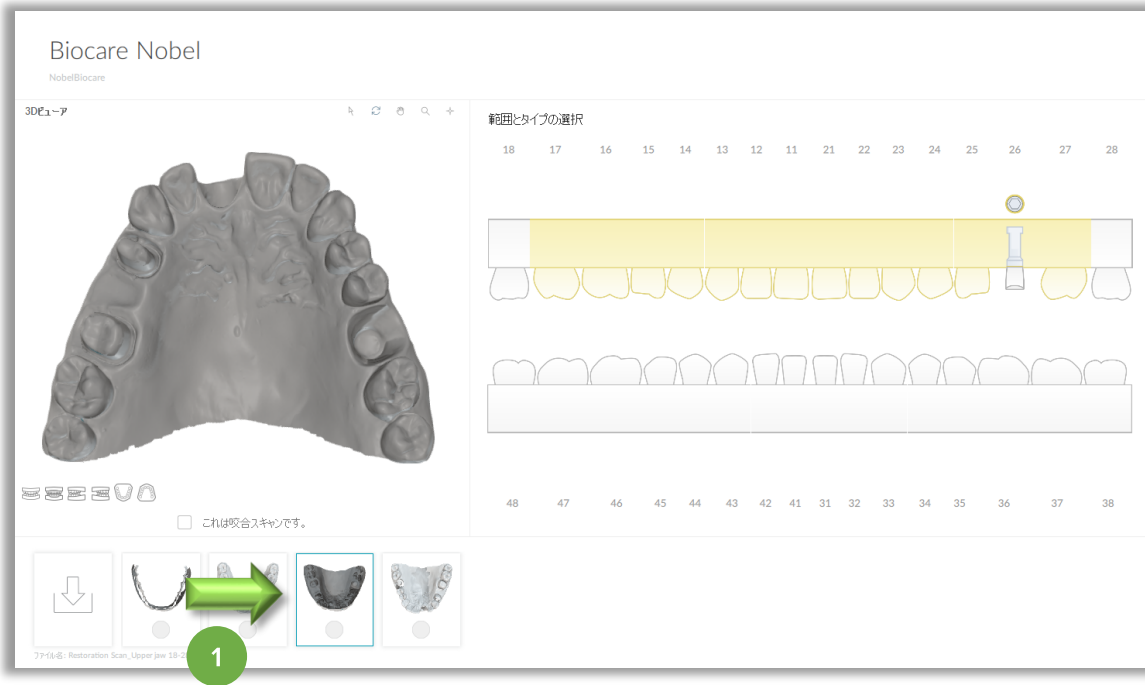
17 デザイン画面が起動します。
インポートするデータを指定します。



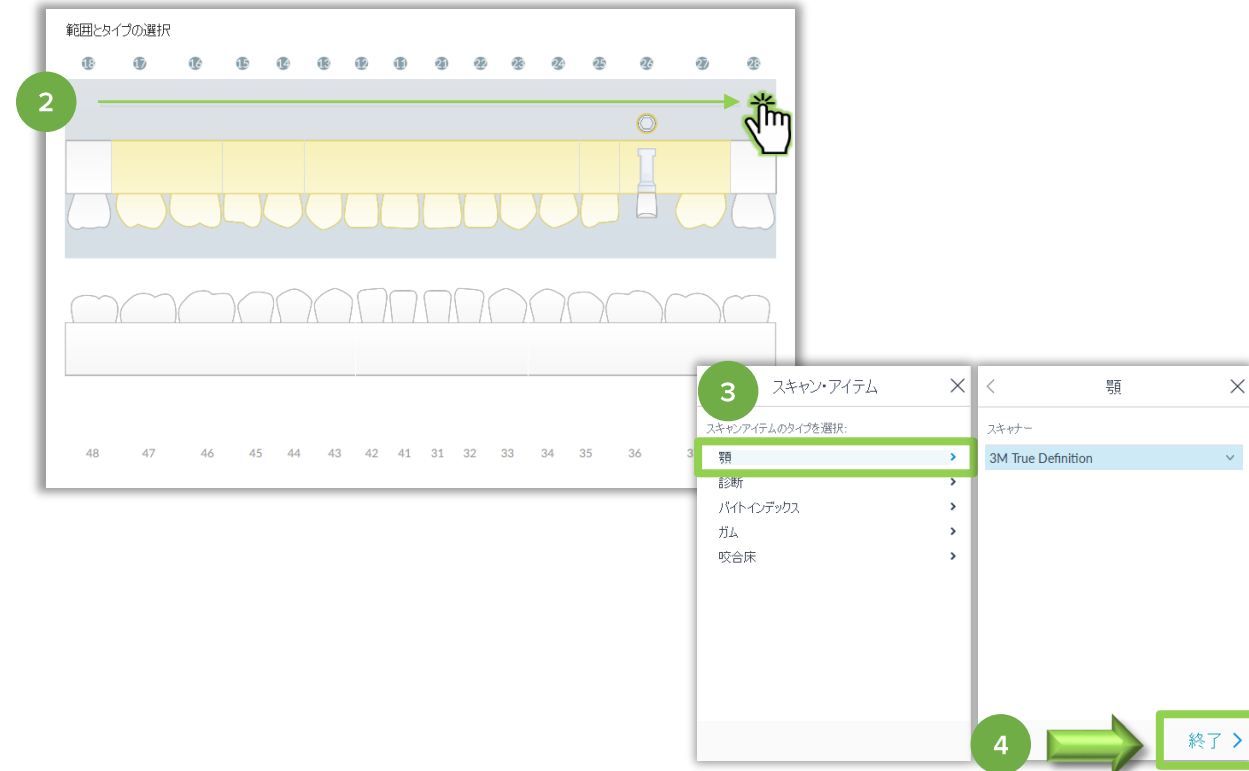


DTX Studio™ Lab Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (from DTX Studio Go)

18 修復する顎のデータを選択します。



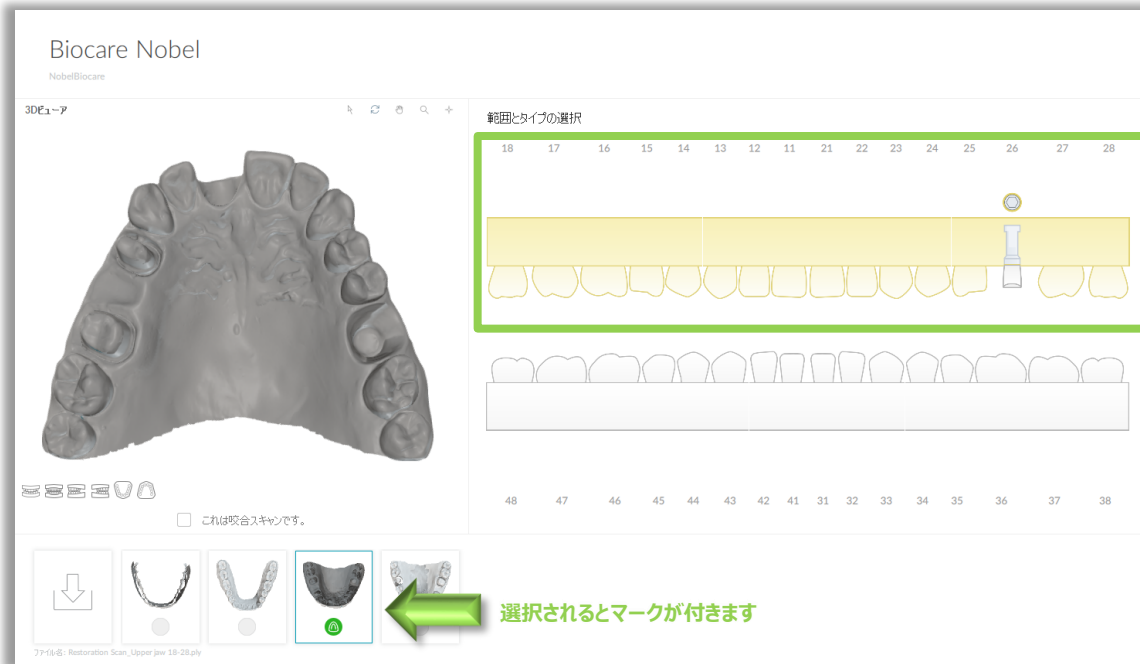
19 データに合わせ、顎の範囲を選択します。(左ドラッグで範囲選択)
スキャンアイテム画面から、スキャンアイテムのタイプ(顎データを選択)とスキャナーを選択します。



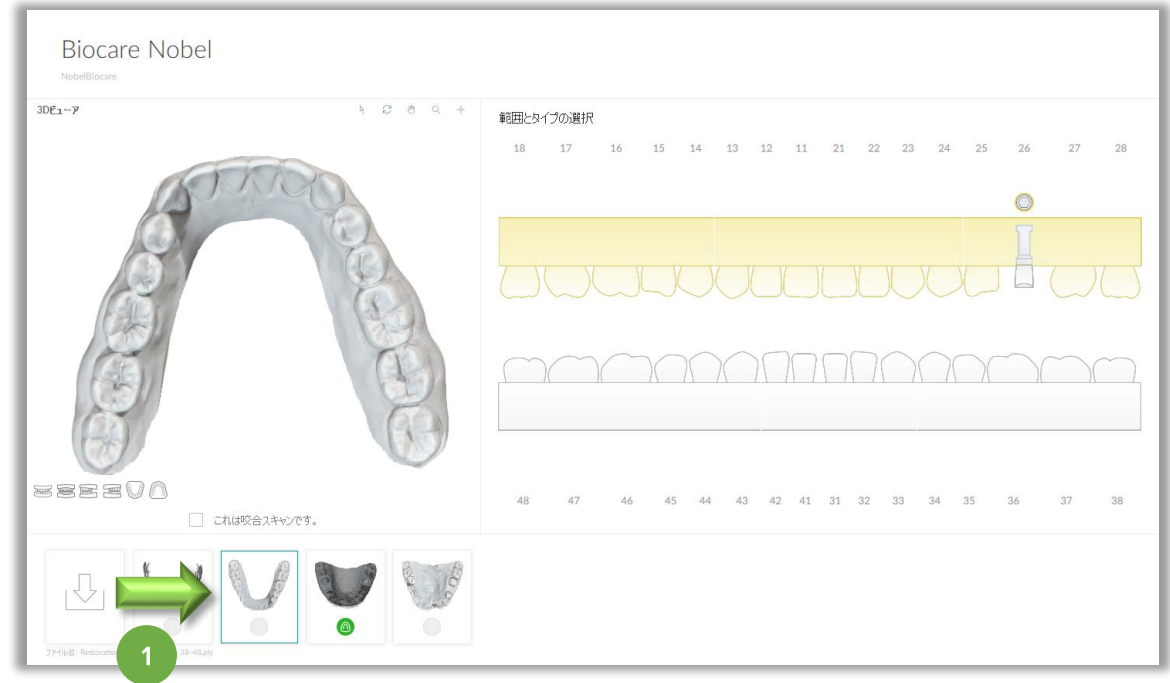


DTX Studio™ Lab Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (from DTX Studio Go)

20 修復する顎の範囲が変更されます。



21 データに合わせ、対合の範囲を選択します。(左ドラッグで範囲選択) インポートされている、対合のデータを選択します。





DTX Studio™ Lab Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (from DTX Studio Go)

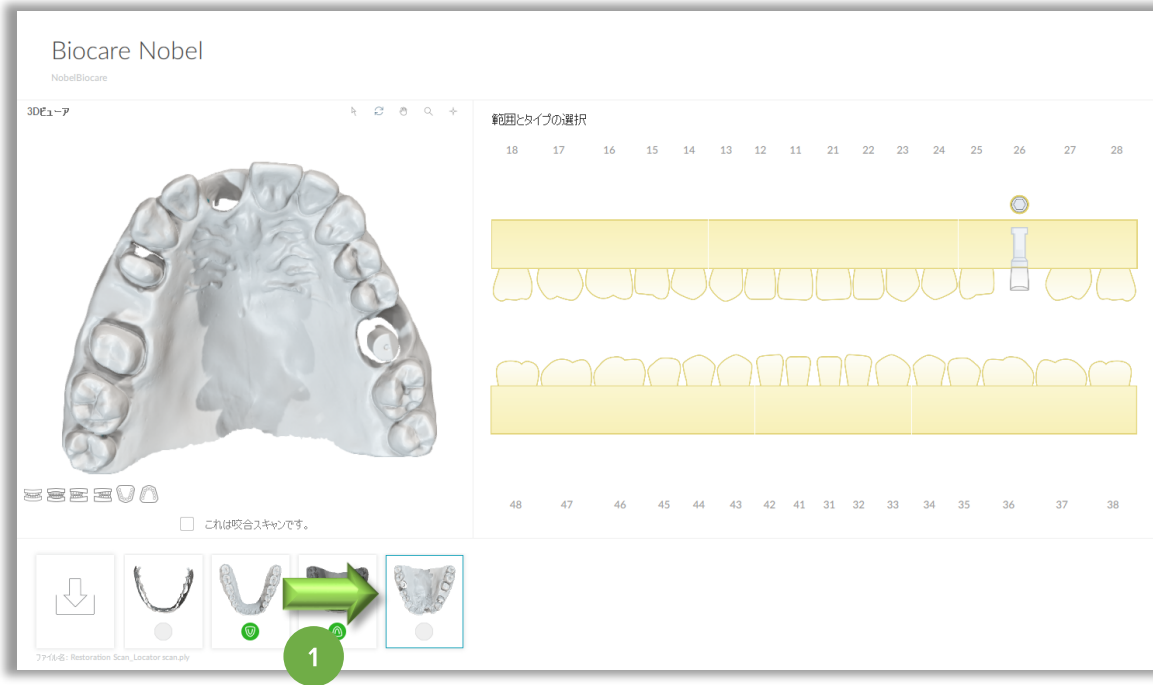
22 データに合わせ、顎の範囲を選択します。(左ドラッグで範囲選択)
スキャンアイテム画面から、スキャンアイテムのタイプ(顎データを選択)とスキャナーを選択します。

23 対合する顎の範囲が設定されます。

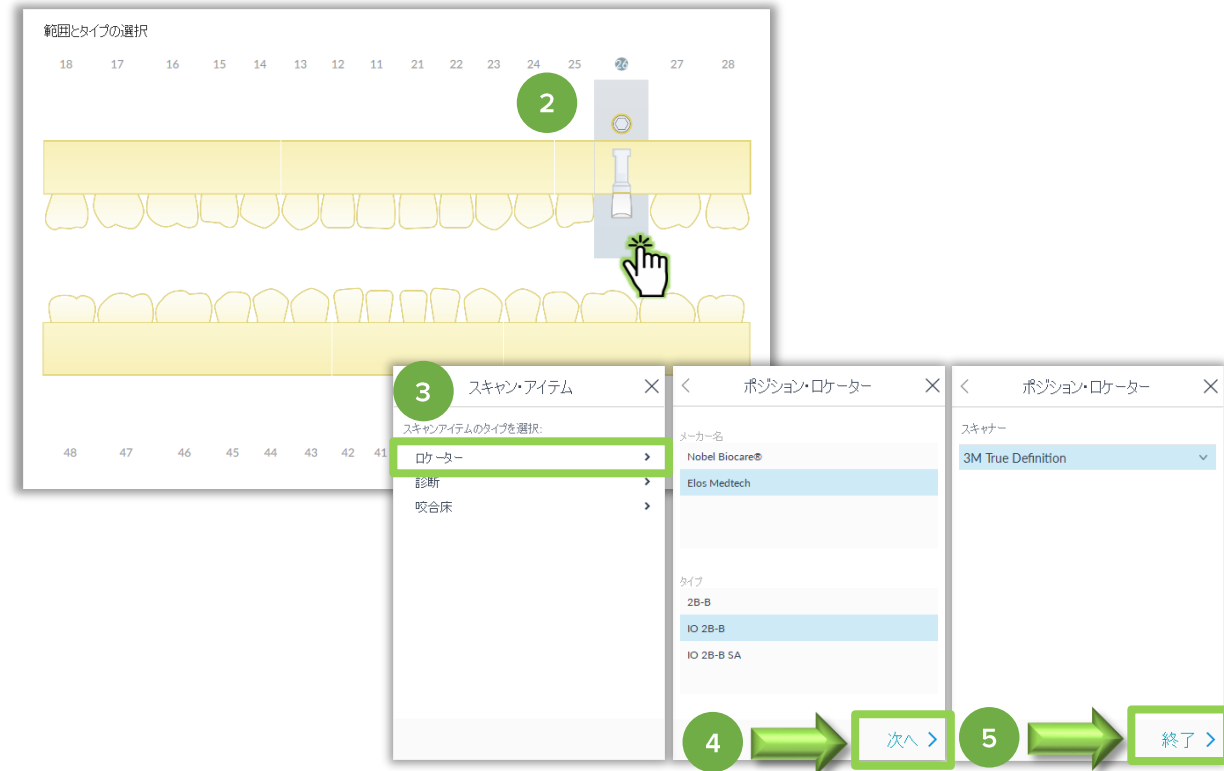


DTX Studio™ Lab Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (from DTX Studio Go)

24 ポジションロケータのデータを選択します。



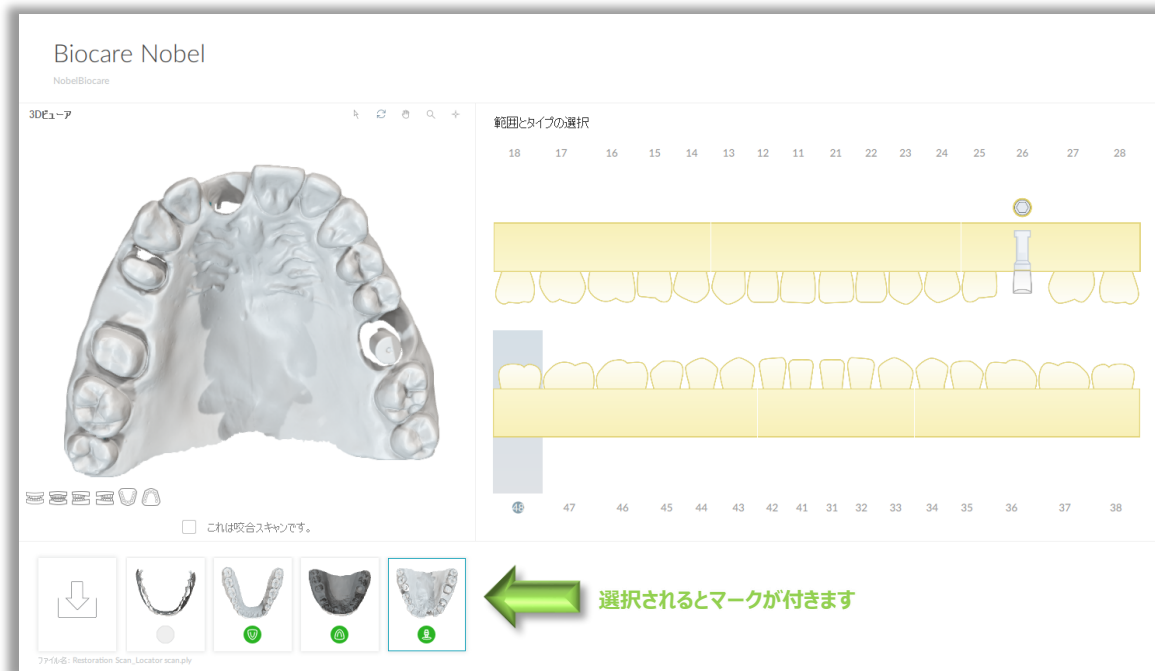
25 ポジションロケータの部位にカーソルを合わせ、左クリックをします。
スキャンアイテム画面からロケータを選択し、ポジションロケータとスキャナーの種類を選択します。





DTX Studio™ Lab Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (from DTX Studio Go)

26 ポジションロケーターのデータが設定されます。



27 咬合のデータを選択します。
【これは咬合スキャンです】にチェックを入れます。





DTX Studio™ Lab Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (from DTX Studio Go)

28 ポジショナーのデータが設定されます。
同様の手順で、プロビジョナルの設定も可能です。(プロビジョナルのスキャンデータが必要)



29 全てのデータの関連付けが終了したら、【次へ】をクリックします。



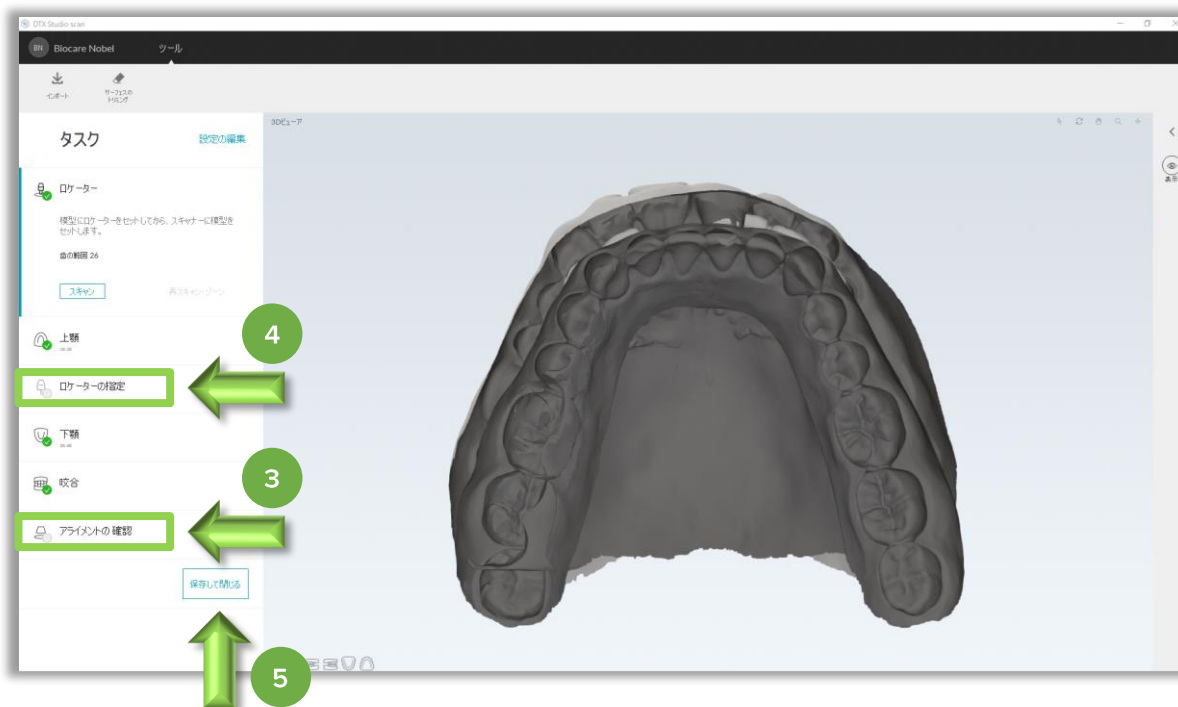


DTX Studio™ Lab Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (from DTX Studio Go)

30 顎データの方向を修正します。
修正後、【終了】をクリックします。



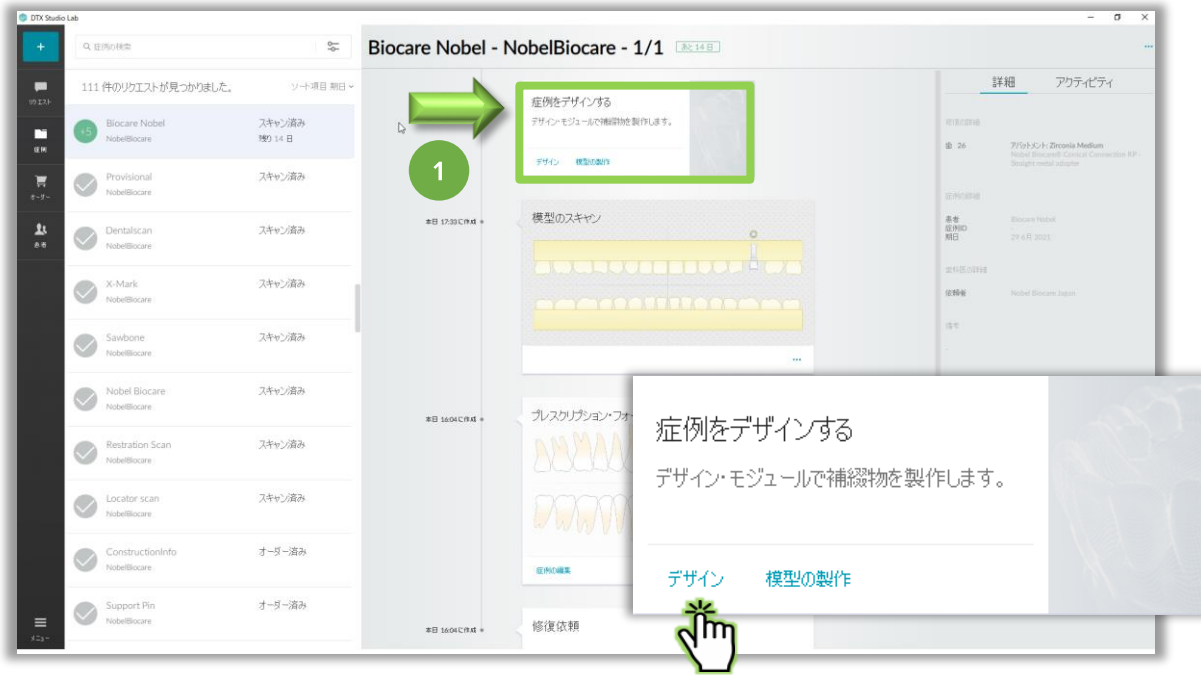
31 【アライメント確認】と【ロケータ指定】を適法に従い実行し、【保存して閉じる】をクリックします。



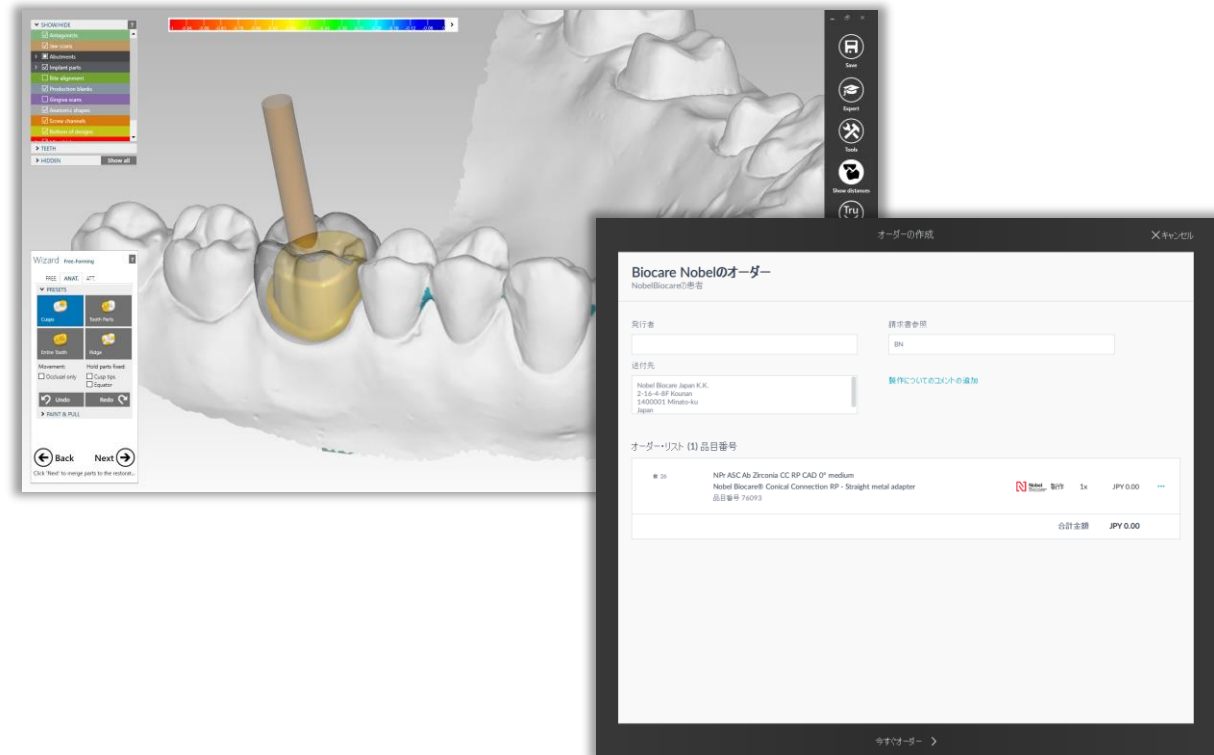


DTX Studio™ Lab Workflow - Restoration order 補綴修復物のオーダー (from DTX Studio Go)

32 【症例をデザインする】ウィンドウから、【デザイン】をクリックします。
必要に応じて【模型の製作】を行います。(Model Creatorライセンスが必要です)



33 通法に従い、デザインおよびオーダーを行います。





DTX Studio™ Go

ConstructionInfo



DTX Studio™ Go



DTX Studio™ Lab





DTX Studio™ Go Workflow - ConstructionInfo 材料パラメータファイル (to DTX Studio Lab)

Lab side

ローカル製作マテリアル

Local production – authentic VITA parameters

- ラボで製造される修復物のため、VITA社から供給される材料パラメータを使用する事が可能です
- DTX Studio GoからVITA社のブロックパラメータファイルをダウンロードし、DTX Studio Labソフトウェアにインポートします。
- それぞれの材料特性を考慮したパラメータは、ブロック最低厚みなどの情報が、DTX Studio Lab ソフトウェアにインポートされ、適切な修復物デザインを可能とします。
- ラボで修復物設計を行う際に、既存のVITAブロックのパラメータファイルを使用することが可能です。
 - * パラメータファイルには最小厚みの情報が含まれます。
 - * パラメータファイルは、DTX Studio™ Goから取得できます。
 - * Open および Pro ライセンスのみの機能となります。

VITA





DTX Studio™ Lab Workflow - ConstructionInfo 材料パラメータファイル (to DTX Studio Lab)

- 1 DTX Studio Goを起動し、【製品】から【ローカル製作】をクリックします。
対象の材料項目のダウンロードをクリックしパラメータファイルをPCに保存します。
DTX Studio™ Labソフトウェアを起動させ、トップ画面左下の【Menu】をクリックします。
Menuバーの右上【Settings】を開きます。

VITA

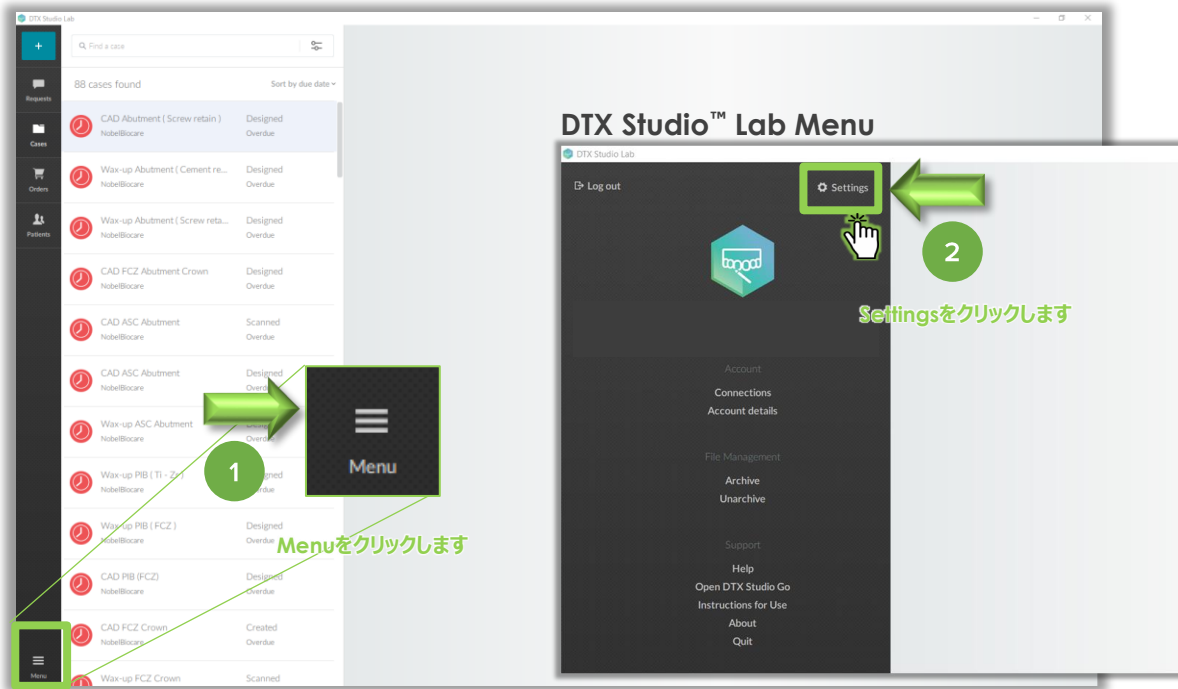


材料	メーカー名	説明	ソフトウェアバージョン	ダウンロード
Generic Composite	Other	Generic Composite	1.11.5	ダウンロード
Generic Glass Ceramic	Other	Generic Glass Ceramic	1.11.5	ダウンロード
Generic Hybrid	Other	Generic Hybrid	1.11.5	ダウンロード
Generic Metal	Other	Generic Metal	1.11.5	ダウンロード
Generic PMMA	Other	Generic PMMA	1.11.5	ダウンロード
Generic Wax	Other	Generic Wax	1.11.5	ダウンロード
Generic Zirconia	Other	Generic Zirconia	1.11.5	ダウンロード
TempShell	Other	TempShell	1.11.5	ダウンロード
VITA CAD-Temp®	VITA	VITA CAD-Temp®	1.11.5	ダウンロード
VITA CAD-Wax®	VITA	VITA CAD-Wax®	1.11.5	ダウンロード
VITA ENAMIC®	VITA	VITA ENAMIC®	1.11.5	ダウンロード
VITA SUPRINITY® PC	VITA	VITA SUPRINITY® PC	1.11.5	ダウンロード
VITA VITABLOCS®	VITA	VITA VITABLOCS®	1.11.5	ダウンロード
VITA YZ® HT	VITA	VITA YZ® HT	1.11.5	ダウンロード
VITA YZ® ST	VITA	VITA YZ® ST	1.11.5	ダウンロード
VITA YZ® T	VITA	VITA YZ® T	1.11.5	ダウンロード

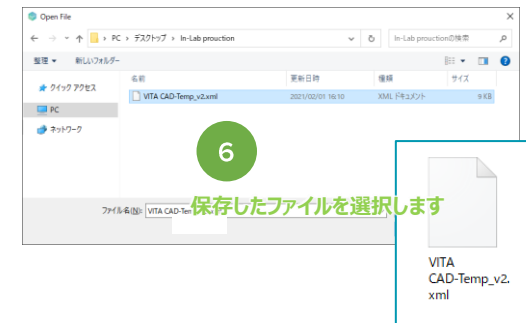
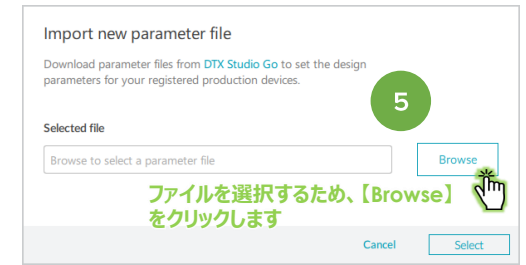
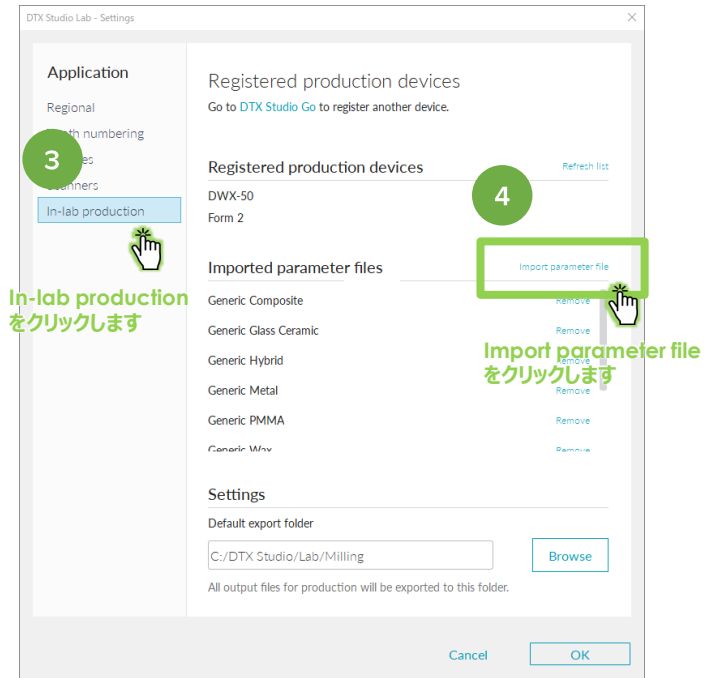


DTX Studio™ Lab Workflow - ConstructionInfo 材料パラメータファイル (to DTX Studio Lab)

2 DTX Studio™ Labソフトウェアを起動させ、トップ画面左下の【Menu】をクリックします。
Menuバーの右上【Settings】を開きます。



3 Settingsウィンドウから【In-lab production】を開きます。
【 Import parameter file 】をクリックします。
【 Browse 】をクリックし、ファイルを選択します。





DTX Studio™ Lab Workflow - ConstructionInfo 材料パラメータファイル (to DTX Studio Lab)

- 4** ファイルが選択されたら、【 Select 】を選択します。
【Imported parameter files】画面に登録されます。
【 OK 】をクリックし、終了します。

The screenshot shows the 'DTX Studio Lab - Settings' window. On the left, there is a section for 'Import new parameter file' with a text box containing 'Desktop/In-Lab prouction/VITA CAD-Temp_v2.xml' and a 'Browse' button. A green box highlights the 'Select' button, with a circled '1' and a hand icon pointing to it. Below this, Japanese text says 'ファイルが選択されたら、【Select】をクリックします'. In the main settings area, under 'Imported parameter files', the file 'VITA CAD-Temp_v2' is listed. A green box highlights this file, with a circled '2' and Japanese text '選択したファイルが登録されます Settings'. To the right, there are 'Remove' buttons for several files. A green box highlights one of these buttons, with a circled '3' and Japanese text ' unnecessary files [remove] can be deleted'. At the bottom, a green box highlights the 'OK' button, with a circled '4' and a hand icon pointing to it.

- 5** 修復物設定項目に、登録したパラメータが表示されます。

The screenshot shows the 'DTX Studio™ Lab ケース作成画面' (Case Creation Screen). It features a tooth chart with a restoration indicated on the upper right teeth. A green box highlights the restoration area, with a circled '5' and Japanese text '登録したパラメータが表示されます * In-Lab Millingのみ'. On the right side, there is a 'Restoration details' panel. It shows 'Production method' set to 'Roland DWX-50' and 'Material' set to 'VITA CAD-Temp®'. A green box highlights the material list, which includes Composite, Glass Ceramic, Hybrid, Metal, PMMA, Wax, Zirconia, and VITA CAD-Temp®. Below the list, it says 'Back to overview'. At the bottom of the screen, there are navigation buttons: '< Back', a home icon, and 'Finish >'.



DTX Studio™ Implant



Workflow

DTX Studio™ Implantでシェアできる事

Order

- Scan order (DTX Studio Lab)
- Add lab design (DTX Studio Lab)
- TempShell order (DTX Studio Lab)
- Surgical Template Local production order
- Surgical Template Production center order

Receive

- Scan order (DTX Studio Lab)
- Add lab design (DTX Studio Lab)
- TempShell order (DTX Studio Lab)

Share (Communicate)

- Viewer
- iPad Communicator
- Osseo Care Pro
- X-Guide

Nobel Connect

- Connection
- Online up load
- Share

SmartFusionデータのオーダー
補綴デザインのオーダー
テンプレートのデザインおよび製造のオーダー
ローカルプロダクションオーダー (Go & Lab)
プロダクションセンターオーダー

SmartFusionデータの受信
補綴デザインの受信
テンプレートのデザインの受信

ビューアファイル作成、シェア、エクスポート
コミュニケーションファイル作成、シェア
オッセオケアプロファイルのシェア
X-ガイドファイルのエクスポート

カスタマー間のコネクション
.ncleファイルのサーバーアップロード
.ncleファイルの共有



DTX Studio™ Implant

歯科医師および臨床医の2Dおよび3D診断（および治療計画）
ソフトウェア

患者の解剖学的構造と補綴要件に従って、主要なインプラントシステムのインプラントを計画します。

手術用プレートまたは3Dナビゲートインプラント手術を使用して、
計画を実現します。





DTX Studio™ Implant

Scan order



DTX Studio™ Implant



DTX Studio™ Lab





DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

Chair side

SmartFusionデータのオーダー (オーダー側)

DTX Studio™ Implantから、SmartFusionスキャンの注文ができます。

- DTX Studio Implantからリクエストされたスキャンオーダーは、DTX Studio™ Labのユーザーへ直接リクエスト(技工指示)を送信する事が可能です。





DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

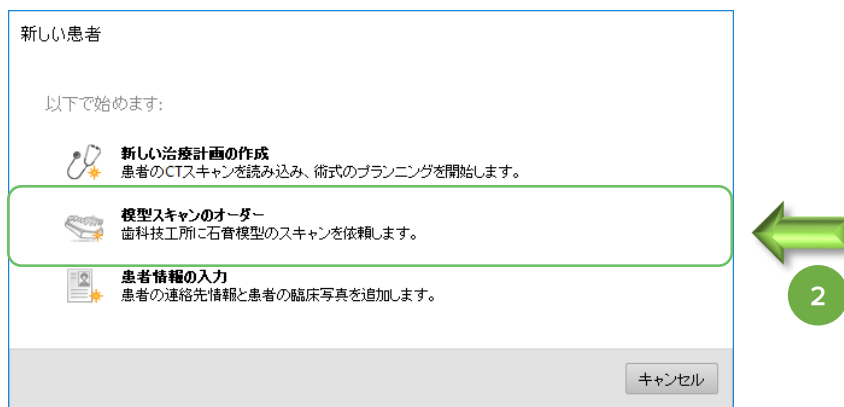
事前に以下の手順が必要となります
* Labとのコネクトが必要です
* 作業模型の準備と送付

- 1 DTX Studio™ Implantトップ画面左上の【新規】ボタンを左クリックします。
新しい患者ウィンドウから【模型スキャンのオーダー】を左クリックします。

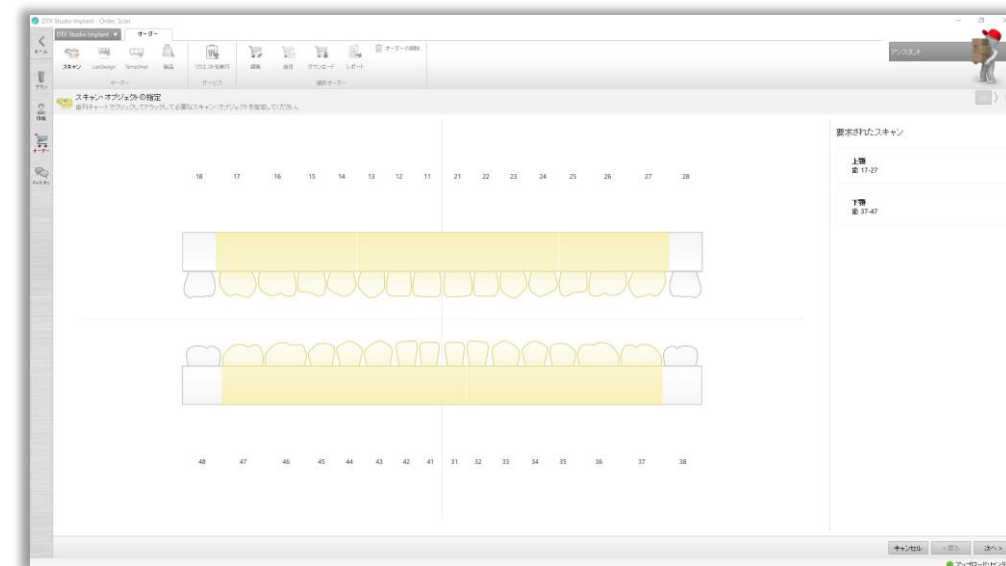
- 2 画面の歯式から、スキャンしたい部位および項目を指定します。



DTX Studio™ Implantトップ画面左上の【新規】ボタンを左クリックします



新しい患者のウィンドウが開いたら【模型スキャンのオーダー】を左クリックします



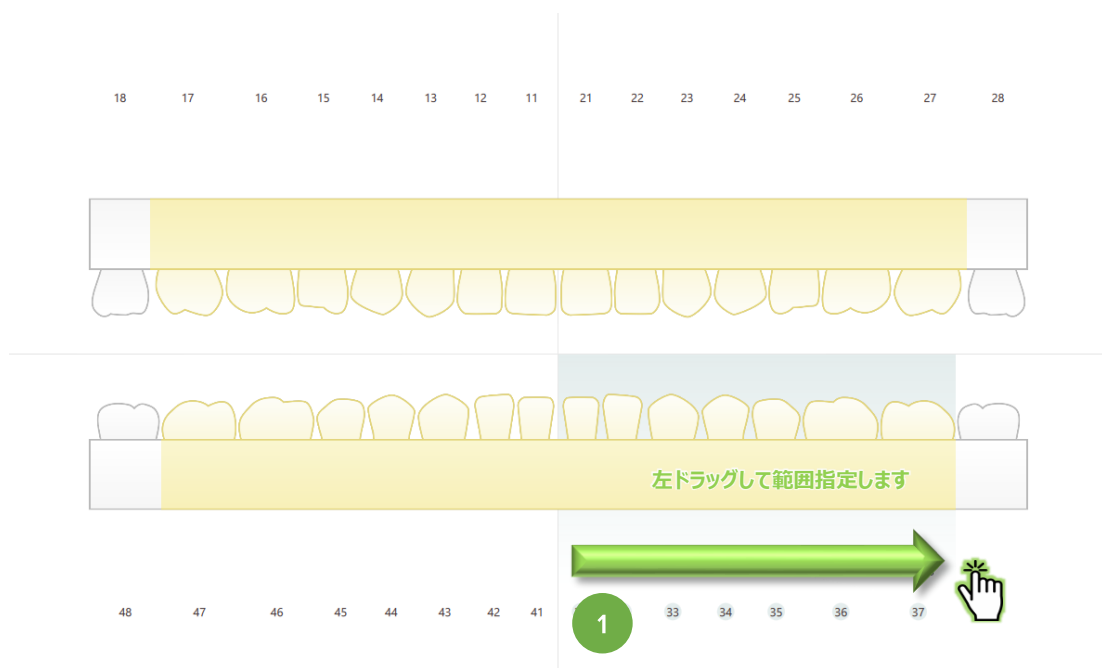
スキャン部位
・上顎のみ
・下顎のみ
・上下顎
の設定が可能です

スキャン項目
・診断
・スキャン範囲
・抜歯
を選択します



DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

- 3** **スキャン部位指定**
スキャン範囲となる端の対象歯牙にカーソルを合わせ、左ドラッグでスキャン範囲を指定します。



- 4** 左ドラッグを解放すると、スキャン項目が出現します。
【スキャン範囲】を選択します。





DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

5 抜歯の状態の設定
対象の歯牙にカーソルを合わせ、左クリックで【抜去】を指定します。



6 ワックスアップスキャンの設定
対象の歯牙にカーソルを合わせ、左クリックで【診断】を指定します。





DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

7 スキャン設定の完了。
【次へ】を左クリックします。

次へ >

DTX Studio Implant - Order Scan

DTX Studio Implant | オーダー

ホーム | スキャン | LabDesign | TempShell | 製品 | リンク先を実行 | 検索 | 送信 | ダウンロード | レポート | オーダー印刷

アシスタント

オーダー | サービス | 選択オーダー

スキャン-オブジェクトの指定
歯列チャートでクリックしてマッピングして必要なスキャン-オブジェクトを指定してださい。

18 17 16 15 14 13 12 11 21 22 23 24 25 26 27 28

48 47 46 45 44

設定したスキャン項目を削除したい場合は、画面右側の、【要求されたスキャン】から削除したい項目にカーソルを合わせ、【×】を左クリックします

要求されたスキャン

上顎 歯 17-27
下顎 歯 37-47
診断 歯 12-21

要求されたスキャン

上顎 歯 17-27
下顎 歯 37-47
診断 歯 12-21



DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

8 オーダー詳細を決定します。
各項目を決定し【完了】を左クリックします。

スキャン・オーダーの概要
オーダーの詳細を確認し、必要に応じて調整します

オーダー情報

選択したラボ: → **コネクト先を選択します**

配達日: → **納期を設定します**

要求者:

患者情報

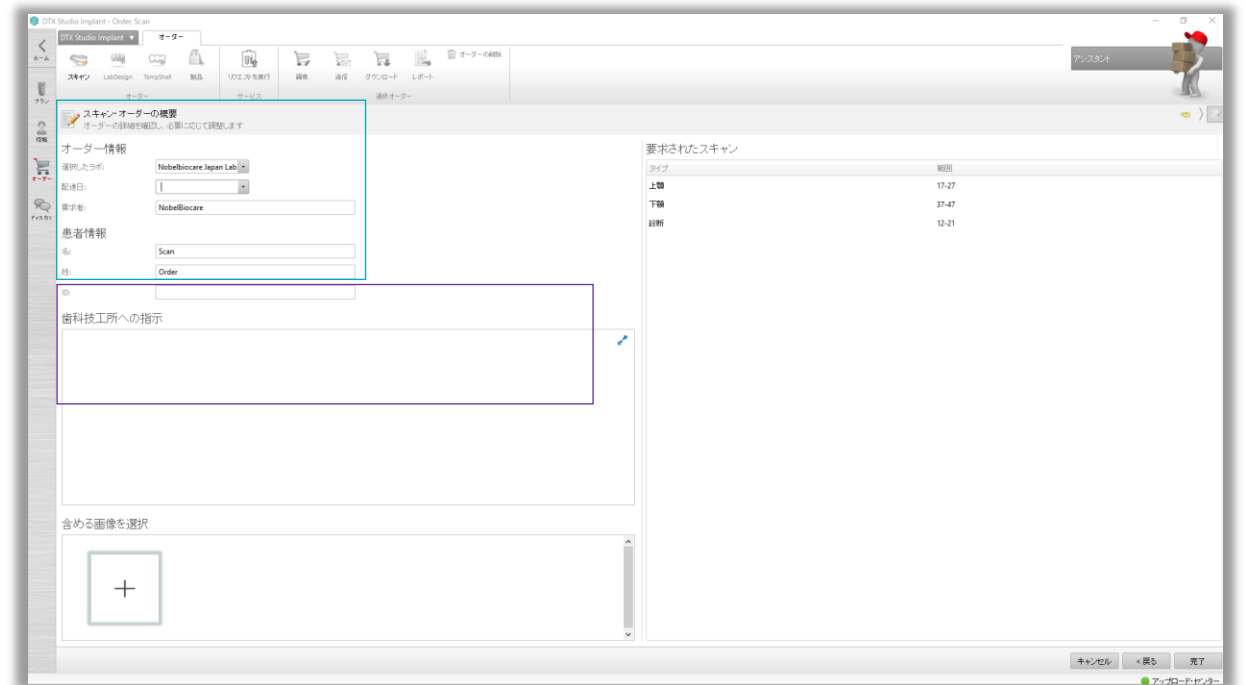
名: → **患者名を設定します**

姓:

ID:

歯科技工所への指示

送信先への依頼事項などを記載します



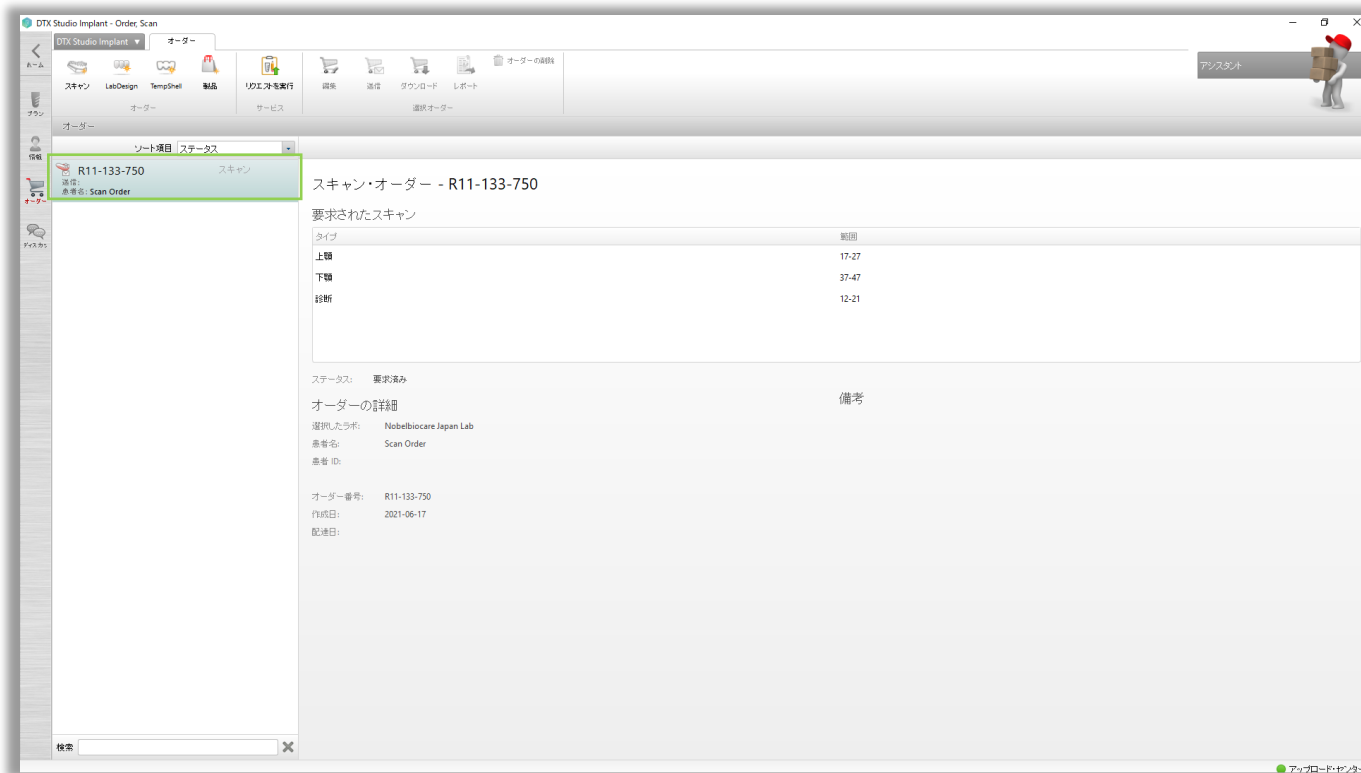
設定を確認したら【完了】を左クリックします

完了



DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

9 オーダーが完了すると、オーダー番号が振られます。





DTX Studio™ Lab Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

Lab side

SmartFusionデータのオーダー (受信側)

DTX Studio™ Implantから、SmartFusionスキャンの注文を受信することができます。

- Labサイドでは、DTX Studio Implantからリクエストをソフトウェアで受信します。
- スキャンデータ取得後は、DTX Studio Implant ソフトウェアに直接データを送信する事が可能です。

送信者 : no-reply@dtxstudio.com

件名 : Nobel Biocare Japan has sent a new service request

本文 : **New service request available**

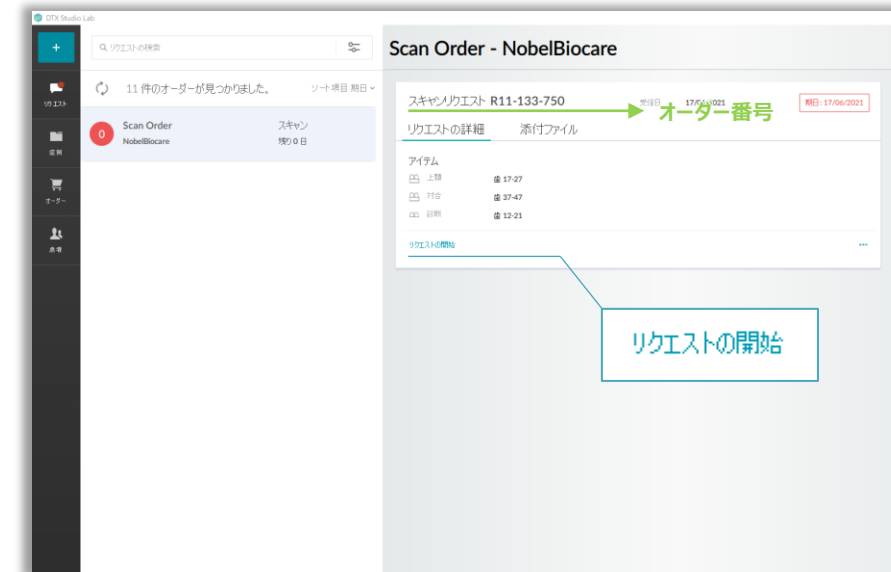
A new service request was sent out for you to be processed. Open your DTX Studio Lab to fulfill this request.
Note: the data will stay available on our servers for the upcoming 90 days. More information about the service request can be found [here](#)

Requested by: Nobel Biocare Japan
Request ID: R11-133-750
Patient name: Scan Order
Requested service: Scan a model

→ **オーダー番号**

Best regards,
DTX Studio team

DTX Studio Lab ソフトウェア



10

DTX Studio™ Implantからのリクエストをメールで受信します。
DTX Studio™ Lab ソフトウェアのリクエスト欄にオーダーされた項目が追加されます。
歯科技工所は模型が納品された後、**【リクエストの開始】** ボタンからスキャンを開始します。



DTX Studio™ Lab Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

11 【症例を編集】から症例情報を確認し、【スキャンの開始】をクリックします。

12 【設定の編集】画面が開きます。
スキャンに含める項目を定義します。(次項)

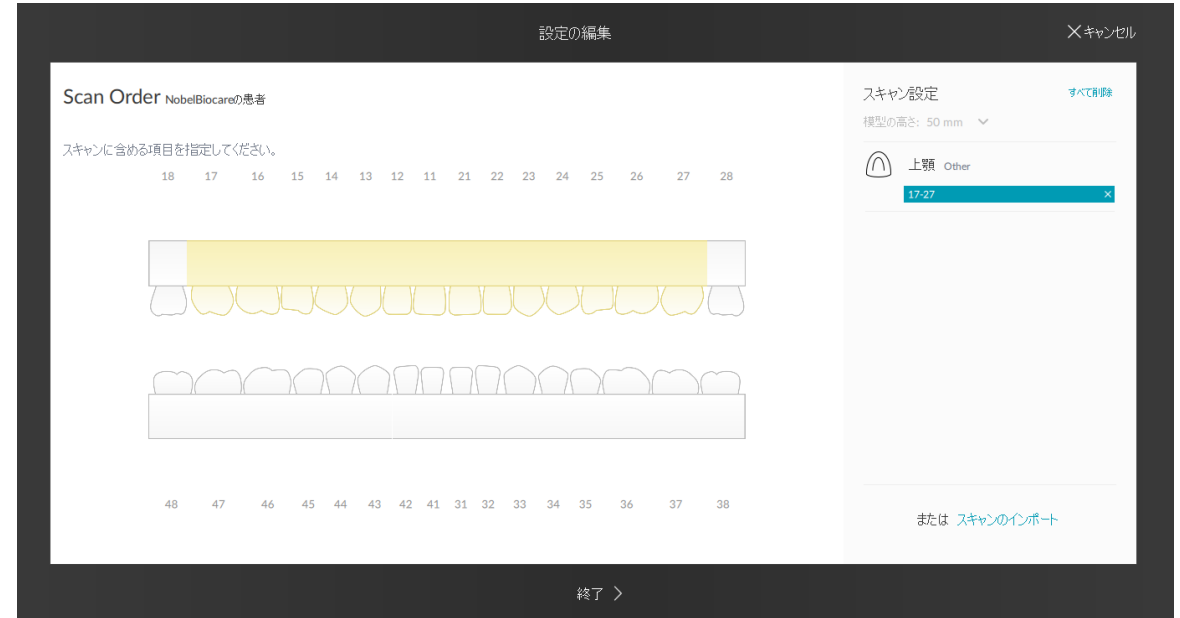


DTX Studio™ Lab Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

- 13** **スキャン部位指定**
スキャン範囲となる顎にカーソルを合わせ、左ドラッグでスキャン範囲を指定します。



- 14** スキャン範囲の定義完了。



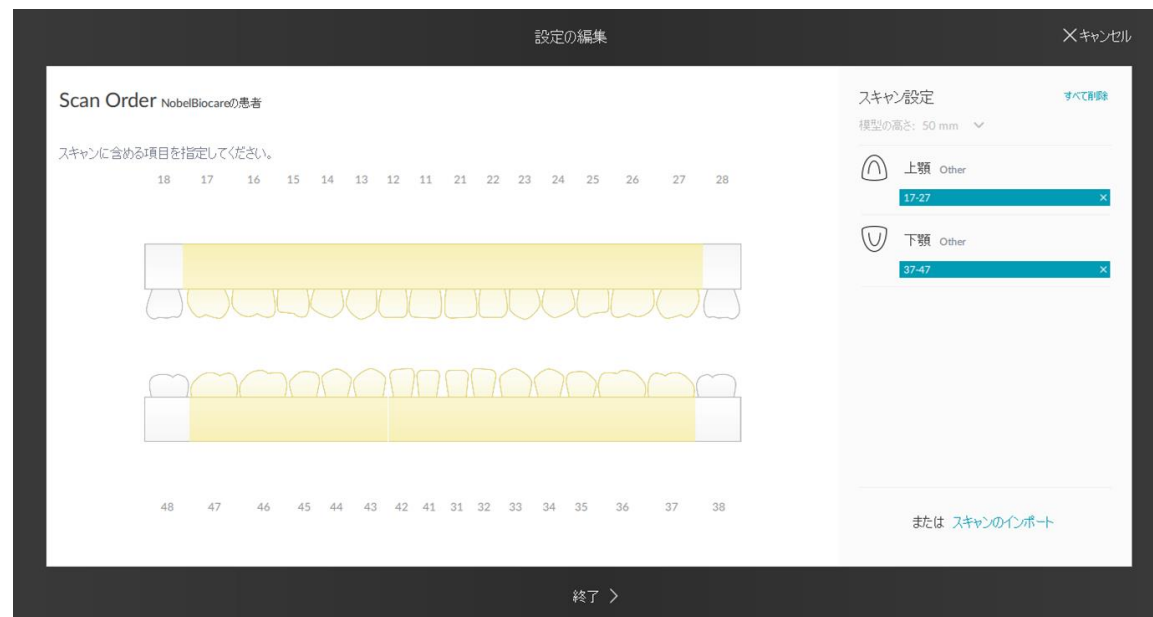


DTX Studio™ Lab Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

15 対合歯をスキャンする場合
スキャン範囲となる顎にカーソルを合わせ、左ドラッグでスキャン範囲を指定します。



16 対合スキャン範囲の定義完了。



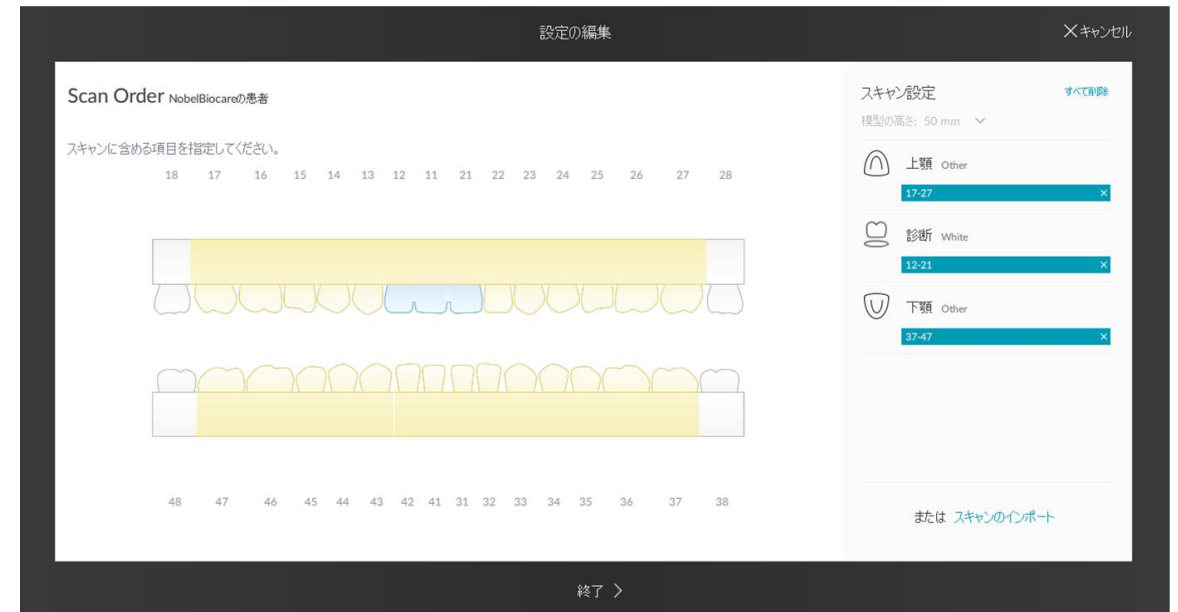


DTX Studio™ Lab Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

17 ワックスアップをスキャンする場合
スキャン範囲となる部位にカーソルを合わせ、左ドラッグでスキャン範囲を指定します。



18 ワックスアップスキャン範囲の定義完了。



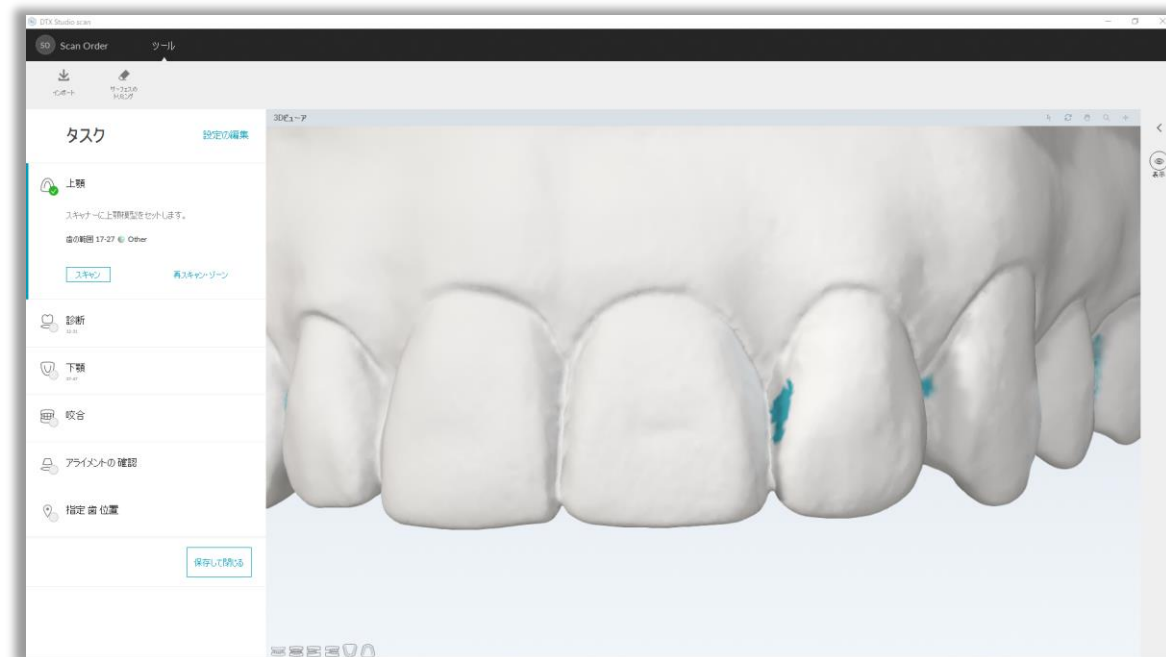


DTX Studio™ Lab Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

19 スキャン範囲の定義が完了したら、【終了】をクリックします。



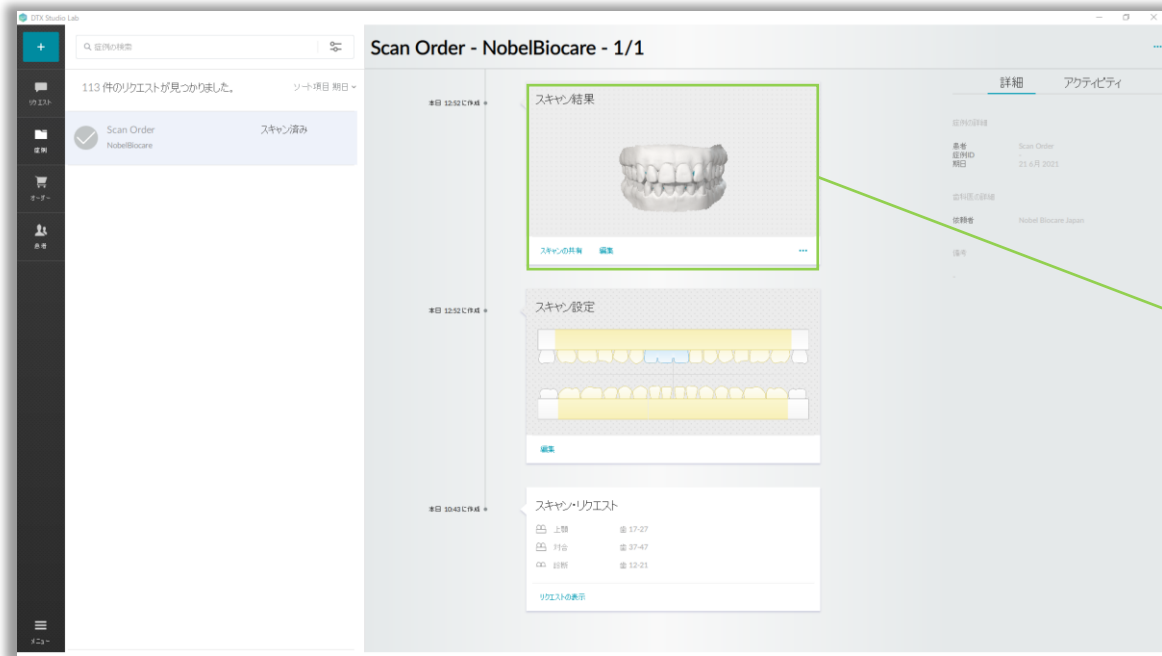
20 スキャンタスクに従い、スキャンを実行します。





DTX Studio™ Lab Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

21 スキャンの完了。



22 スキャン結果の項目から、【スキャンの共有】を左クリックします。



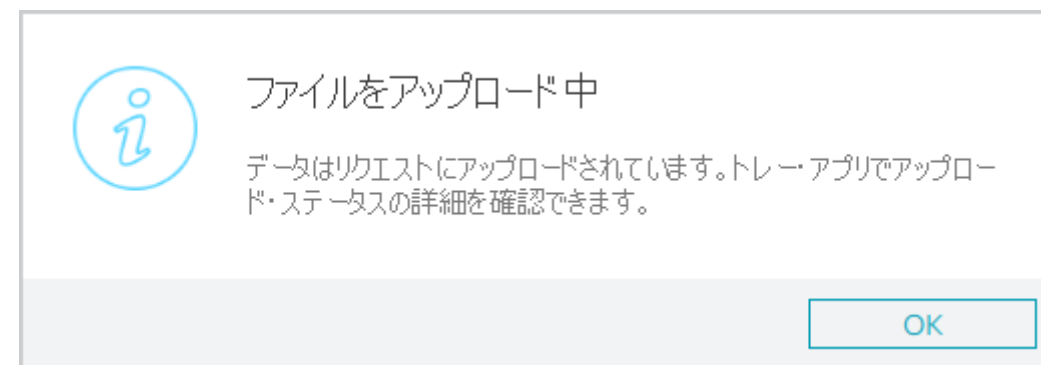


DTX Studio™ Lab Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

23 【共有】をクリックします。



24 アップロードウィンドウが表示されたら【OK】をクリックします。





DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

Chair side

SmartFusionデータのオーダー (オーダー側)

DTX Studio™ Labから、SmartFusionスキャンを受け取れます。

- DTX Studio Implantからリクエストされたスキャンオーダーは、DTX Studio™ Labからのスキャンデータを、DTX Studio Implant ソフトウェアで直接受け取る事が可能です。

送信者: no-reply@dtxstudio.com

件名: Nobelbiocare Japan Lab has sent you a scan(s) for order R11-133-750

本文: **Scan(s) available**

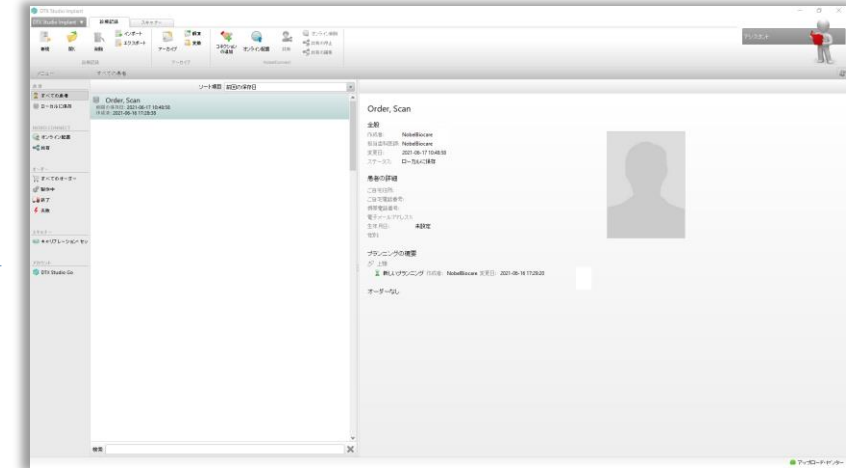
A plaster model was scanned by your dental lab. Open the DTX Studio software to retrieve your scan.

Note: the data will stay available on our servers for 90 days.

Request ID: R11-133-750
Patient name: Scan Order
Requested service: Scan a model

Best regards,
DTX Studio team

DTX Studio Implant ソフトウェア

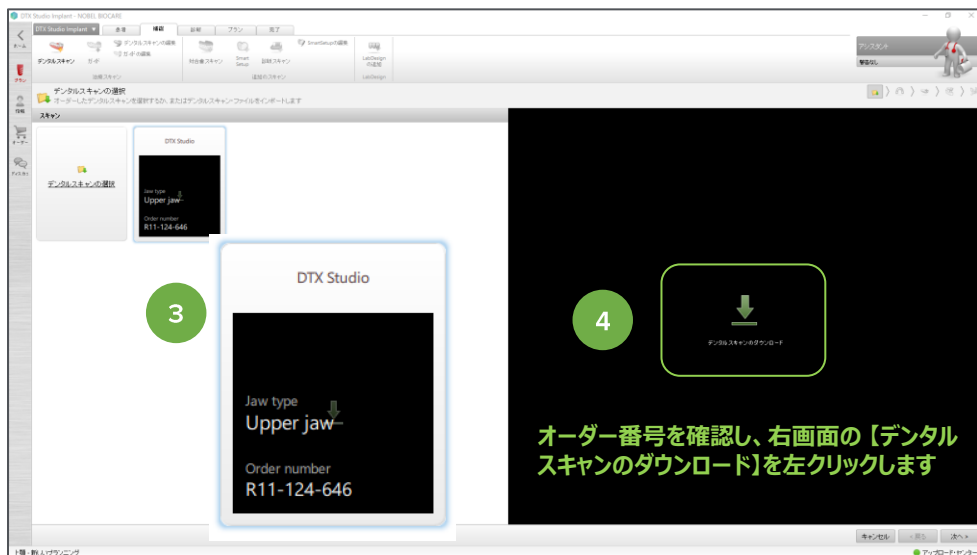


- 25 DTX Studio™ Labからスキャンデータ受け取り案内をメールで受信します。DTX Studio™ Implant を起動し、対象の患者データを開きます。

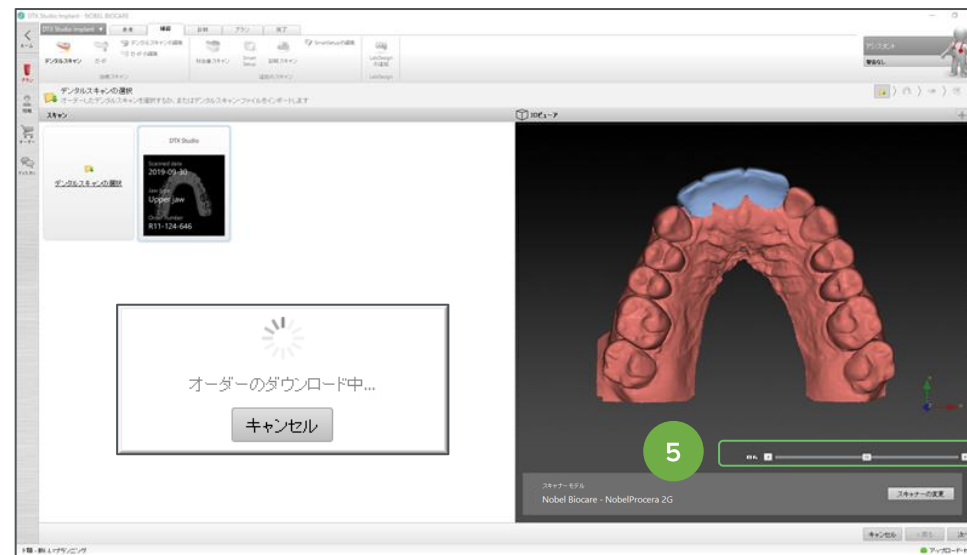


DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

26 【補綴】タブから、【デンタルスキャン】を左クリックします。
オーダー番号の一致するデータを選択し、【デンタルスキャンのダウンロード】を左クリックします。



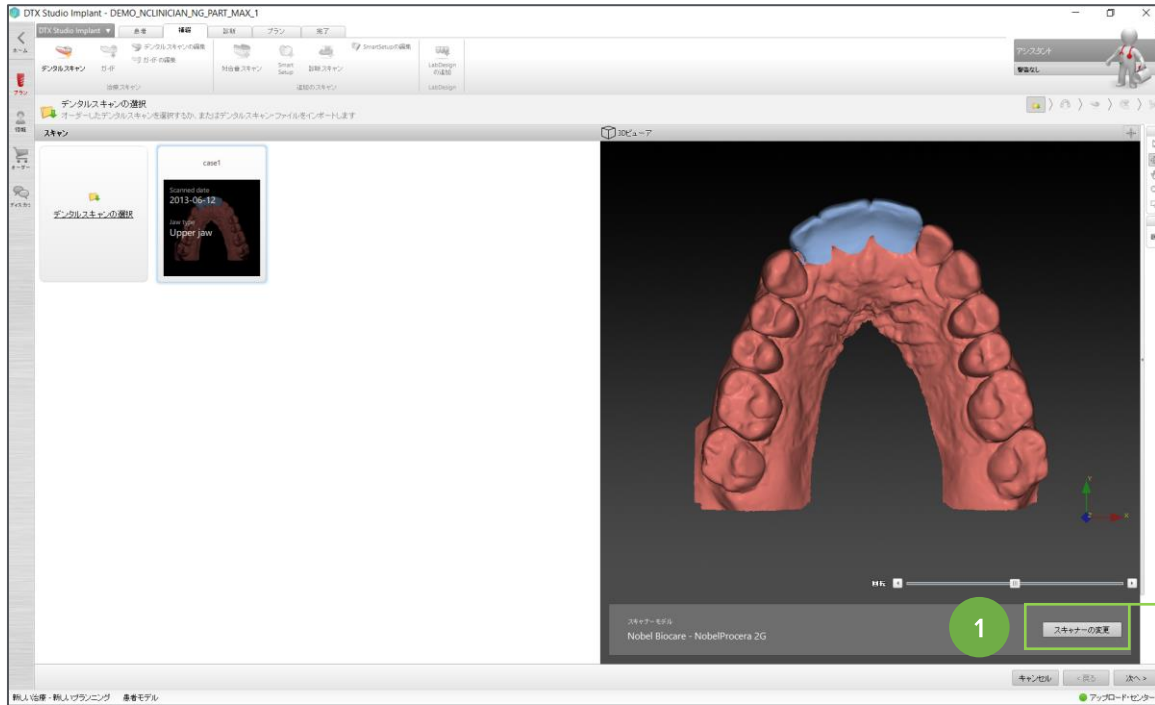
27 データがダウンロードがされると、デンタル・スキャンデータが表示されます。
右下のスライダーバーを動かし、画像を確認します。
確認後、右下の【次へ】ボタンを左クリックします。





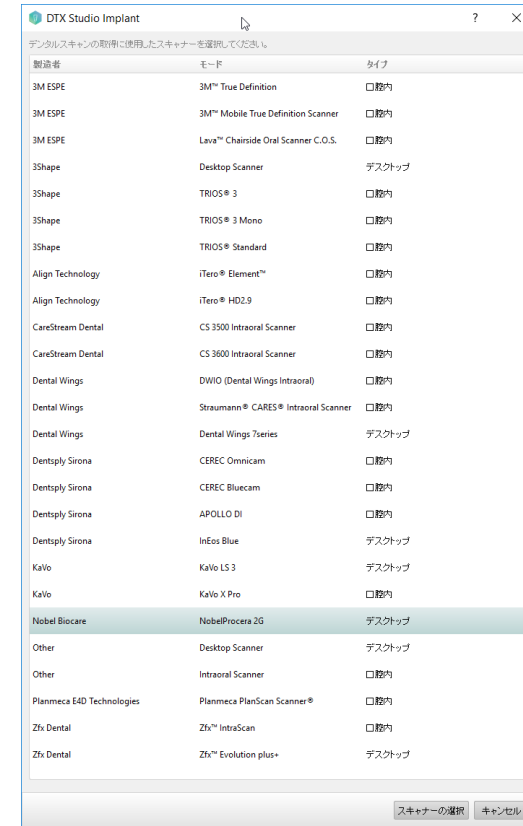
DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

28 【スキャナーモデル】を確認します。
【スキャナーの変更】からスキャンに使用した機種を選択し、【次へ】を左クリックします



使用したスキャナー・モデルがない場合は、【Other】を選択して【次へ】を左クリックしてください

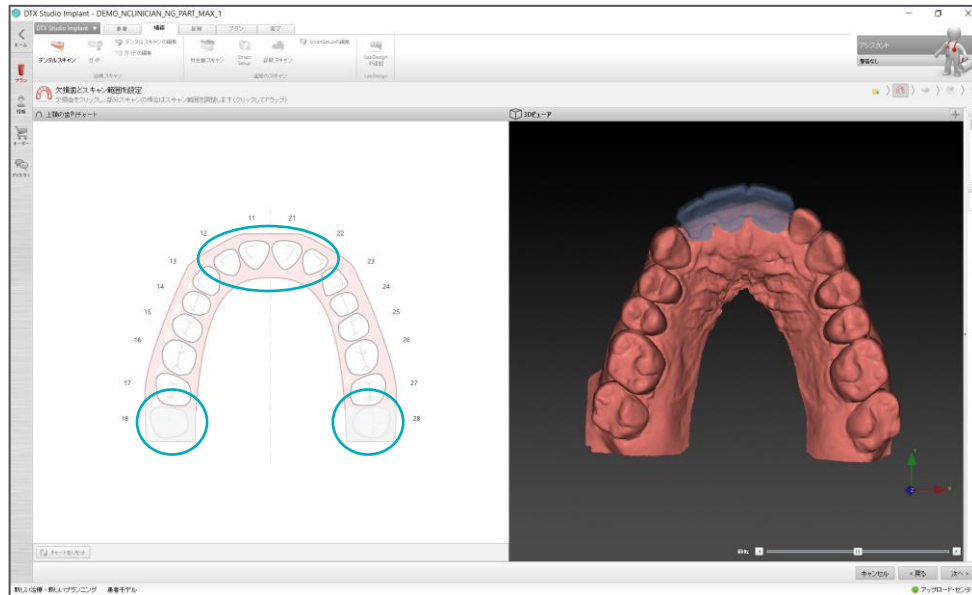
次へ >



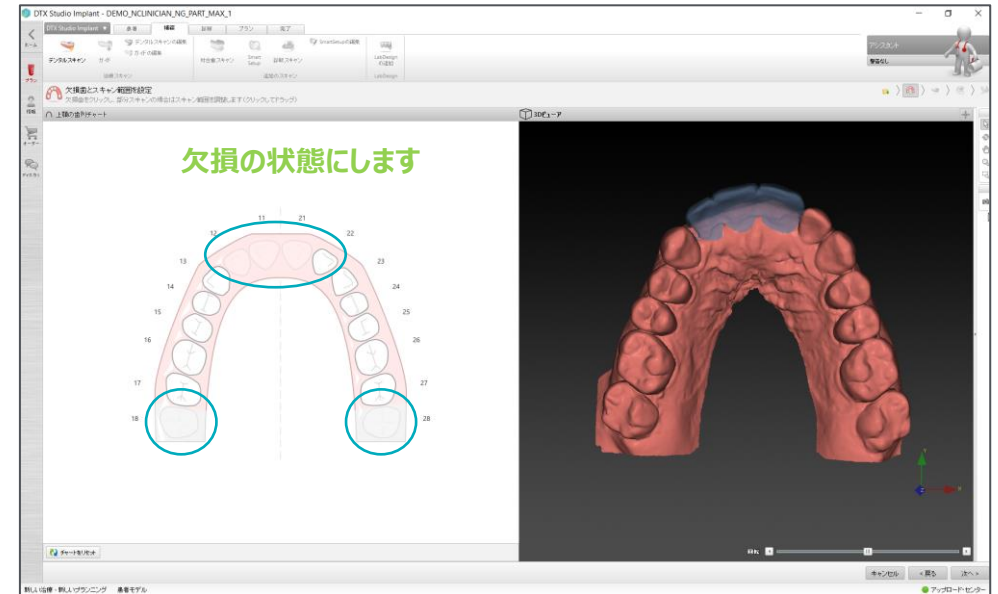


DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

29 歯列を口腔内と同じ設定にします。



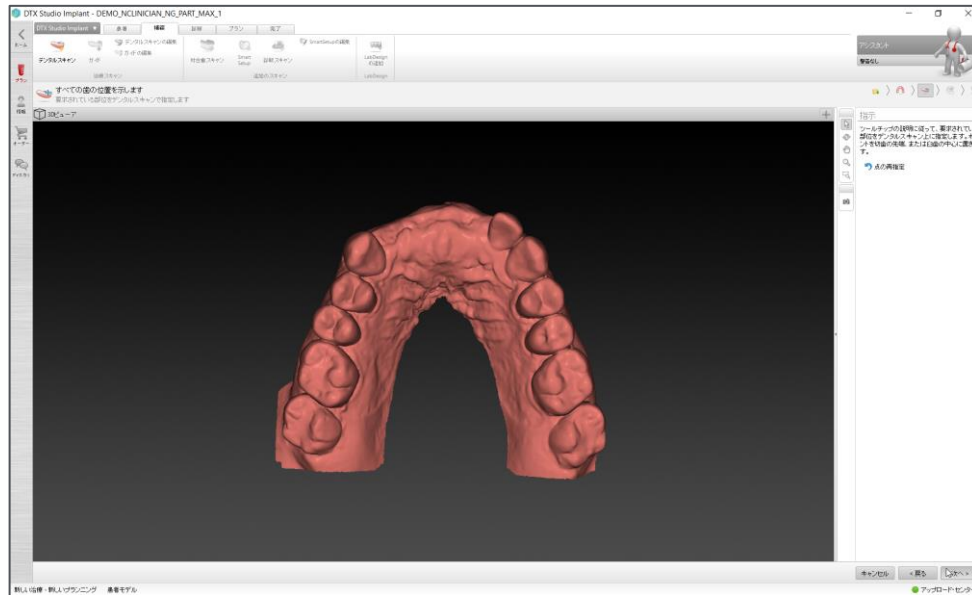
30 欠損している歯牙をクリックし、非表示にします。
欠損している箇所をすべて非表示にし、【次へ】をクリックします。



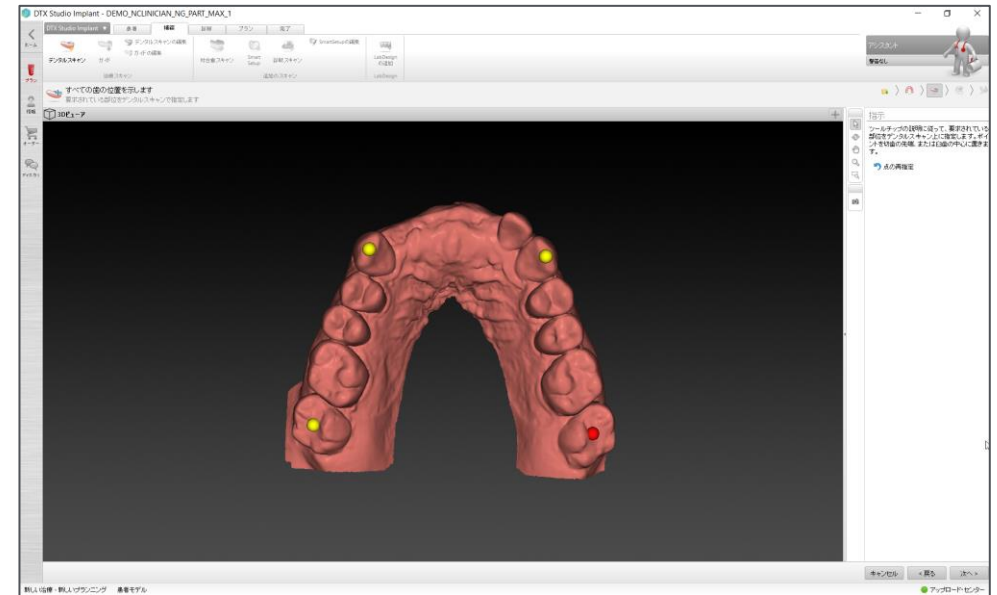


DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

31 ソフトウェアが指定する歯式番号が、カーソル脇に小さく表示されるので、該当する歯牙に左クリックでポイントを付与します。



32 最後臼歯、3番部位を指定してきますので、切歯の先端や、臼歯の中心などにポイントを4箇所設定します。終了後右下の【次へ】を左クリックします。

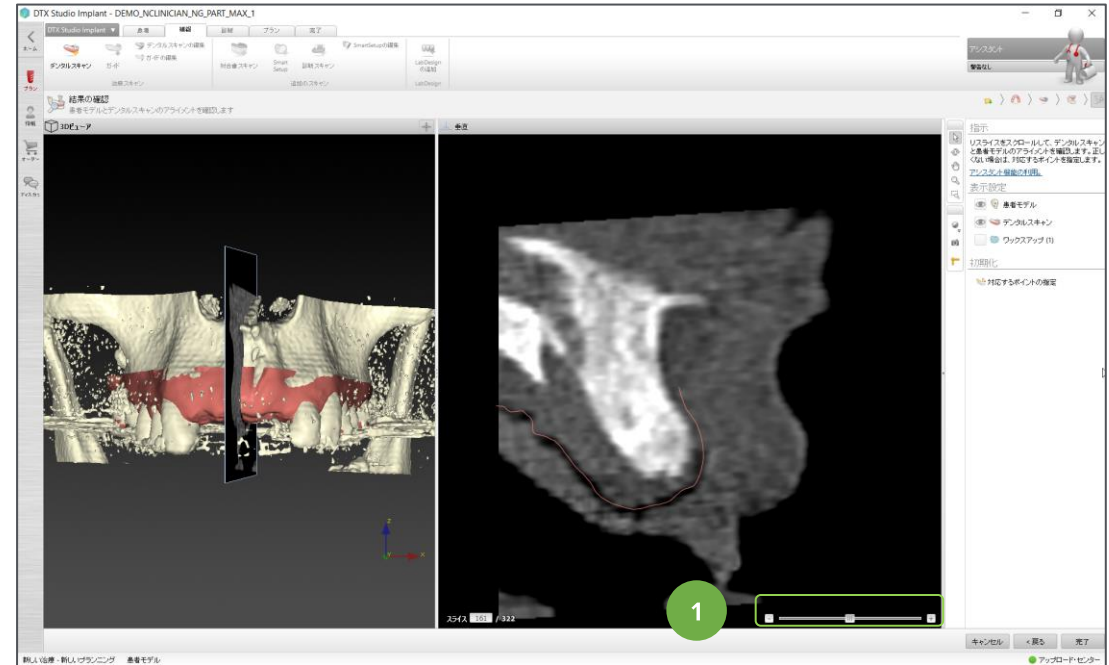
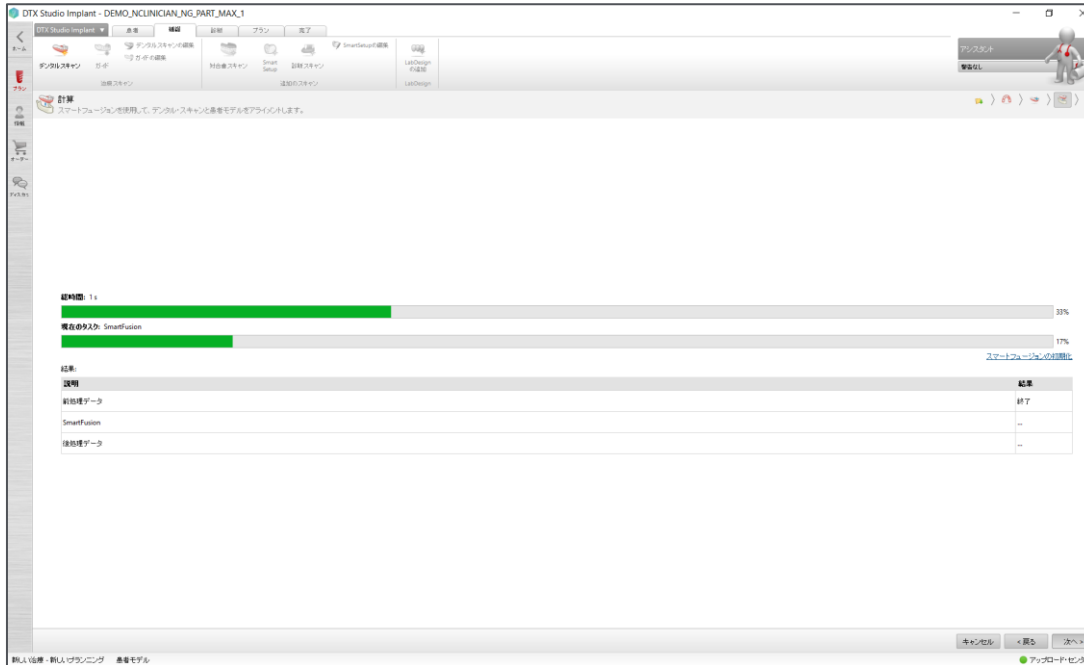




DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

33 自動でSmartFusionを実行します。

34 SmartFusionの完了。
【終了】を左クリックします。





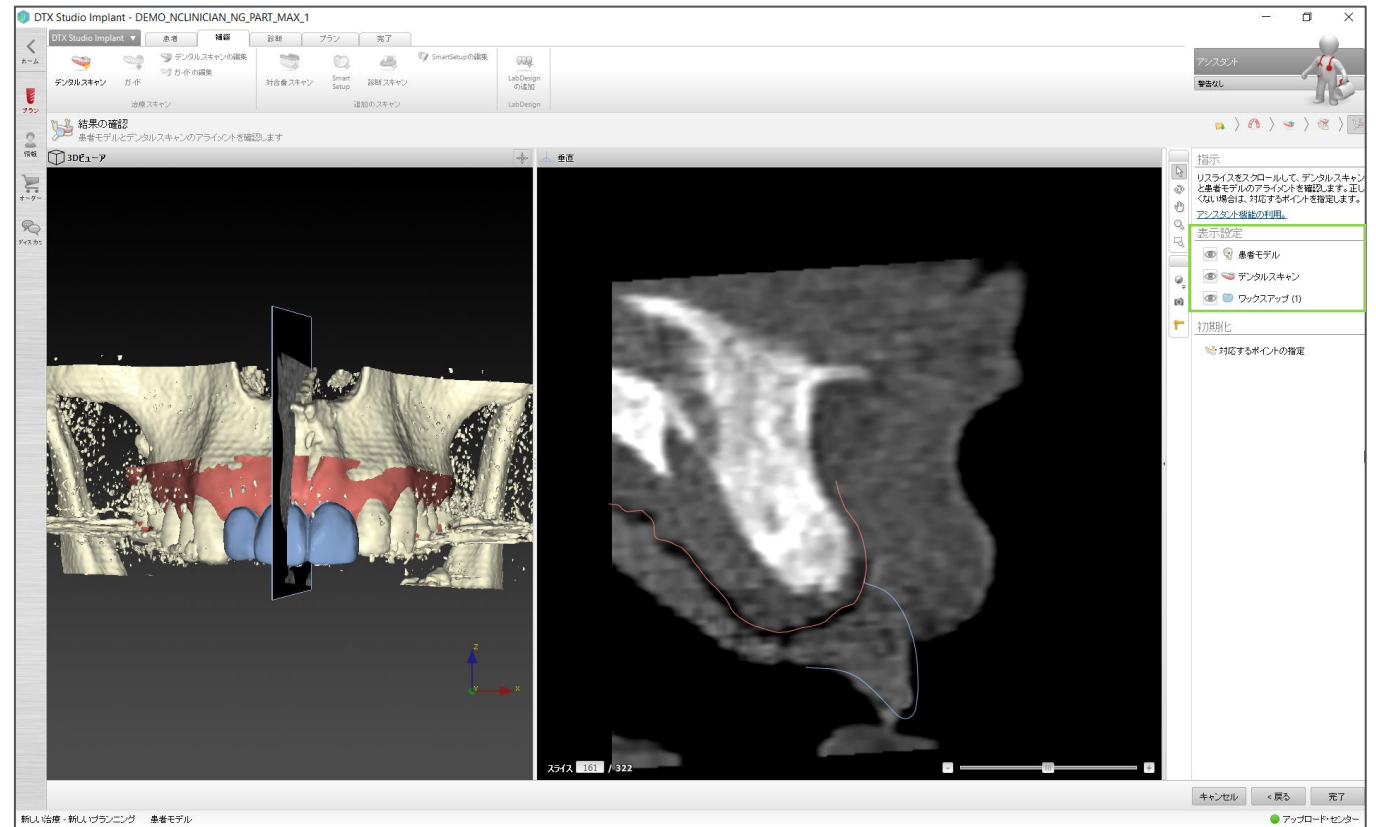
DTX Studio™ Implant Workflow - Scan order SmartFusionのスキャンオーダー (to DTX Studio Lab)

35 2D画面のスライダー・バーでリスライスを移動させ適合の確認を行います。
問題なければ右下の【完了】を左クリックし、プランニングの画面に進みます。

表示設定

- 患者モデル
- デンタルスキャン
- ワックスアップ (1)

画面右の【表示設定】から
・患者モデル
・デンタルスキャン
・ワックスアップ
の表示・非表示設定ができます
各項目にある【目】のマークを左クリックします





DTX Studio™ Implant

Add lab design



DTX Studio™ Implant



DTX Studio™ Lab



最終補綴装置を考慮したデザインを治療計画に
DTX Studio Labとのコラボによる、最終補綴装置に最も近い補綴デザイン

LabDesign request

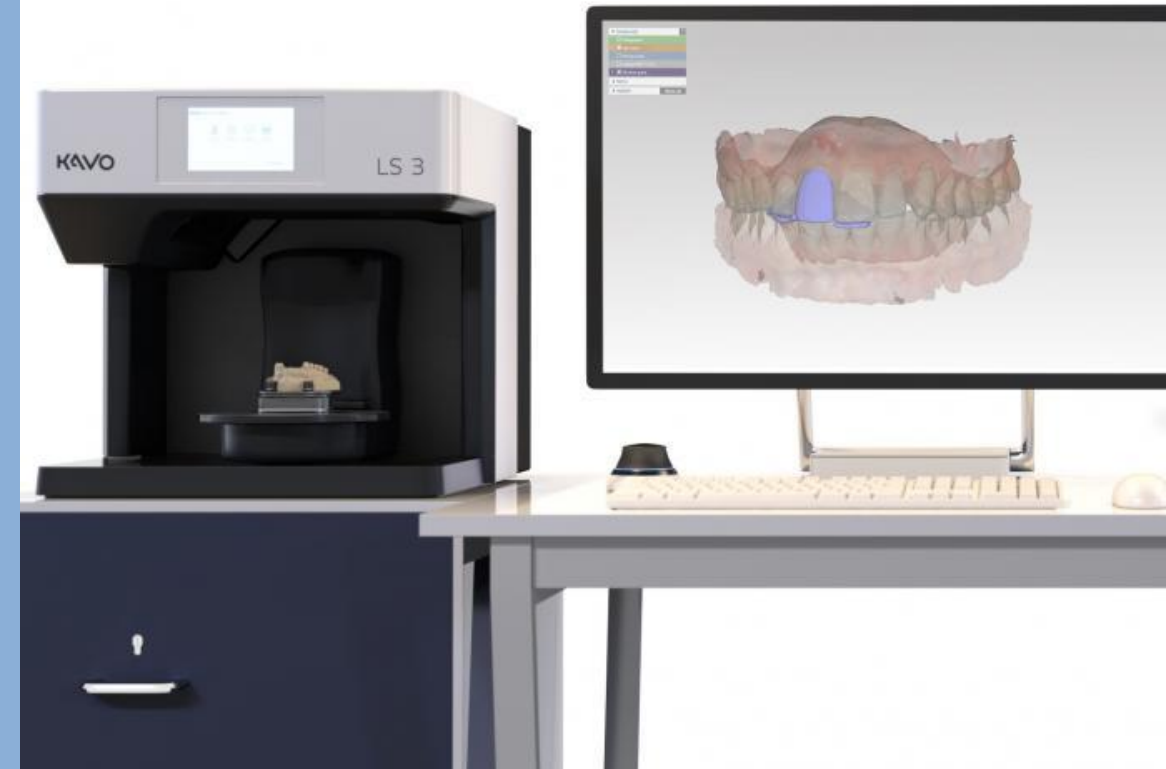
Preview the final restoration to validate your implant placement plan

With one click, reach out to your DTX Studio Lab partner and securely share your SmartSetup and intraoral scan through DTX Studio Go. The lab will convert the SmartSetup to design a final restoration, which you receive back to finalize your implant plan against definitive prosthetic needs. The modified tooth setup can be used for a TempShell provisionalization. After tissue maturation and definitive impression, you can order the final product based on the initial LabDesign.

ノーベルバイオケアのデジタルワークフロー：

- 治療の効率を高め、患者様の満足度を向上
- クリニックとラボの連携がさらに発展
- 最終補綴装置を考慮したデザインを治療計画

* Add LabDesignは、SmartFusionのみ有効なソリューションです





DTX Studio™ Implant

Workflow - Add lab design

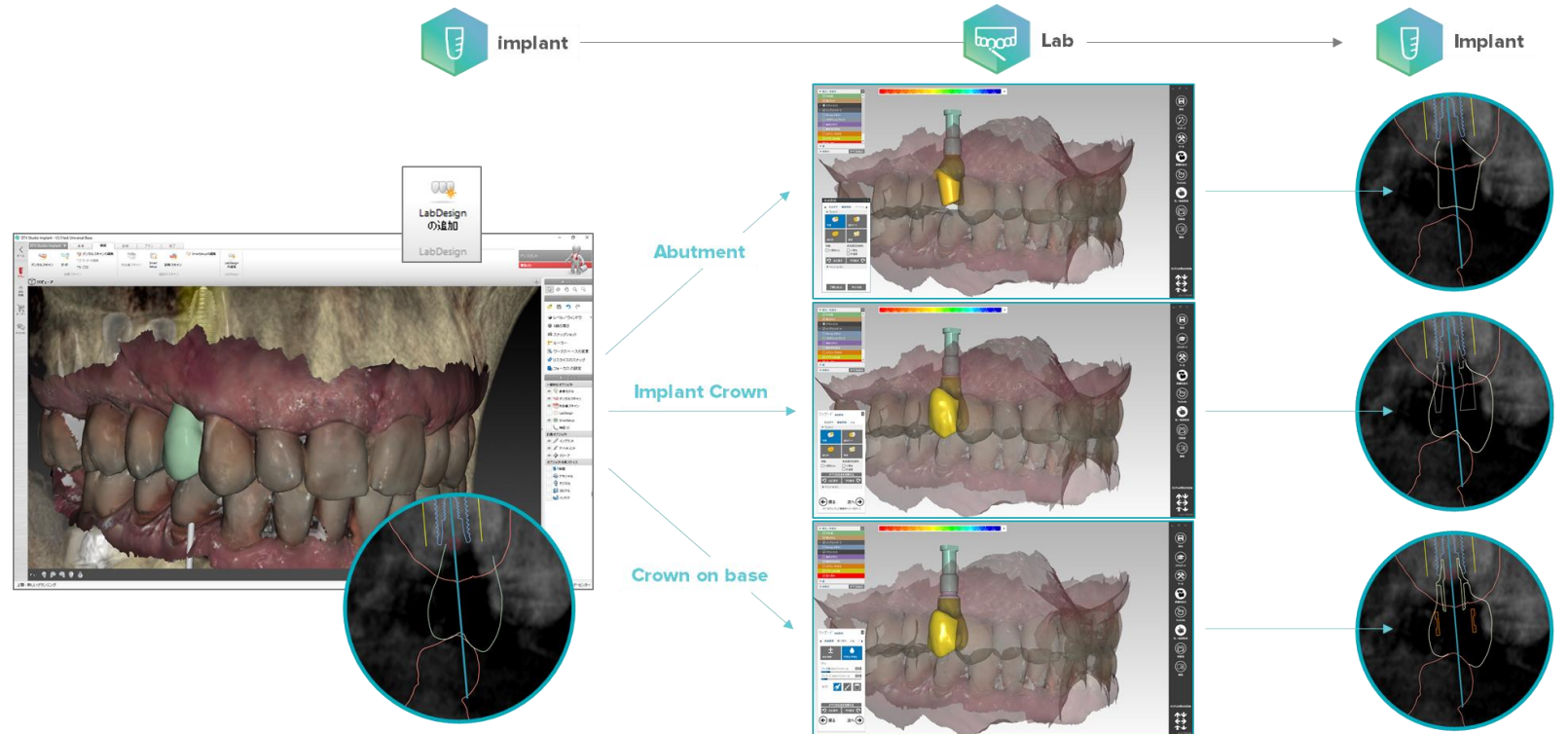
診断用補綴デザインのオーダー (to DTX Studio Lab)

Chair side

診断用補綴デザインのオーダー (オーダー側)

DTX Studio™ Implantから、診断用補綴デザインのリクエストができます。

- DTX Studio Implantからリクエストされた診断用補綴デザインのオーダーは、DTX Studio™ Labのユーザーへ直接リクエスト(技工指示)を送信する事が可能です。
- Labは、インプラント手術前に最終補綴装置およびプリンティング・モデルのオーダーが可能です。
- リクエスト可能デザイン :
 - Abutment
 - Implant crown
 - Crown on base



Tighter Integration with DTX Studio™ Lab
 補綴デザインのインテグレーション
 Add lab design

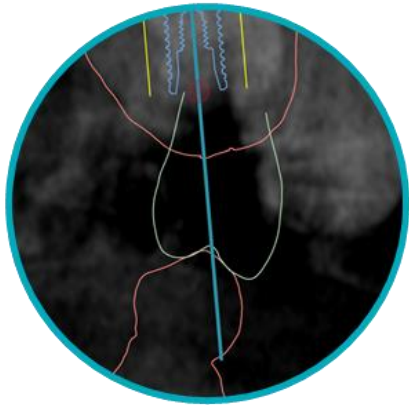


DTX Studio™ Implant

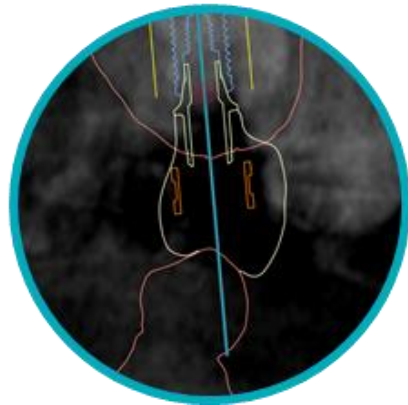
Workflow - Add lab design

診断用補綴デザインのオーダー (to DTX Studio Lab)

- DTX Studio™ Implantでインプラントおよび、Smartsetupを計画後、【補綴】タブの【LabDesignの追加】ボタンを左クリックします。
LabDesignの追加ウィンドウから【オーダー・モジュールに移動】を左クリックします。



Smartsetup



Add Lab Design

事前に以下の手順が必要となります
* Labとのコネクが必要で
* 作業模型の準備と送付

The screenshot shows the software interface with the following steps highlighted:

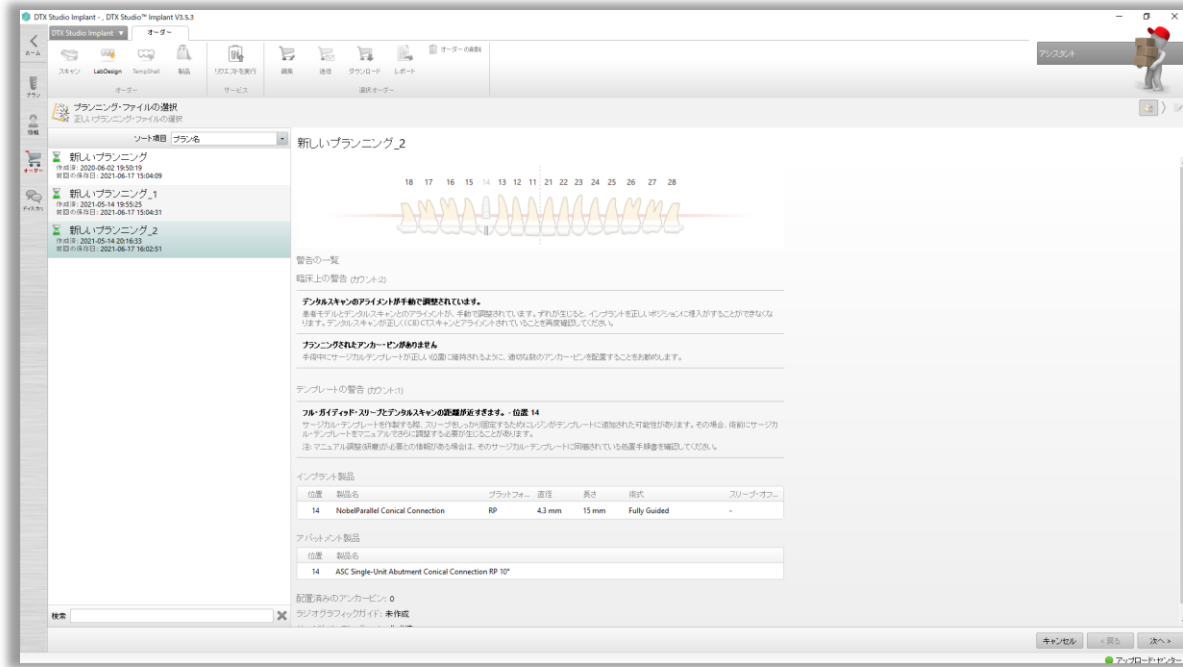
- Step 1:** In the '補綴' (Prosthesis) tab, click the 'LabDesignの追加' (Add LabDesign) button.
- Step 2:** In the 'LabDesignの追加' dialog box, click the 'オーダー・モジュールに移動' (Move to Order Module) button.
- Step 3:** In the '保存されていない計画' (Plan not saved) warning dialog box, click the '保存' (Save) button.

* 計画が保存されていない場合は【保存】をします。



DTX Studio™ Implant Workflow - Add lab design 診断用補綴デザインのオーダー (to DTX Studio Lab)

2 オーダー内容を確認し【次へ】をクリックします。



3 コネクト先、補綴装置の種類、オーダー概要を設定し、【完了】をクリックします。



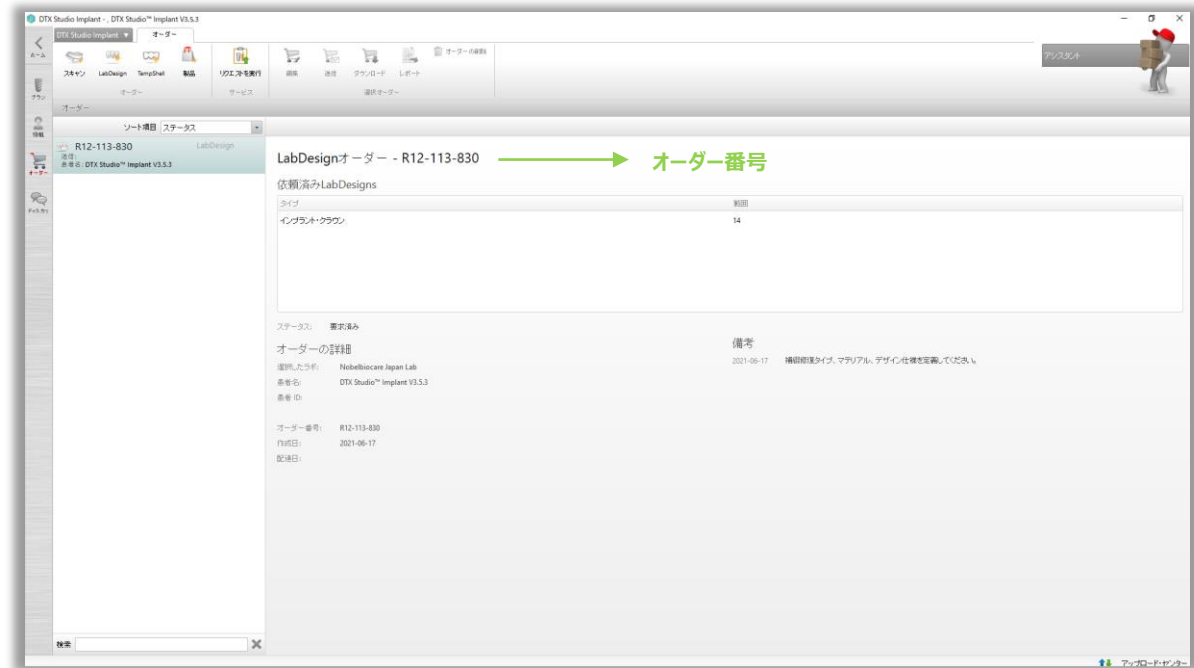


DTX Studio™ Implant

Workflow - Add lab design

診断用補綴デザインのオーダー (to DTX Studio Lab)

4 オーダーの完了。





DTX Studio™ Lab Workflow - Add lab design 診断用補綴デザインのオーダー (to DTX Studio Lab)

Lab side

診断用補綴デザインのオーダー (受信側)

DTX Studio™ Implantから、診断用補綴デザインのリクエストが受け取れ、デザインした診断用補綴装置をDTX Studio Implantへ返します。

➤ Labは、インプラント手術前に最終補綴装置およびプリンティング・モデルのオーダーが可能です。

➤ リクエスト可能デザイン：

- Abutment
- Implant crown
- Crown on base

送信者： no-reply@dtxstudio.com

件名： Nobel Biocare Japan has sent a new service request

本文： [New service request available](#)

A new service request was sent out for you to be processed. Open your DTX Studio Lab to fulfill this request.
Note: the data will stay available on our servers for the upcoming 90 days. More information about the service request can be found [here](#).

Requested by: Nobel Biocare Japan
Request ID: R12-113-830
Patient name: DTX Studio™ Implant V3.5.3
Requested service: Design a restoration

→ **オーダー番号**

Best regards,
DTX Studio team

DTX Studio Lab ソフトウェア



5

DTX Studio™ Implantからのリクエストをメールで受信します。
DTX Studio™ Lab ソフトウェアのリクエスト欄にオーダーされた項目が追加されます。
【リクエストの開始】 ボタンからデザインを開始します。



DTX Studio™ Lab Workflow - Add lab design 診断用補綴デザインのオーダー (to DTX Studio Lab)

6 【症例を追加】から症例情報を確認し、【次へ】をクリックします。

症例を追加 × キャンセル

症例情報

患者
DTX Studio™ Implant V3.5.3

症例ID

期日
17 6月 2021

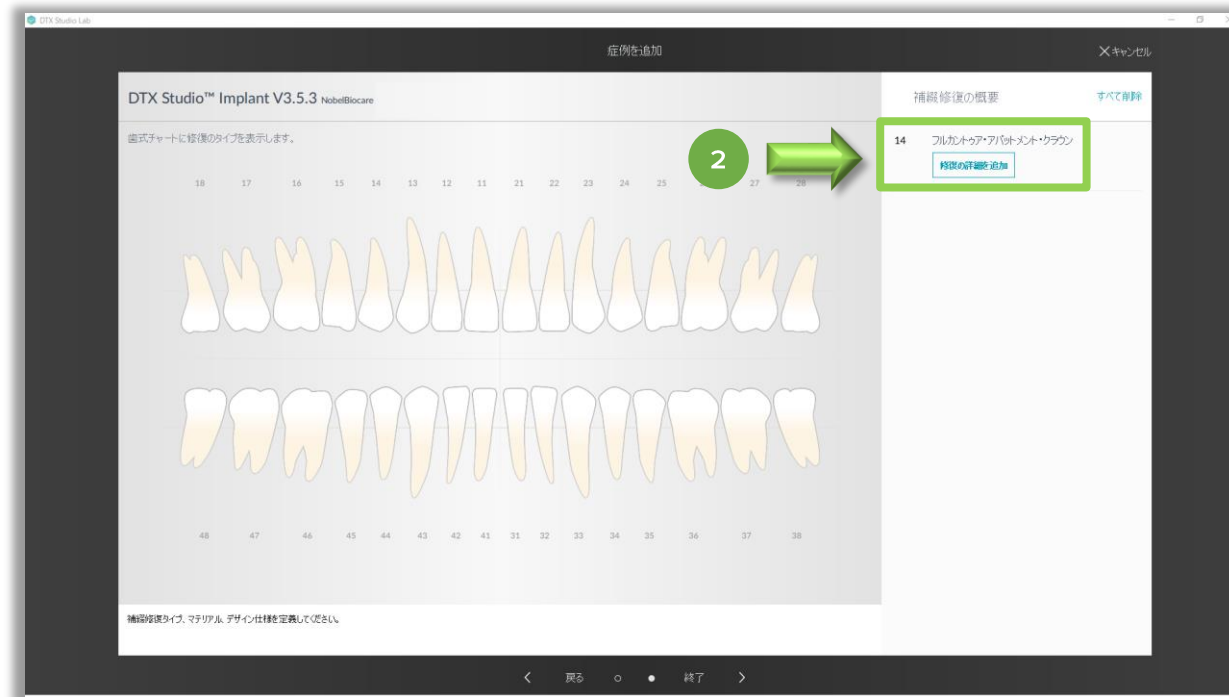
歯科医の情報

歯科医名 郵便番号

歯科技工所または歯科医院

1 次へ

7 【修復の詳細を追加】をクリックし、DTX Studio Implantの設定を症例に反映させます。

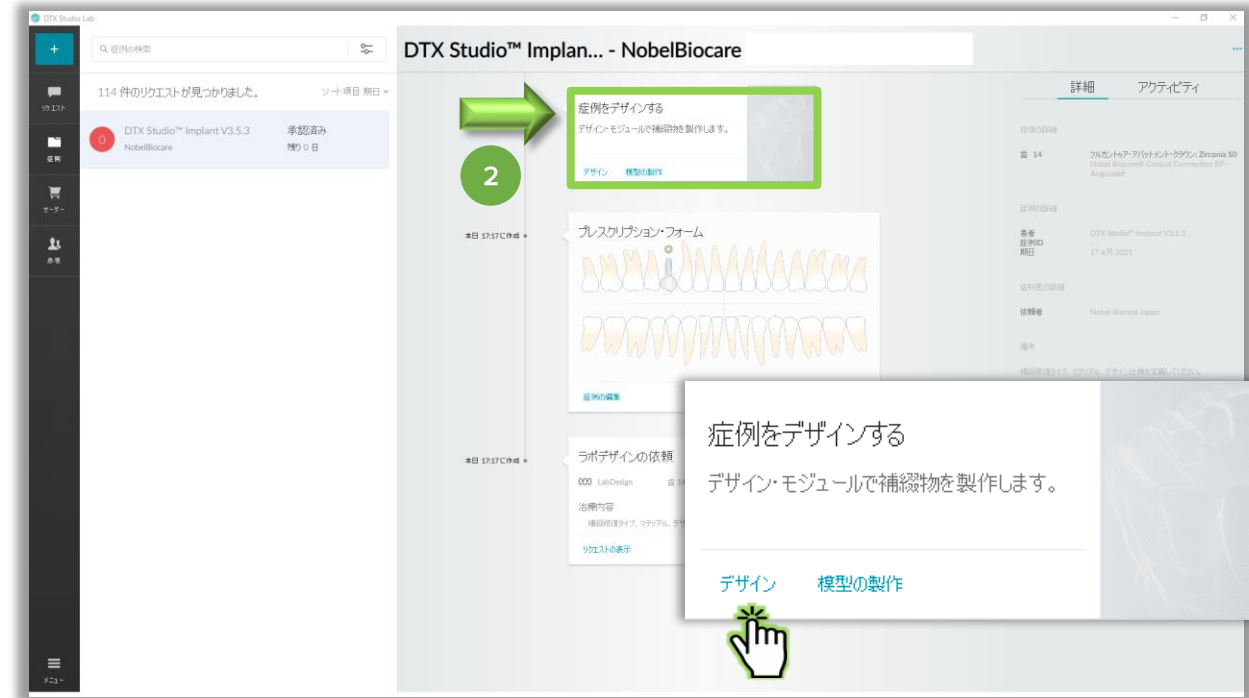
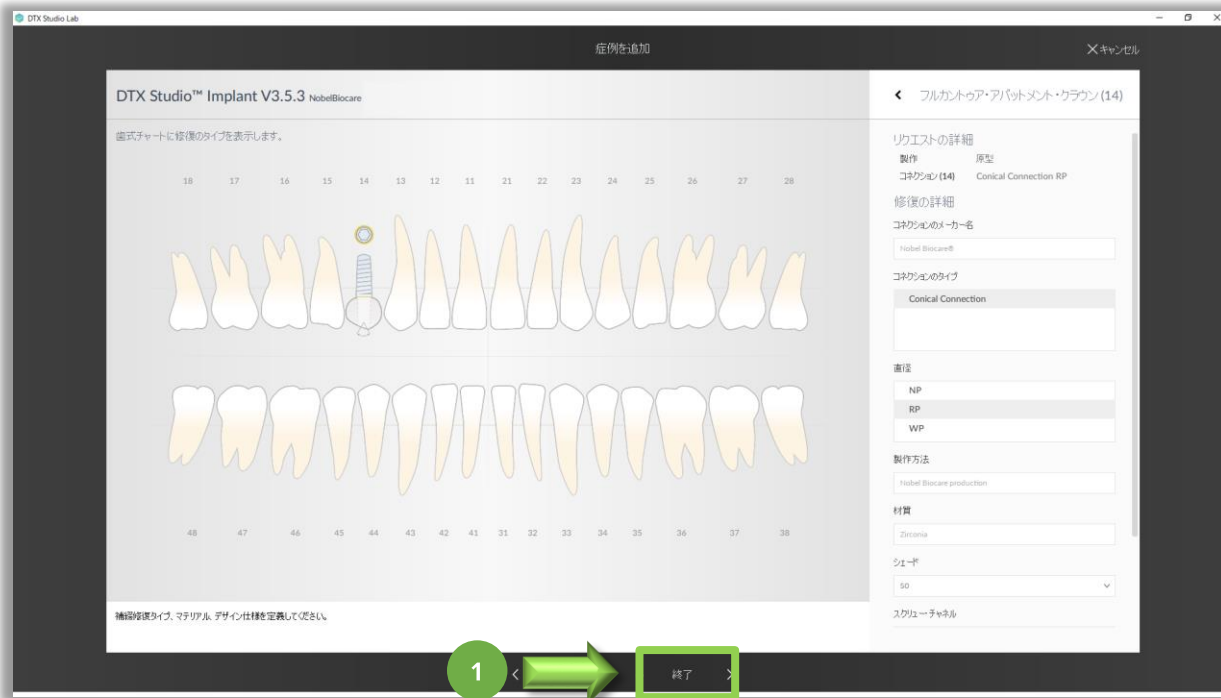




DTX Studio™ Lab Workflow - Add lab design 診断用補綴デザインのオーダー (to DTX Studio Lab)

8 反映された症例のリクエストの詳細を確認し、【終了】をクリックします。

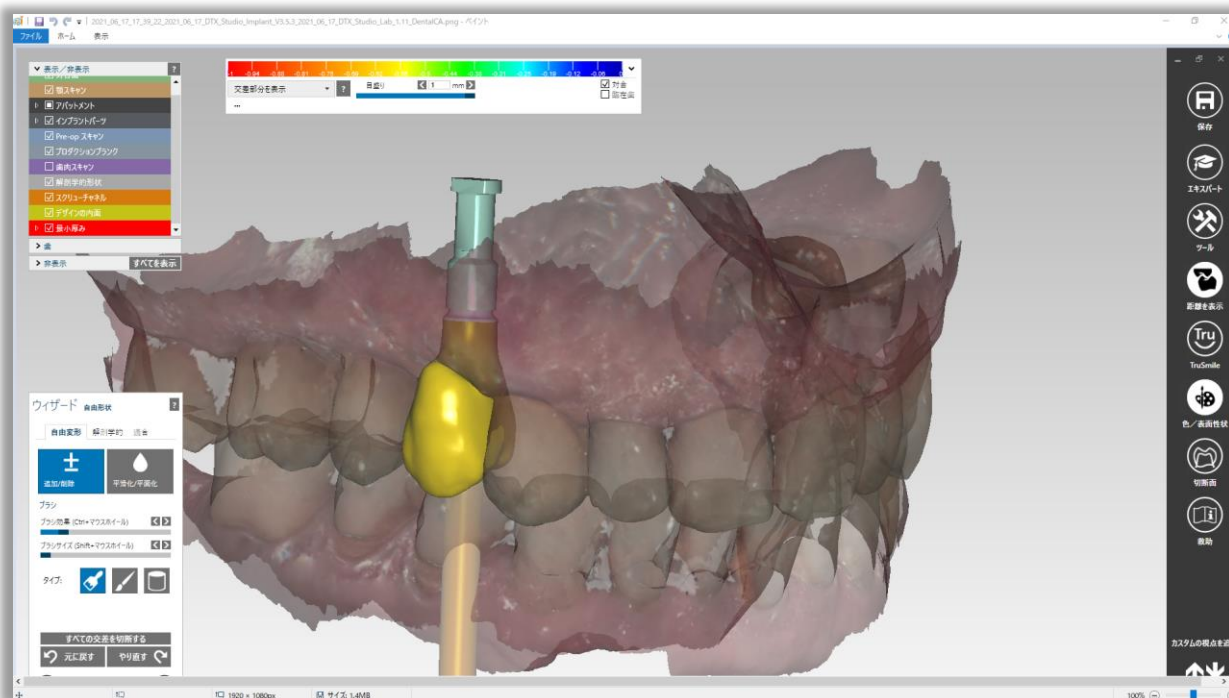
9 デザインを開始します。



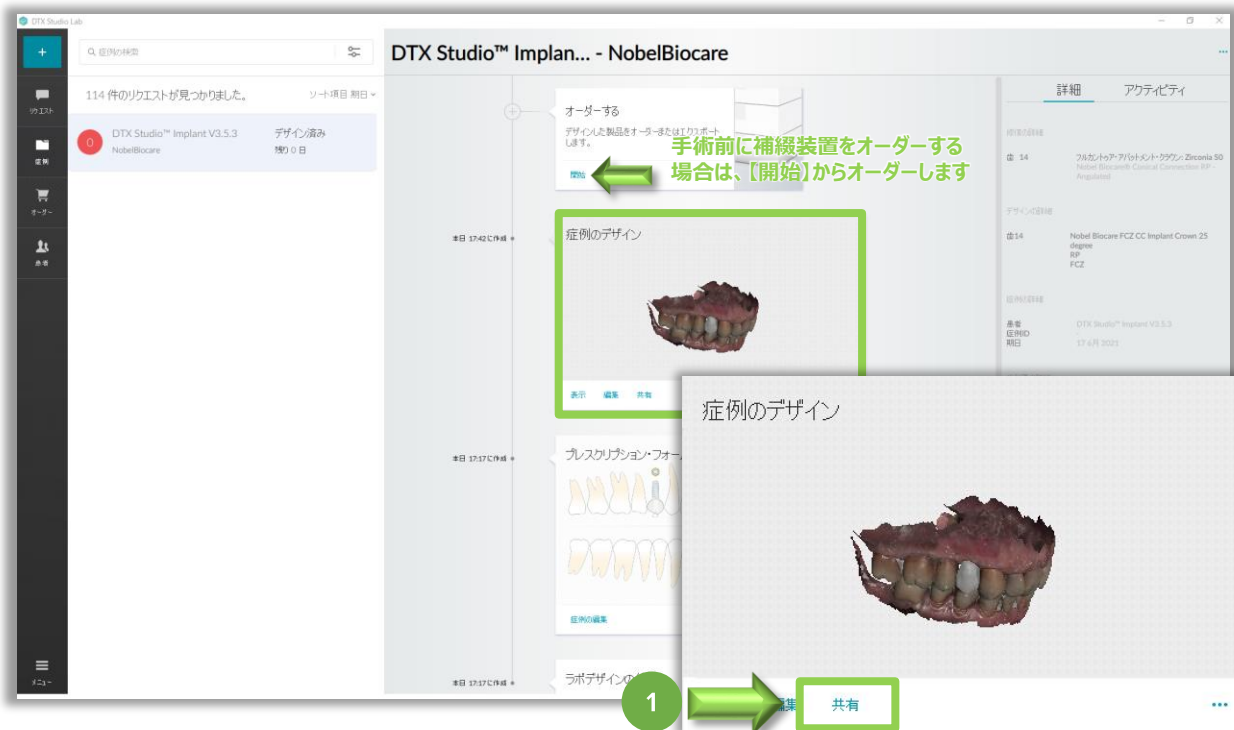


DTX Studio™ Lab Workflow - Add lab design 診断用補綴デザインのオーダー (to DTX Studio Lab)

10 通法に従い、デザインを完成させます。



11 【症例デザイン】項目から【共有】をクリックします。
*手術前に補綴装置をオーダーする場合は、【オーダーする】項目からオーダーします。





DTX Studio™ Lab

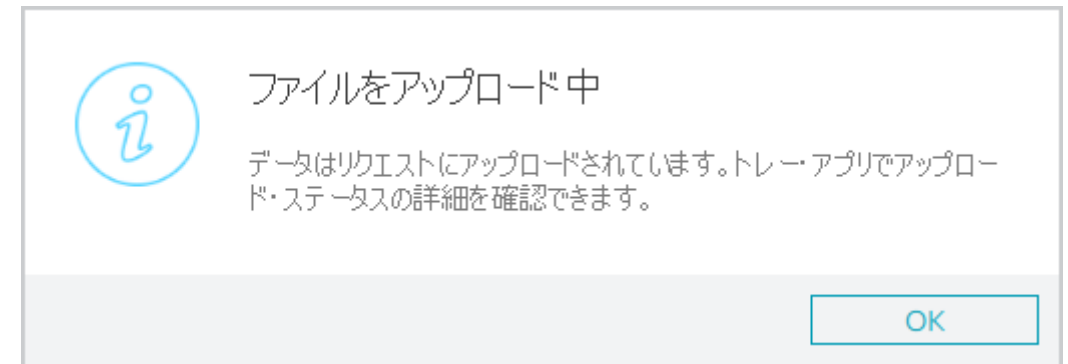
Workflow - Add lab design

診断用補綴デザインのオーダー (to DTX Studio Lab)

12 【共有】をクリックします。



13 アップロードウィンドウが表示されたら【OK】をクリックします。





DTX Studio™ Implant

Workflow - Add lab design

診断用補綴デザインのオーダー (to DTX Studio Lab)

Chair side

診断用補綴デザインのオーダー (オーダー側)

DTX Studio™ Labから、Add Lab designデータを受け取れます。

- DTX Studio Implantからリクエストされたスキャンオーダーは、DTX Studio™ Labからのスキャンデータを、DTX Studio Implant ソフトウェアで直接受け取る事が可能です。

送信者: no-reply@dtxstudio.com

件名: Nobelbiocare Japan Lab has sent you a scan(s) for order R11-133-750

本文: [LabDesign available](#)

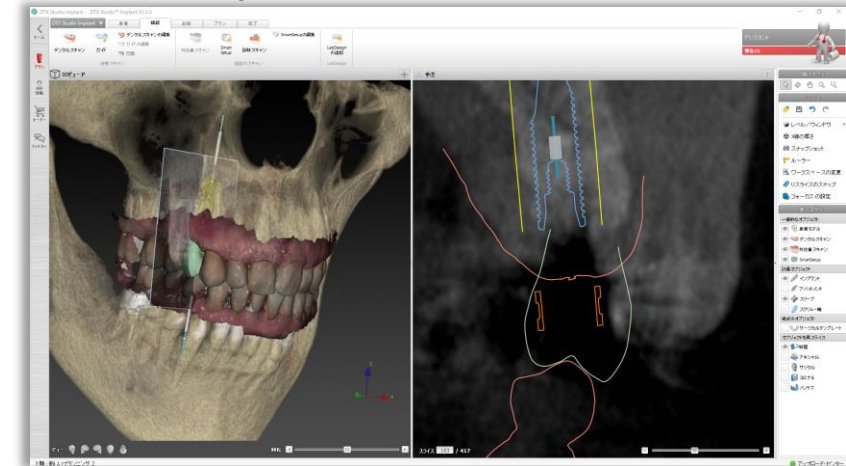
A LabDesign was designed by your dental lab. Open the DTX Studio software to retrieve your design.

Note: the data will stay available on our servers for 90 days.

Request ID: R12-113-830
Patient name: DTX Studio™ Implant V3.5.3
Requested service: Design a restoration

Best regards,
DTX Studio team

DTX Studio Implant ソフトウェア



14

DTX Studio™ LabからAdd lab designデータ受け取り案内をメールで受信します。
DTX Studio™ Implant を起動し、対象の患者データを開きます。



DTX Studio™ Implant

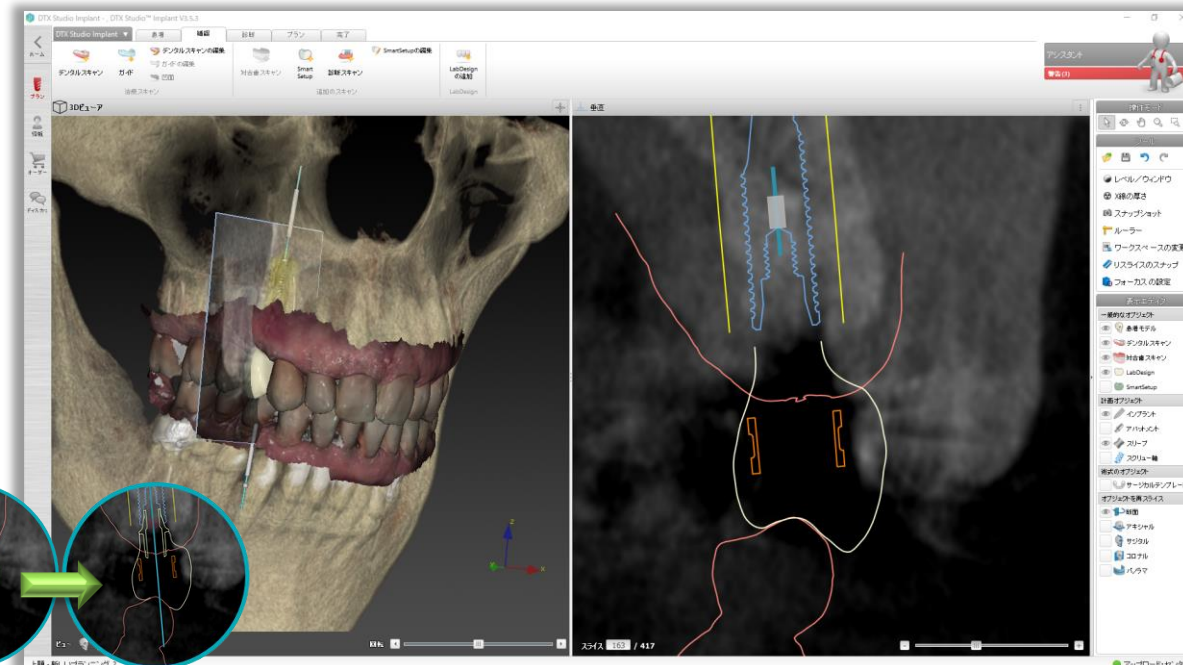
Workflow - Add lab design

診断用補綴デザインのオーダー (to DTX Studio Lab)

- 15** 【補綴】タブの【LabDesignの追加】をクリックします。
対象のデータを選択し、【LabDesignの追加】ボタンをクリックします。



- 16** Lab Designデータが取り込まれます。





DTX Studio™ Implant

Immediate Temporary Solution

TempShell order



DTX Studio™ Implant



DTX Studio™ Lab



個別に製作するスクリュー固定のプロビジョナルがインプラント埋入手術当日に装着可能です

Supports fast time-to-teeth

TempShell is a screw-retained CAD/CAM provisional on the day of surgery, which is digitally created for each patient and easy to adjust according to the implant position. It is powered by DTX Studio suite.

ノーベルバイオケアのプロビジョナル・デジタルワークフロー :

- 治療の効率を高め、患者様の満足度を向上
- クリニックとラボの連携がさらに発展
- より迅速な、プロビジョナルの提供を実現
- 手術当日に固定可能なプロビジョナルレストレーション

*TempShellは、SmartFusionのみ有効なソリューションです



TempShell

Screw-retained CAD/CAM provisional at the day of surgery. Collaborative digital workflows.

個別に製作するスクリー固定のプロビジョナルがインプラント埋入手術当日に装着可能です

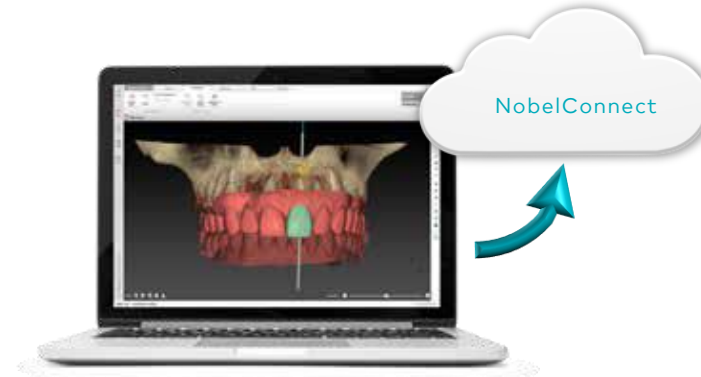


1, 患者の初診訪問時

患者様の口腔内情報（CTデータ、口腔内スキャン、臨床写真など）をソフトウェアに取り込みます

DTX Studio Implant・ソフトウェアVer.3.6を使用して、補綴主導のインプラント治療計画を作成します

患者に確認していただけるように、治療計画と補綴形態をビジュアル化します



DTX Studio Implant – 初診時のスキャンからプランニングまで

SmartFusionで素早くビジュアル化

口腔内スキャナーもしくはデスクトップ・スキャナーから取り込んだ STL ファイルを（CB）CTデータと融合させ、患者様の解剖学的な情報をビジュアル化します

スマートセットアップでプランニング

ソフトウェア上でワックスアップを素早くデザインする機能（スマートセットアップ）を使用し、補綴主導のインプラント治療計画を作成します

ラボとのコラボレーションがさらに充実

DTX Studio Lab・ソフトウェアを所有するラボと、クラウド上で情報共有ができます

個別に製作するスクリー固定のプロビジョナルがインプラント埋入手術当日に装着可能です



2, ラボのワークフロー

DTX Studio Labソフトウェアを用いて、プロビジョナルのデザインを完成させます

デザインした STLファイルをエクスポートし、インハウス型3Dプリンターもしくは、ミリングマシンで
テンプ・シェルを製造します

完成したテンプシェル（プロビジョナル）を歯科医院に送り、即時で補綴装置を装着できる準備を行います



DTX Studio Lab – スタート時点から歯科技工士との密な連携が可能

DTX Studio Labソフトウェアで変わります

DTX Studio Labは、歯科医師と歯科技工士との連携を通じて、補綴装置のデザインから製造まで、ラボに新たな選択肢を提供します

チームでつながる

テンプ・シェルなど、新たなソリューションを使用することで、歯科技工士と効率性の高いコラボレーションが可能になります

完全デジタル・ワークフローで作業時間を節約

デジタルプランを元に、クリックするだけでプロビジョナルのデザインを作成でき、インハウス型機器での製造*まで可能になります

* テンプシェル製造には別途、3Dプリンター / ミリングマシンが必要となります

個別に製作するスクリー固定のプロビジョナルがインプラント埋入手術当日に装着可能です



3, インプラント手術当日

インプラントを埋入します
チェアサイドで、テンプシエル・プロビジョナルを仕上げます
プロビジョナルをインプラント手術当日に患者へ提供します



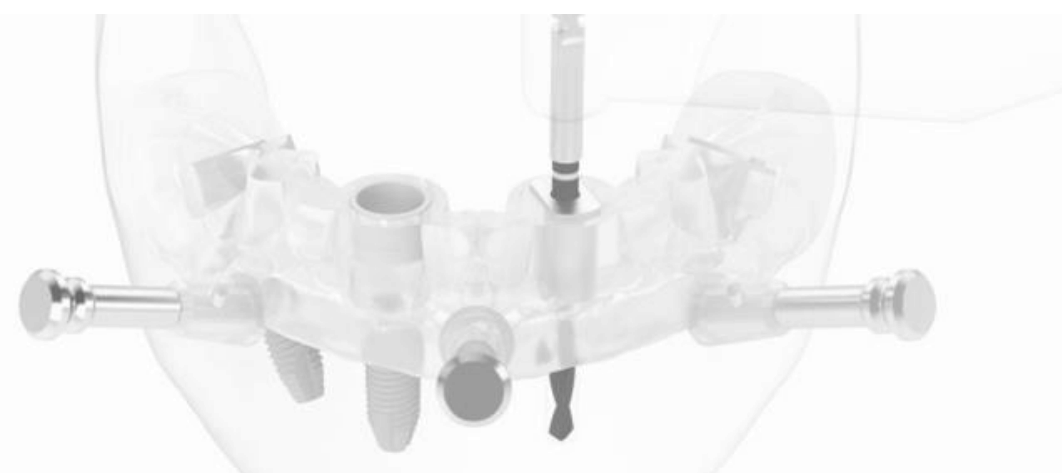
テンプシエル – CAD/CAM 製作のスクリー固定のプロビジョナル

審美性の高い修復を短期間で提供

テンプシエルは、患者様個別にデジタルで製造するプロビジョナル・レストレーションです
インプラント埋入ポジションに応じた調整が行えます

チェアタイムの短縮

個別製造のため、試適、調整の回数を減らします
プロビジョナルに付与されるウィングは、正しいポジションを確認する際に使用し、最終的には除去します



テンプシエルのウィングを使用し、
手術中に補綴装置の正しい位置を取得します

個別に製作するスクリー固定のプロビジョナルがインプラント埋入手術当日に装着可能です



3, インプラント手術当日

テンプレセル – CAD/CAM 製作におけるスクリー固定のプロビジョナル

スナップオン機能付きのテンポライゼーション・ワークフロー

テンプレセルは、テンポラリースナップ・アバットメントまたはテンポラリースナップ・シリンダー（マルチユニット・アバットメント プラス用）と一緒にご使用いただくことで、その利便性がより発揮されます

スクリー不要なトライイン

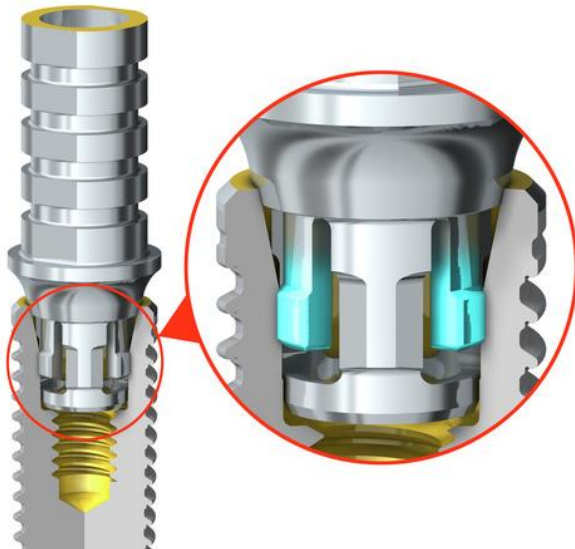
スナップオン・タイプのテンポラリースナップ・アバットメントまたはテンポラリースナップ・シリンダーをご利用いただくことで、試適時のスクリー締結が不要です

スクリー・アクセスホールの形成が容易に形成

専用のドリルガイドとアピカルドリルを使用して、スクリー・アクセスホールを正確に形成します

ポラリースナップ・アバットメントまたはテンポラリースナップ・シリンダーは、インターナル・コニカル・コネクション専用のソリューションとなります

テンポラリアバットメントをテンプレセルに取り込みます
アバットメント基底部よりアピカルドリルを挿入し、スクリー
アクセスホールを正確に成形します



テンポラリー・アバットメントが収まる
少し広めのスペース

テンポラリースナップ・アバットメント



テンポラリースナップ・シリンダー
* for Multi-Unit Abutment Plus





DTX Studio™ Implant

Workflow - TempShell order

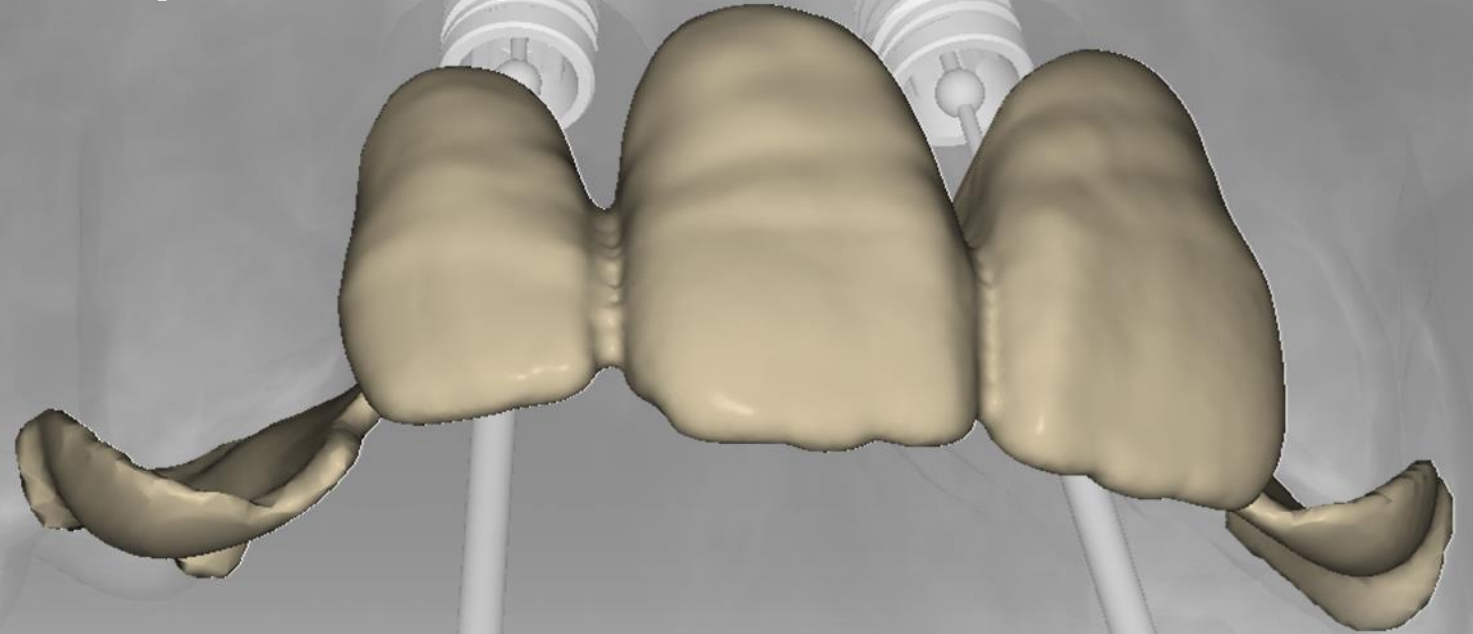
テンプレルのデザインおよび製造オーダー(to DTX Studio Lab)

Chair side

TempShellデザインのオーダー (オーダー側)

DTX Studio™ Implantから、TempShellのリクエストができます。

- DTX Studio ImplantからリクエストされたTempShellのオーダーは、DTX Studio™ Labのユーザーへ直接リクエストを送信する事が可能です。
- Labは、インプラント手術前にTempShellの製造が可能です。
- TempShellはオーダーおよび、デザインをDTX Studio Implantへ返すことも可能です。





DTX Studio™ Implant

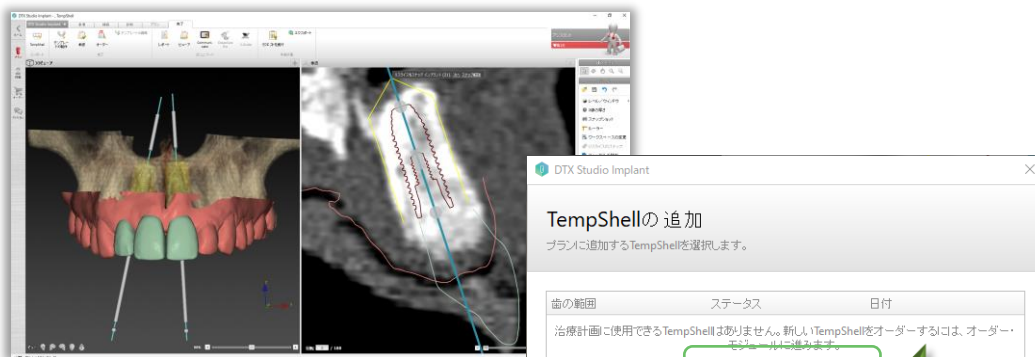
Workflow - TempShell order

テンプレルのデザインおよび製造オーダー(to DTX Studio Lab)

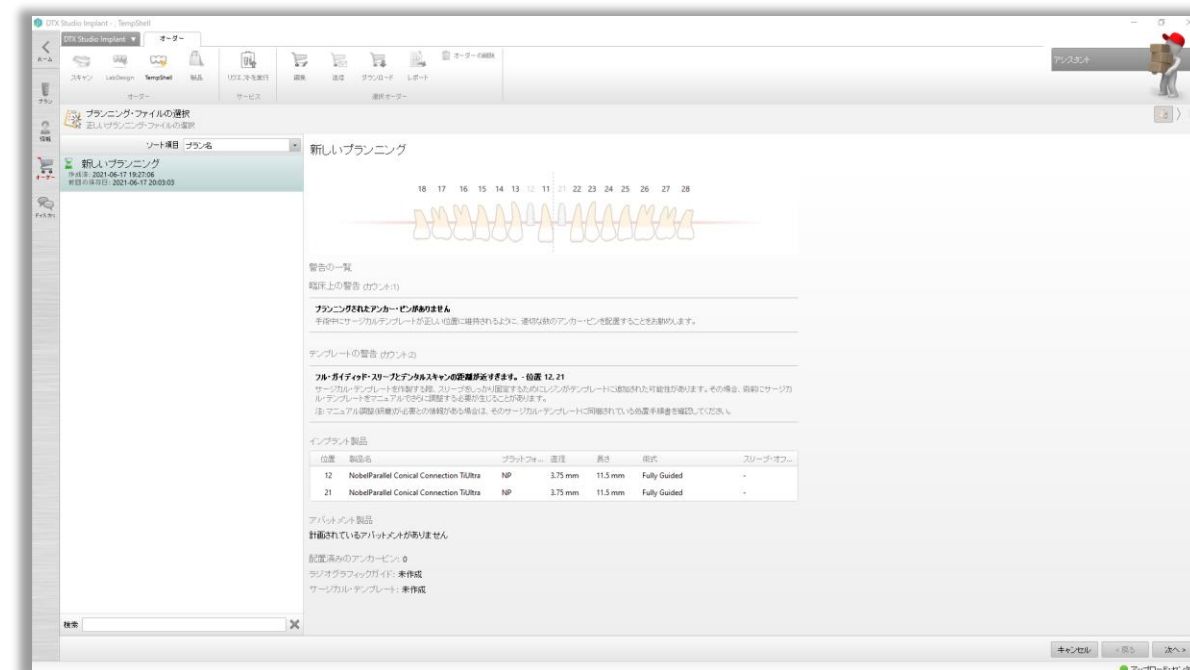


- DTX Studio™ Implantでインプラントおよび、Smartsetupを計画後、【完了】タブの【TempShell】ボタンを左クリックします。TempShellの追加ウィンドウから【オーダー・モジュールに移動】を左クリックします。

- オーダー内容を確認し【次へ】をクリックします。



* 計画が保存されていない場合は【保存】をします。





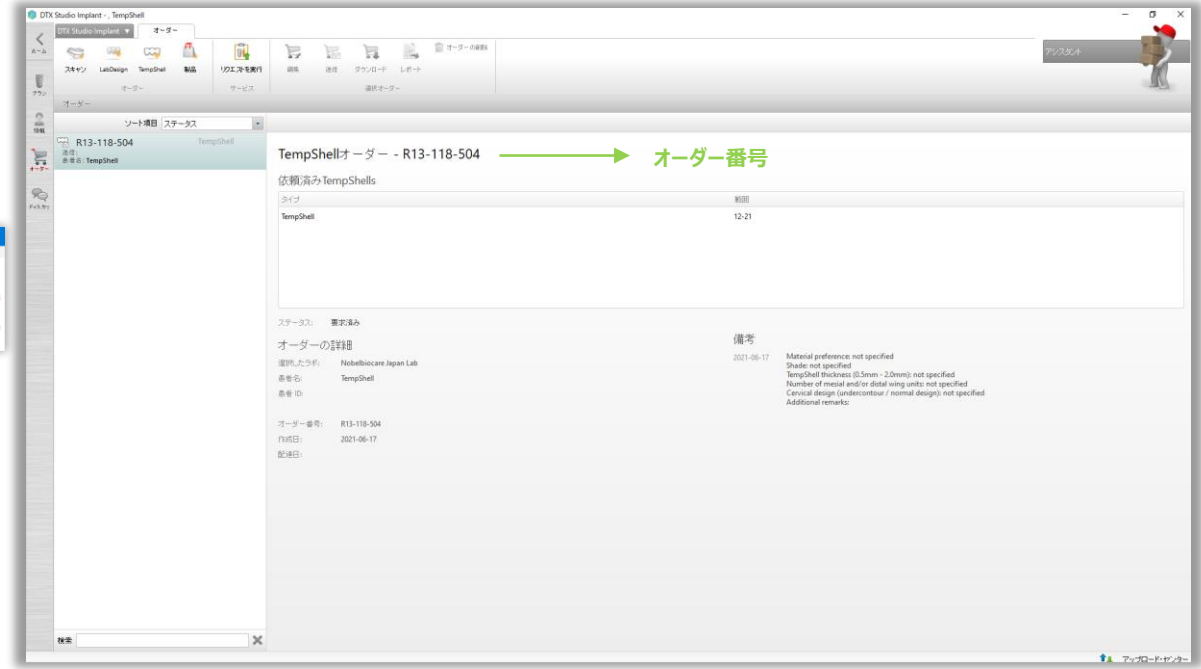
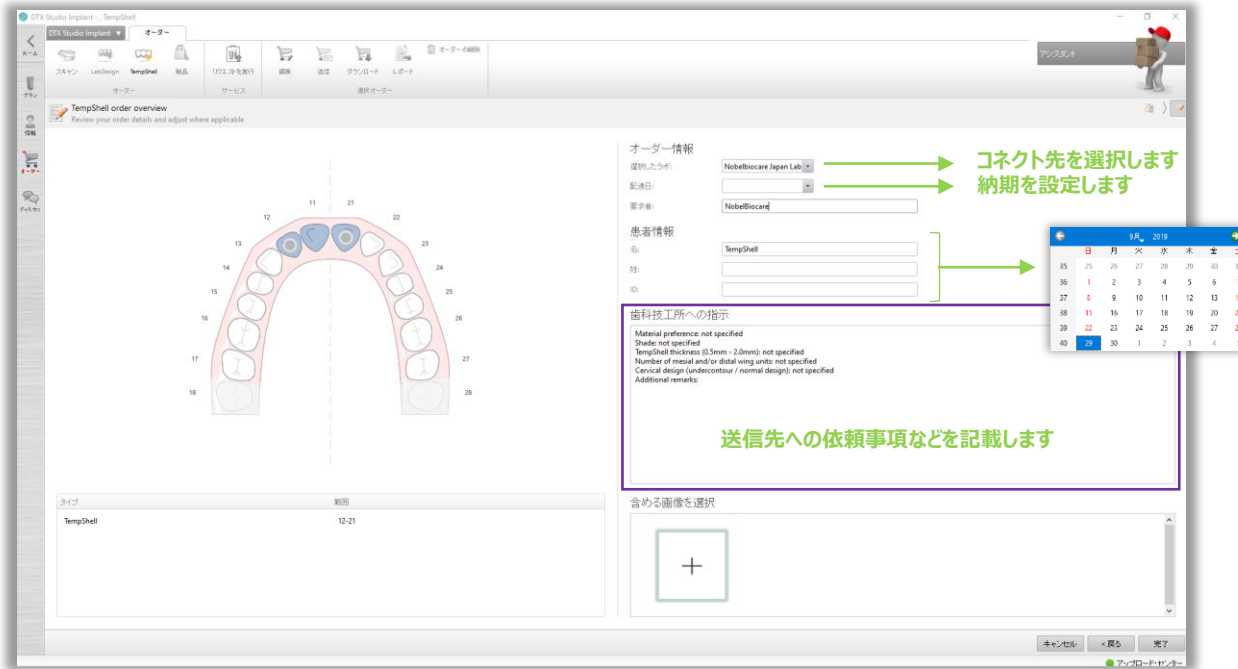
DTX Studio™ Implant

Workflow - TempShell order

テンプレルのデザインおよび製造オーダー(to DTX Studio Lab)

3 コネクト先、オーダー概要を設定し、【完了】をクリックします。

4 オーダーの完了。





DTX Studio™ Lab Workflow - TempShell order テンプレートのデザインおよび製造オーダー(to DTX Studio Lab)

Lab side

TempShellデザインのオーダー (受信側)

DTX Studio™ Implantから、TempShellのリクエストを受け取れ、デザインしたTempShellデータをExportまたは、DTX Studio Implantへ返します。

➤ Labは、インプラント手術前にTempShellの製造が可能です。

送信者 : no-reply@dtxstudio.com

件名 : Nobel Biocare Japan has sent a new service request

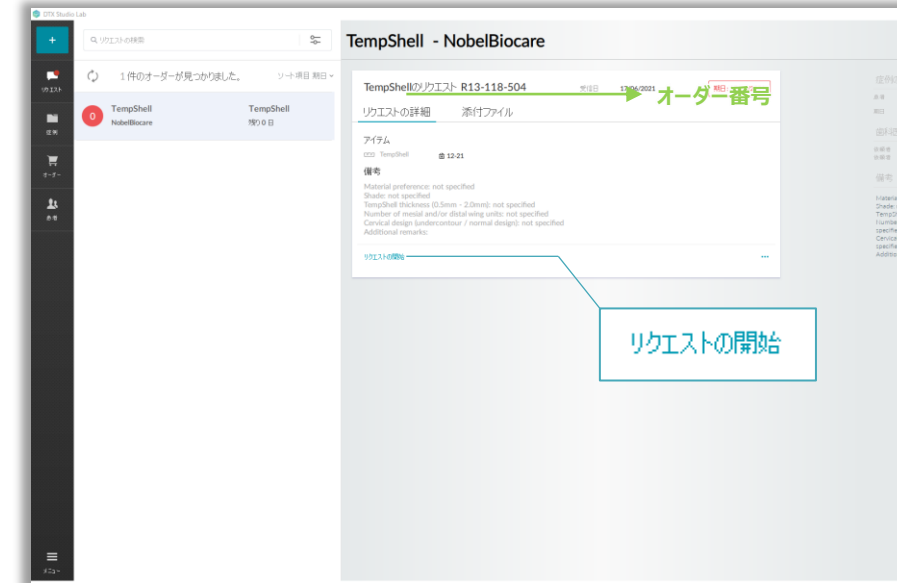
本文 : [New service request available](#)

A new service request was sent out for you to be processed. Open your DTX Studio Lab to fulfill this request.
Note: the data will stay available on our servers for the upcoming 90 days. More information about the service request can be found [here](#).

Requested by: Nobel Biocare Japan
Request ID: **R13-118-504** → **オーダー番号**
Patient name: TempShell
Requested service: Produce a tempshell

Best regards,
DTX Studio team

DTX Studio Lab ソフトウェア



5

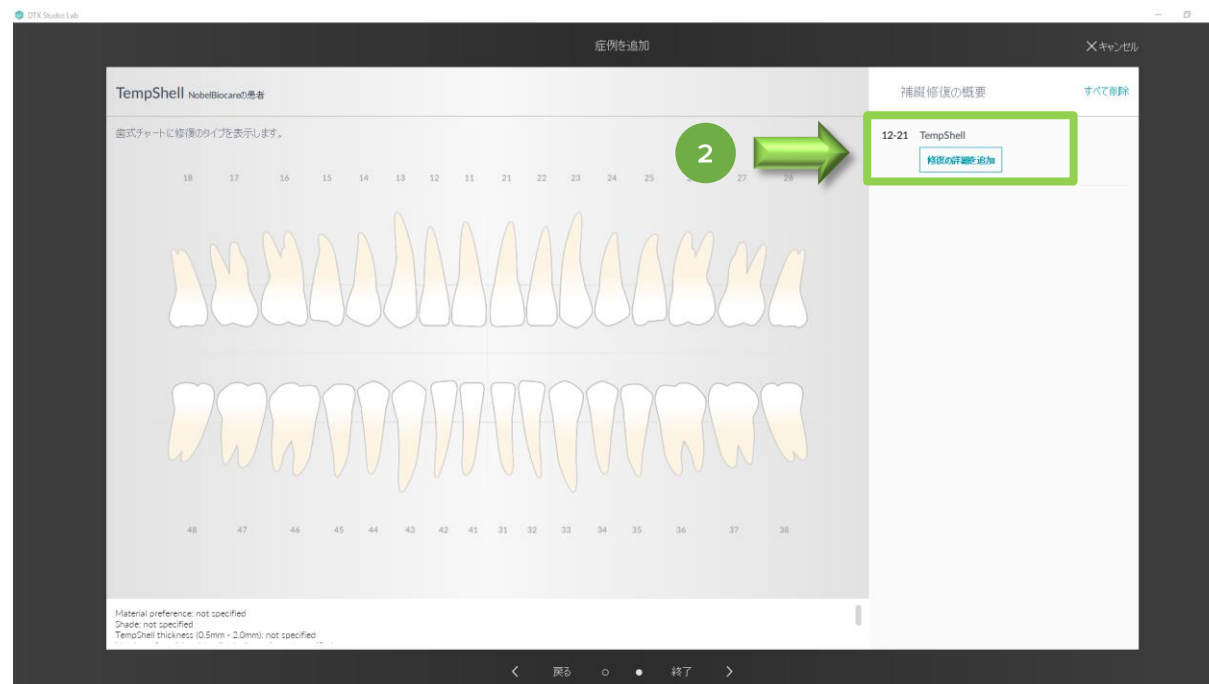
DTX Studio™ Implantからのリクエストをメールで受信します。
DTX Studio™ Lab ソフトウェアのリクエスト欄にオーダーされた項目が追加されます。
【リクエストの開始】 ボタンからデザインを開始します。



DTX Studio™ Lab Workflow - TempShell order テンプレートのデザインおよび製造オーダー(to DTX Studio Lab)

6 【症例を追加】から症例情報を確認し、【次へ】をクリックします。

7 【修復の詳細を追加】をクリックし、DTX Studio Implantの設定を症例に反映させます。

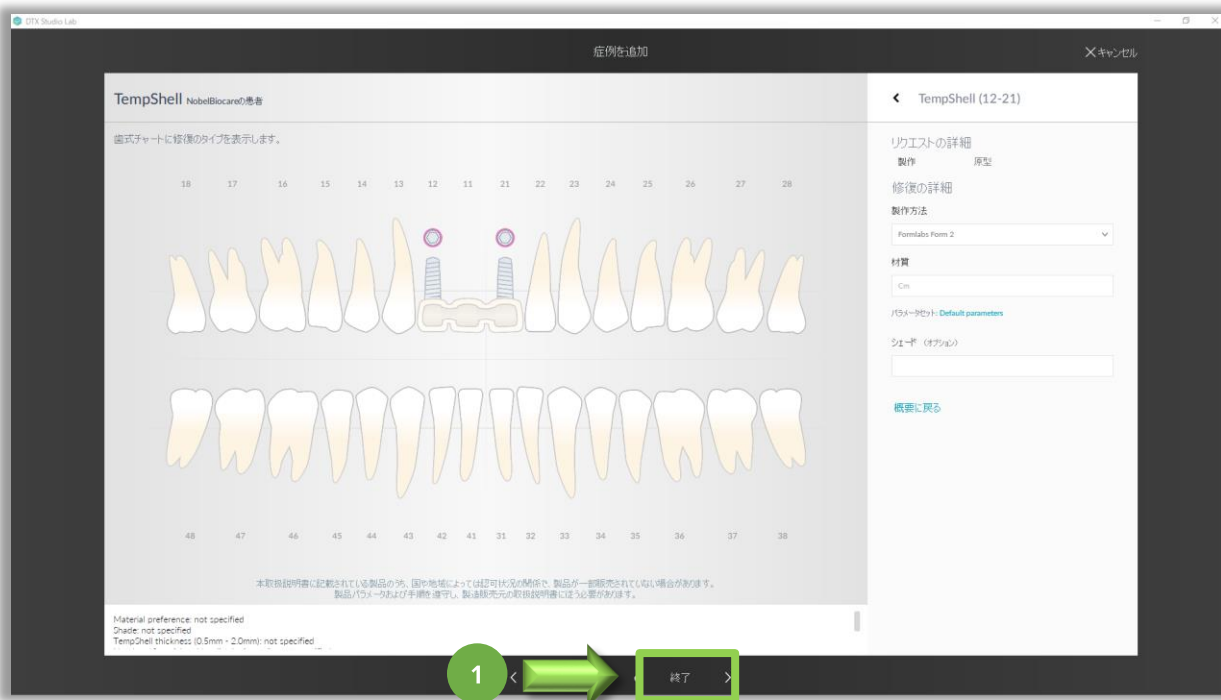




DTX Studio™ Lab Workflow - TempShell order テンプレートのデザインおよび製造オーダー(to DTX Studio Lab)

8 反映された症例の【リクエストの詳細】を設定し、【終了】をクリックします。
*事前にMilling機器やPrinter機器の登録が必要です。DTX Studio Goで登録が可能です。

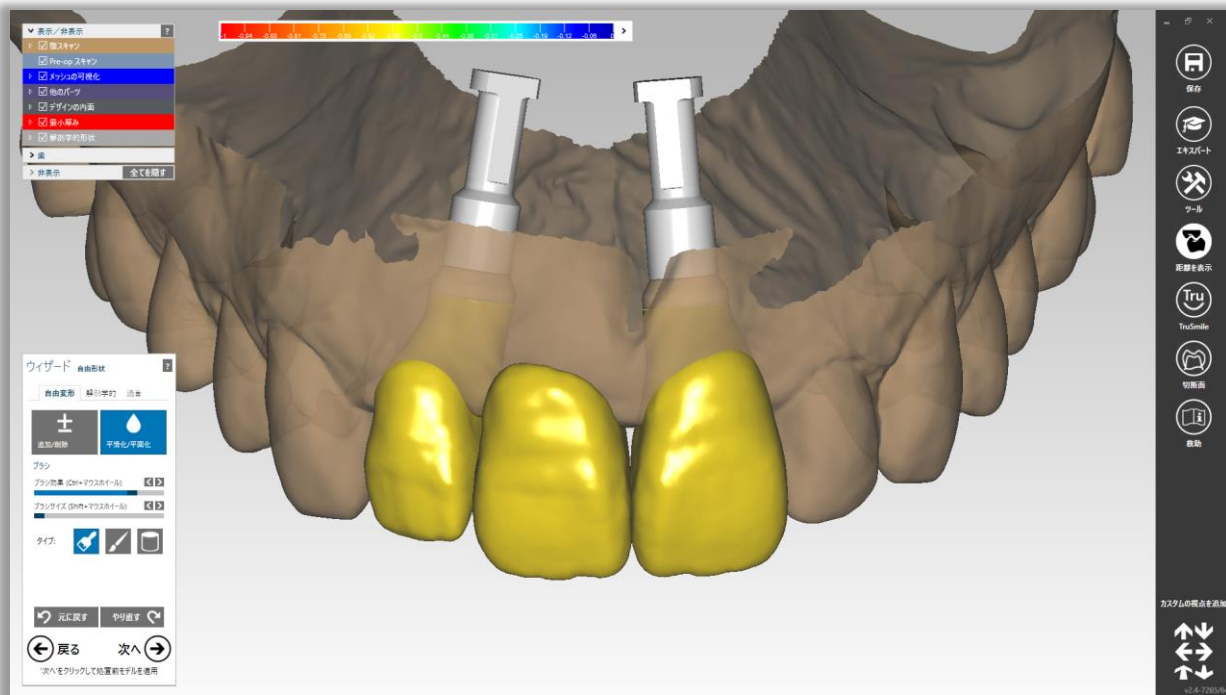
9 デザインを開始します。



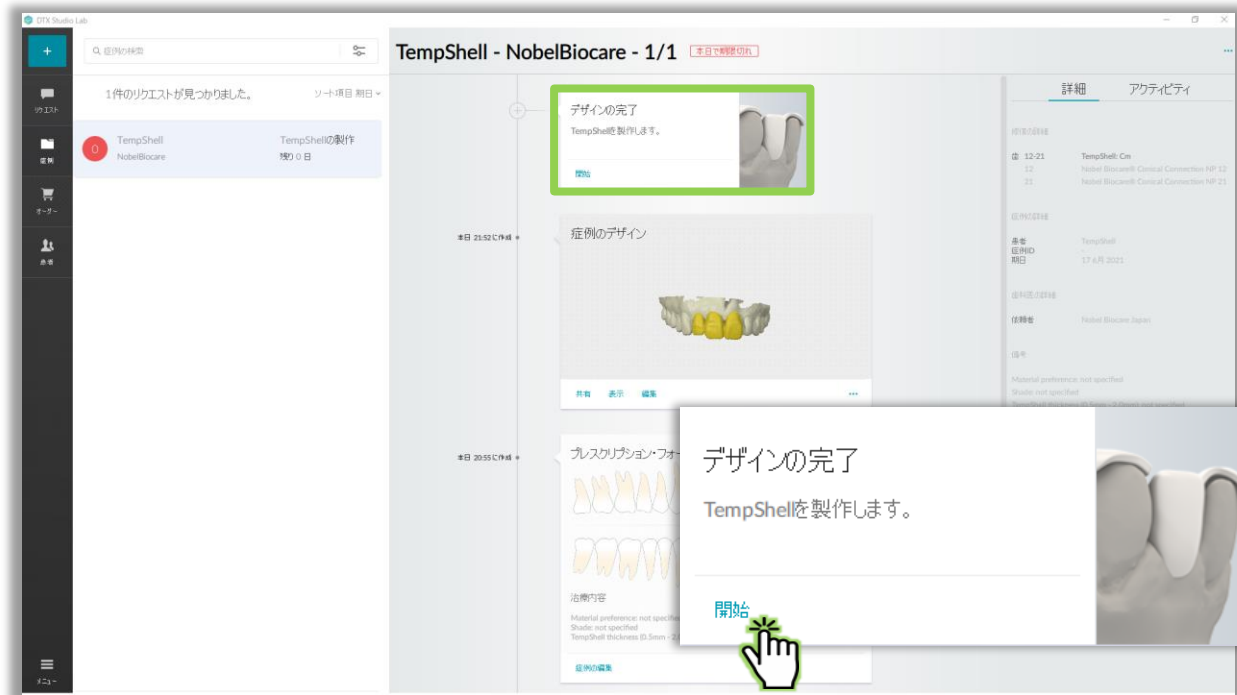


DTX Studio™ Lab Workflow - TempShell order テンプレートのデザインおよび製造オーダー(to DTX Studio Lab)

10 通法に従い、デザインを完成させます。



11 【デザインの完了】項目から【開始】をクリックします。





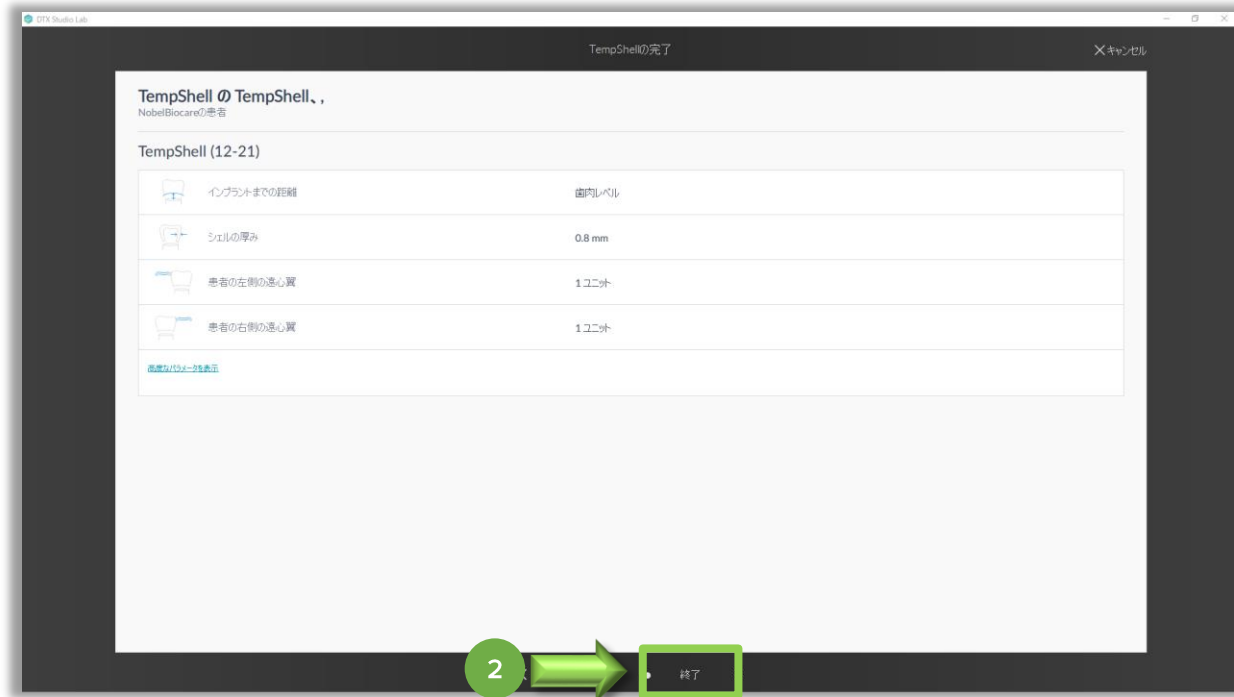
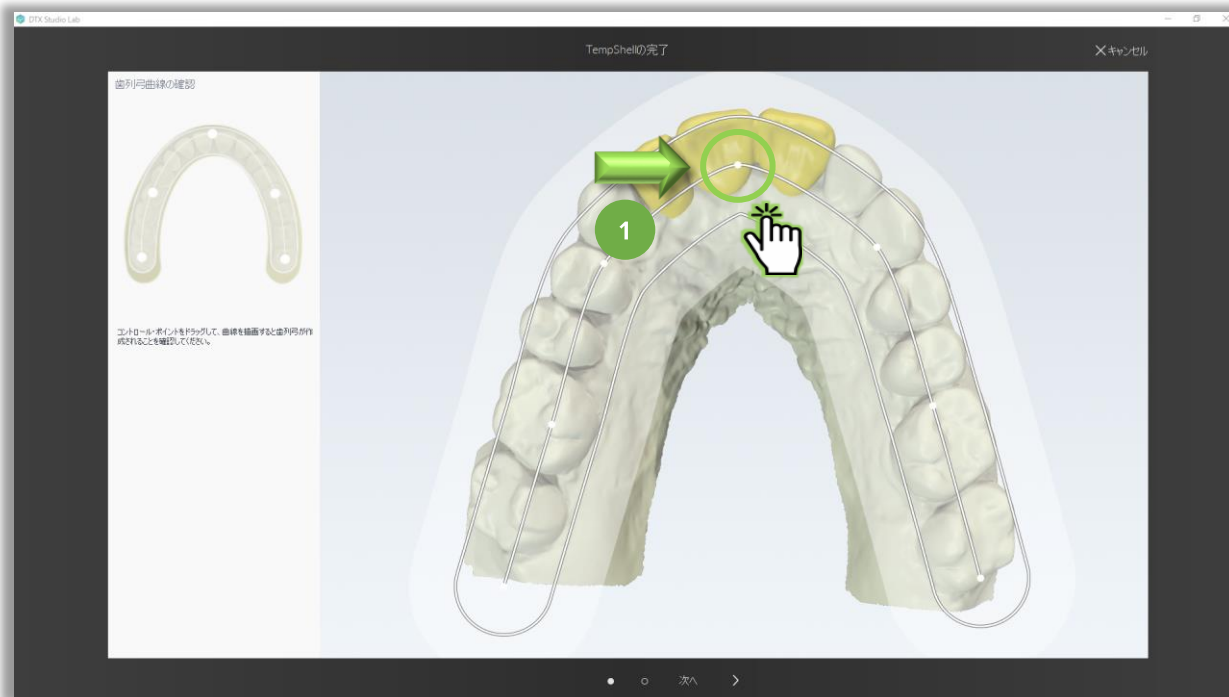
DTX Studio™ Lab

Workflow - TempShell order

テンプレートのデザインおよび製造オーダー(to DTX Studio Lab)

- 12** 歯列弓の曲線を調整します。
コントロール・ポイントをドラッグして歯列弓に曲線が収まるように調整します。

- 13** TempShellのマージン、シェル厚み、ウイングのユニット数を設定し、【終了】をクリックします。
*高度なパラメータを使用し、詳細設定を行なう事も可能です。

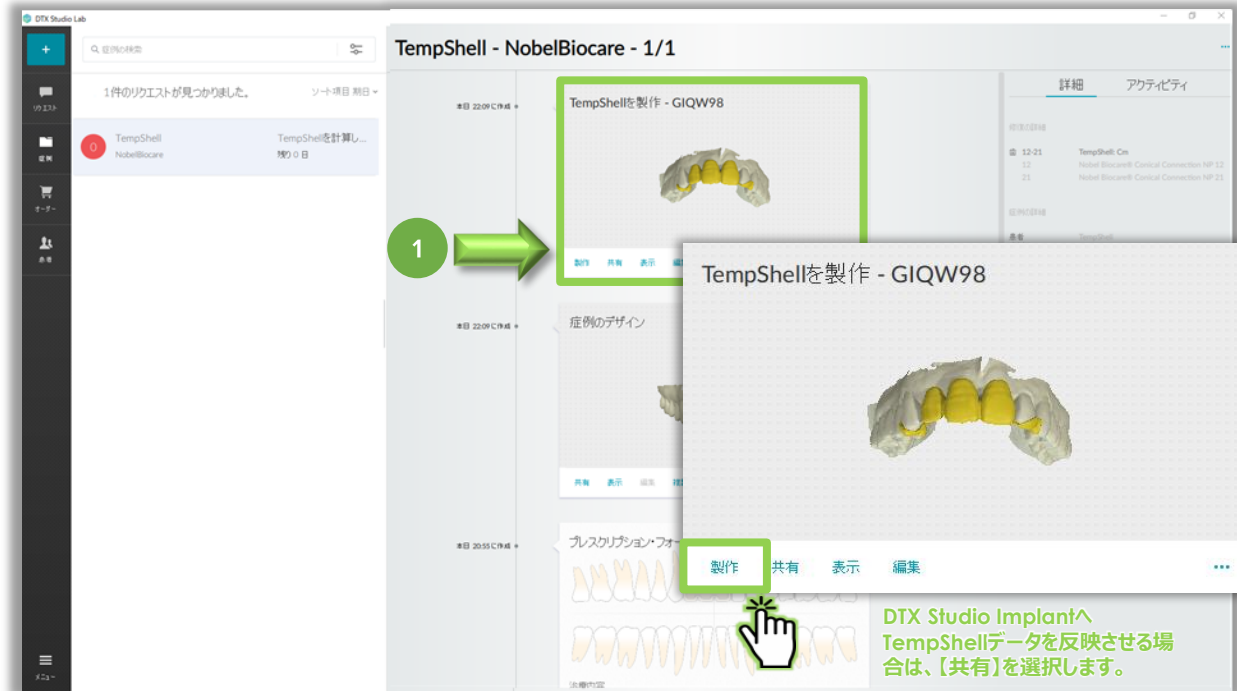
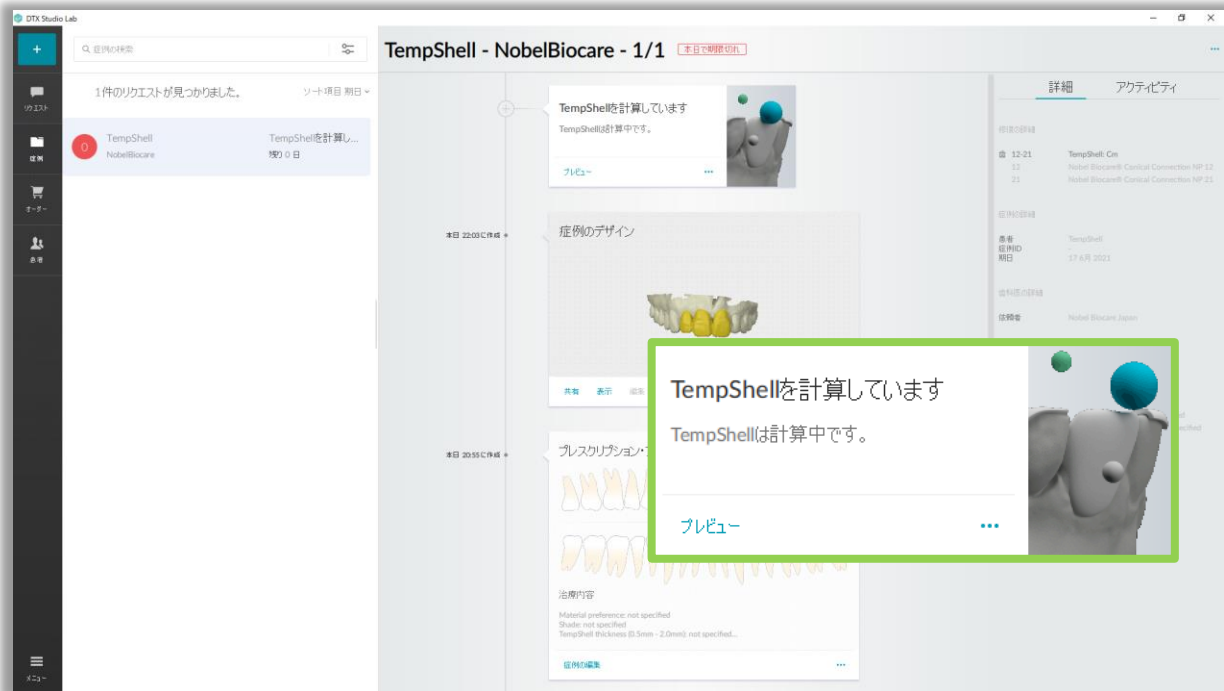




DTX Studio™ Lab Workflow - TempShell order テンプレルのデザインおよび製造オーダー(to DTX Studio Lab)

14 TempShellを計算します。

15 【TempShellを製作】項目から、【製作】をクリックし、STLファイルをエクスポートします。エクスポート先(フォルダ)を選択しファイルを保存します。





DTX Studio™ Implant

Workflow - TempShell order

テンプレルのデザインおよび製造オーダー(to DTX Studio Lab)

Chair side

診断用補綴デザインのオーダー (オーダー側)

DTX Studio™ Labから、TempShellデータを受け取れます。

- DTX Studio ImplantからリクエストされたTempShellオーダーは、DTX Studio™ Labからのデザインデータを、DTX Studio Implant ソフトウェアで直接受け取る事が可能です。

送信者: no-reply@dtxstudio.com

件名: Nobelbiocare Japan Lab has sent you a TempShell for order R13-118-504

本文: **TempShell available**

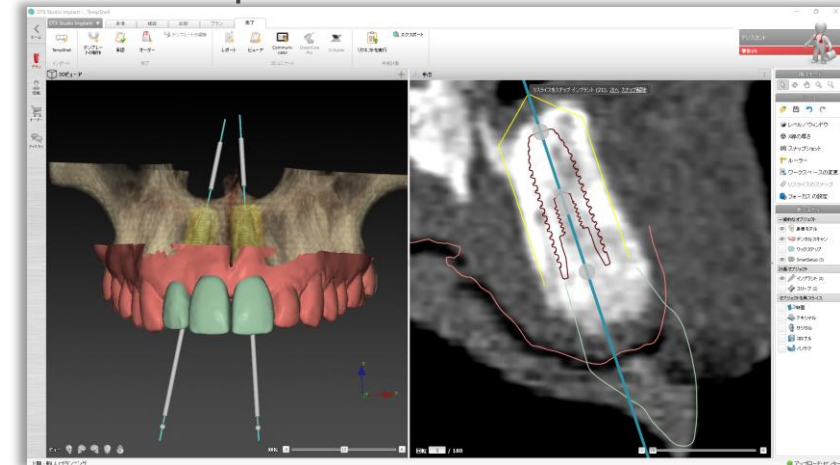
A TempShell was designed by your dental lab. Open the DTX Studio software to retrieve your design.

Note: the data will stay available on our servers for 90 days.

Request ID: R13-118-504
Patient name: TempShell
Requested service: Produce a tempshell

Best regards,
DTX Studio team

DTX Studio Implant ソフトウェア



16

DTX Studio™ LabからTempShellデータ受け取り案内をメールで受信します。
DTX Studio™ Implant を起動し、対象の患者データを開きます。

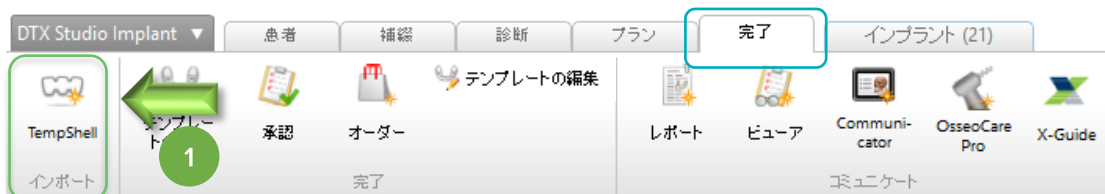


DTX Studio™ Implant

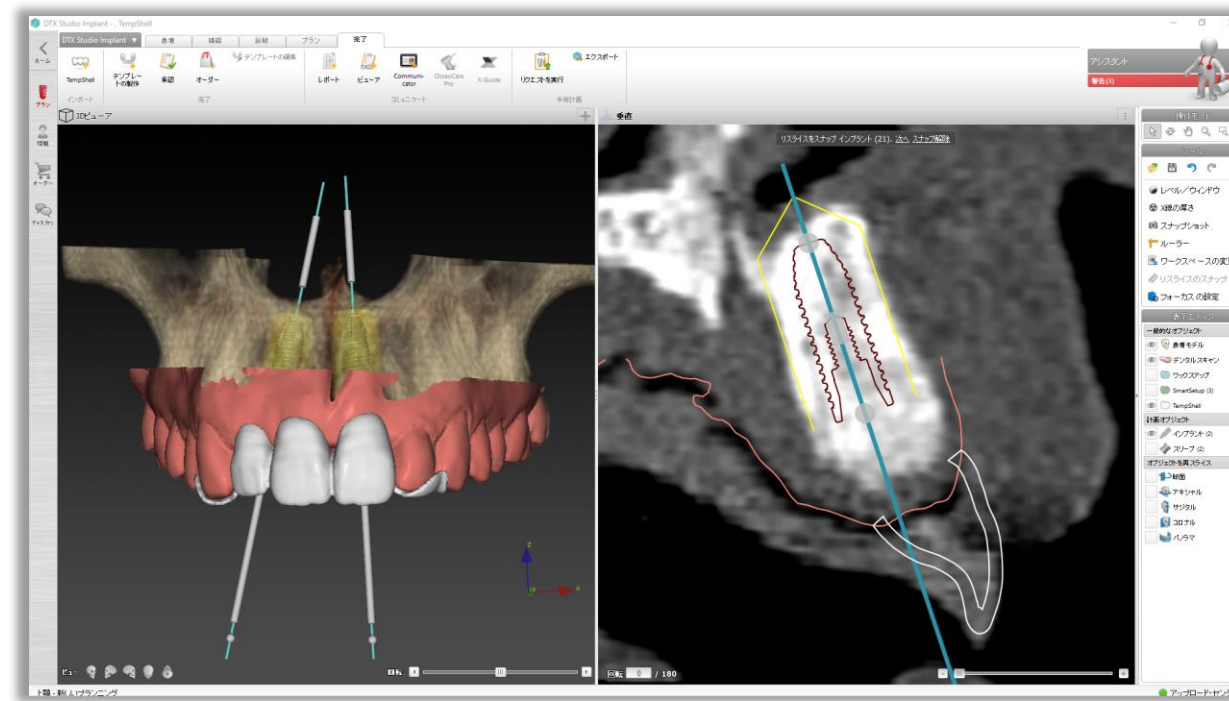
Workflow - TempShell order

テンプレルのデザインおよび製造オーダー(to DTX Studio Lab)

17 【完了】タブの【TempShellの追加】をクリックします。
対象のデータを選択し、【TempShellの追加】ボタンをクリックします。



18 TempShellデータが取り込まれます。





DTX Studio™ Implant

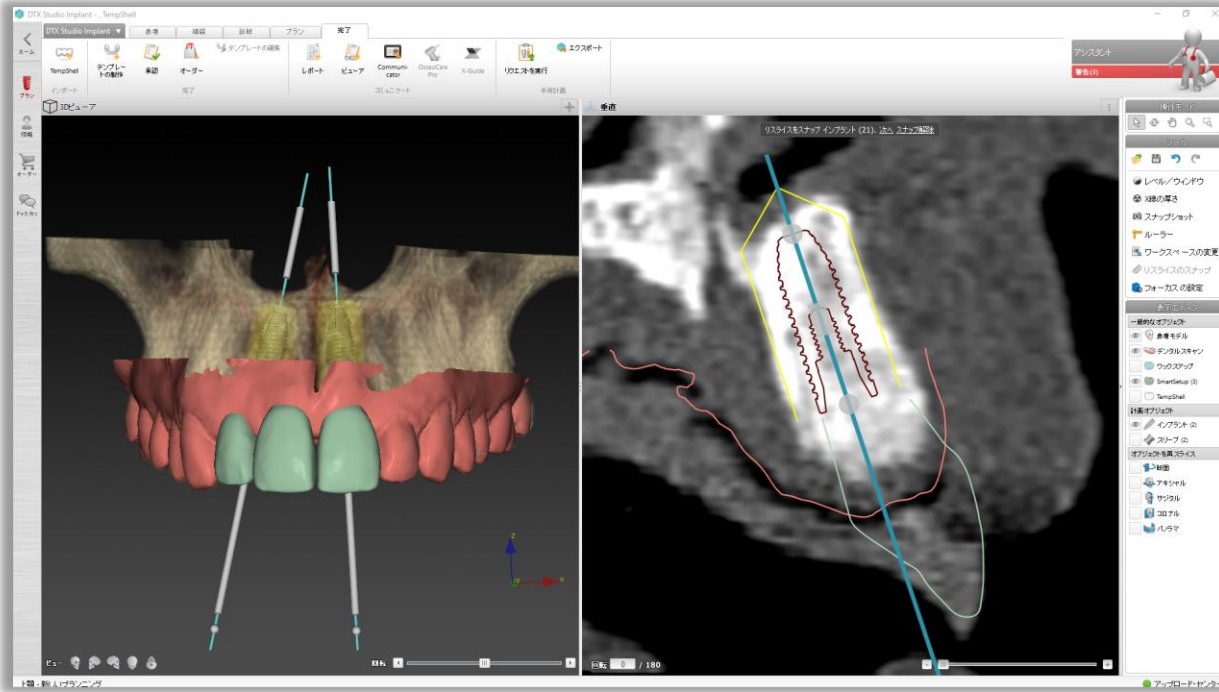
Workflow - TempShell order

テンプレートのデザインおよび製造オーダー(to DTX Studio Lab)

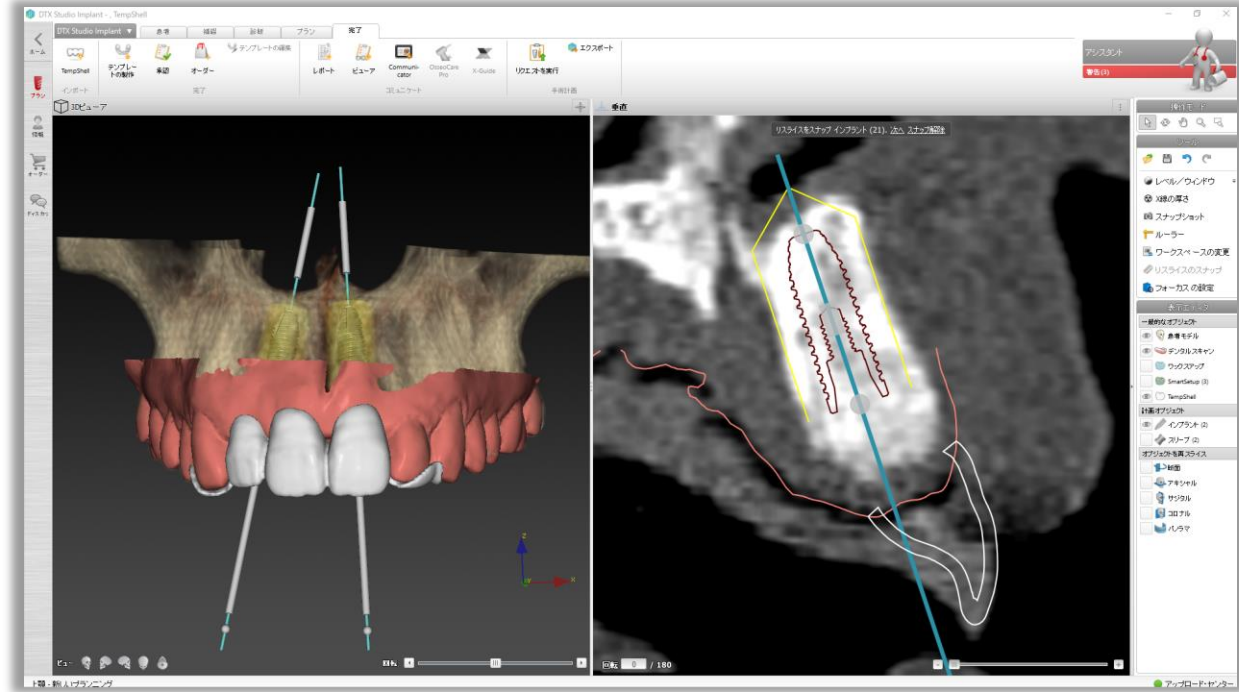


NOTE TempShellデータの取り込み例

Smartsetup



テンプレートのデータ取り込み





DTX Studio™ Implant

Surgical Template Local production order



DTX Studio™ Implant



DTX Studio™ Go



DTX Studio™ Lab





DTX Studio™ Implant

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートのオーダー (to DTX Studio Lab & Go)

事前に以下の手順が必要となります
* Labへデータ送信する場合は、Labとのコネクトが必要です

Chair side

サージカルテンプレートのオーダー (オーダー側)

DTX Studio™ Implantでは、サージカルテンプレートの製造先をインハウス・プロダクションにオーダーが可能です

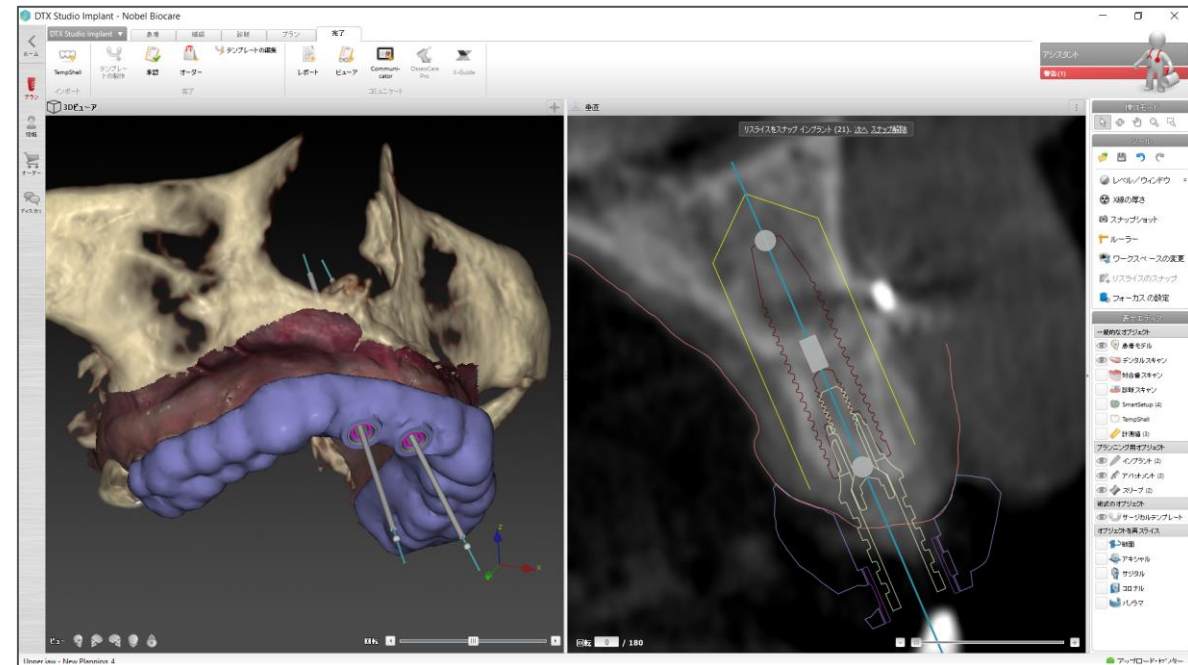
- DTX Studio Implantからリクエストされたサージカルテンプレートのオーダーは、DTX Studio™ Goから、STLデータファイルのエクスポートが可能です。
- DTX Studio Implantからリクエストされたサージカルテンプレートのオーダーを、DTX Studio™ Labへ送信し、サージカルテンプレートのデータを修正後、STLデータファイルのエクスポートが可能です。



Surgical Template's file Export

サージカルテンプレートのSTLファイルを出力します
出力したSTLファイルから、3Dプリンティング製作が可能です

* ローカル・プロダクション製作を選択した場合は、Surgical Templateが青くなります



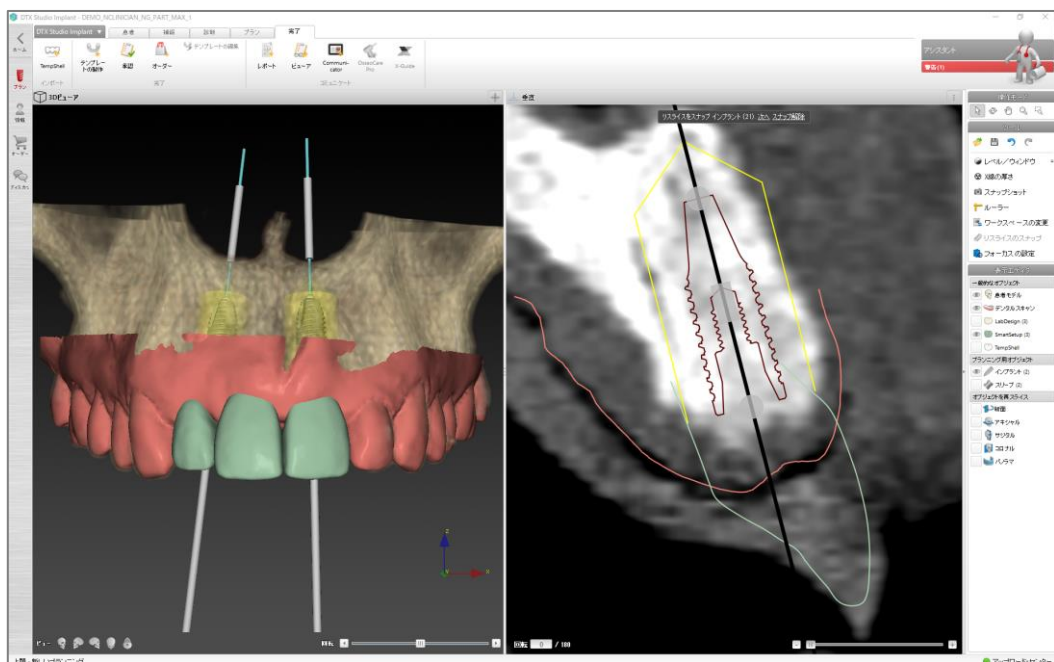


DTX Studio™ Implant

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートのオーダー (to DTX Studio Lab & Go)

1 検査診断とプランニングを完成させ、【完了】タブを表示します。

2 【完了タブ】から【テンプレートの製作】を左クリックします。

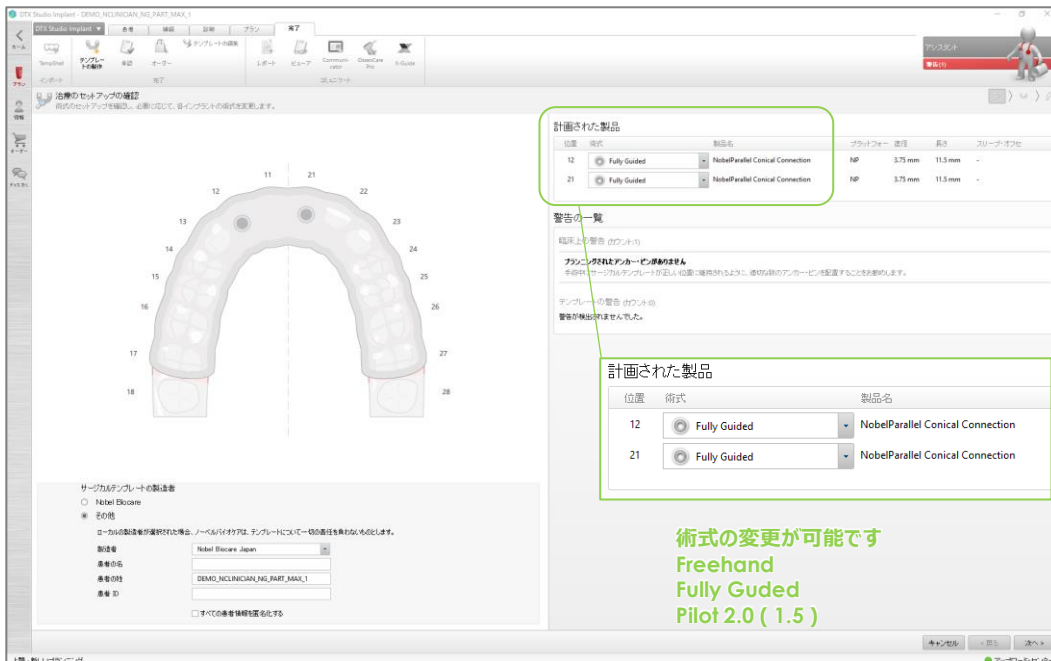




DTX Studio™ Implant

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートのオーダー (to DTX Studio Lab & Go)

3 製造に関する設定を行います。
サージカルテンプレートの製作範囲、術式タイプの変更が可能です。



4 サージカルテンプレートの製作範囲を設定します。



不要または、必要な部位をクリックしてテンプレートの形態を編集します

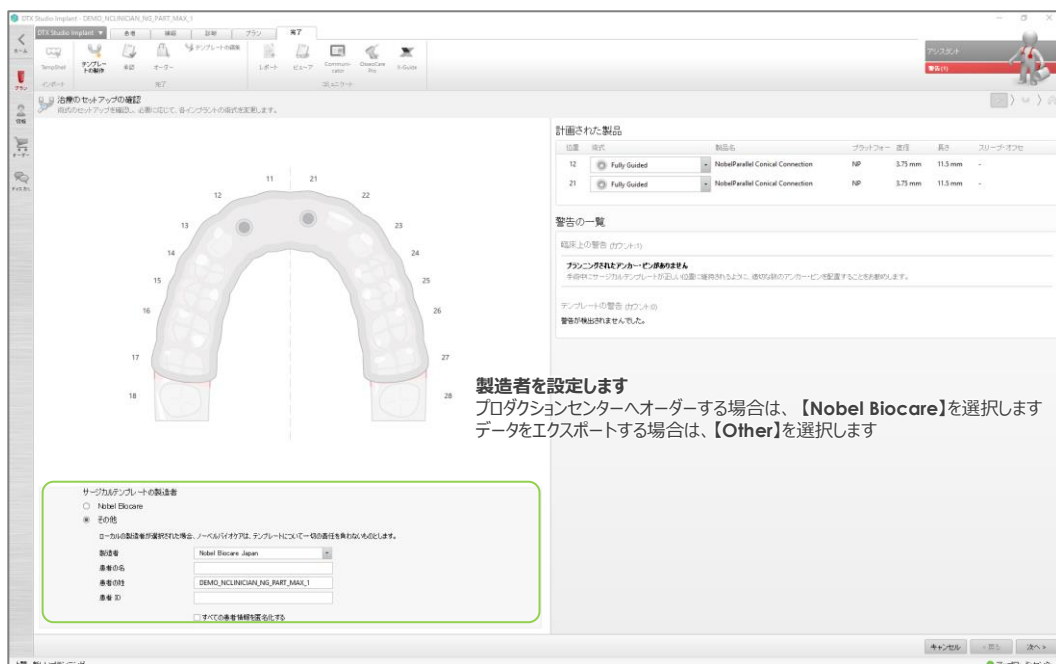


DTX Studio™ Implant

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートのオーダー (to DTX Studio Lab & Go)

5

製造に関する設定を行います。
製造方法と製造先を選択します。



製造者を設定します
プロダクションセンターへオーダーする場合は、【Nobel Biocare】を選択します
データをエクスポートする場合は、【Other】を選択します

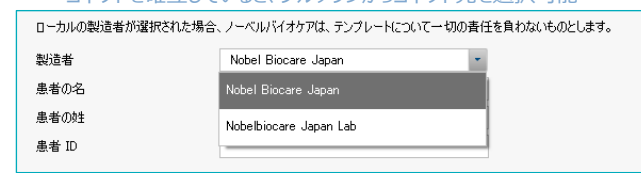
- ① サージカルテンプレートの製造方法を選択します
プロダクションセンターへオーダーする場合は、【Nobel Biocare】を選択します
データをエクスポートする場合は、【Other】を選択します
- ② サージカルテンプレートの製造先を選択します
コネク特している場合は、プルダウンメニューより選択します
ラボにデータを送りたい場合は、コネク特先のラボを選択します
- ③ 患者名を確認します(必要に応じて変更できます)
- ④ 患者ID・患者情報通知を確認します
- ⑤ ソフトウェア画面右下の【次へ】を左クリックします



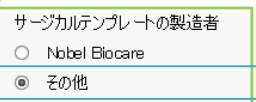
① 製造方法の選択

- Nobel Biocare : 幕張プラント製造
- Other : In-house Production

コネク特を確立していると、プルダウンからコネク特先を選択可能



ローカルの製造者が選択された場合、ノーベルバイオケアは、テンプレートについて一切の責任を負わないものとします。



ローカルの製造者が選択された場合、ノーベルバイオケアは、テンプレートについて一切の責任を負わないものとします。

② 製造先の選択 (自施設・コネク特先) 製造者

③ 患者名の変更 (First name) 患者の名

③ 患者名の変更 (Last name) 患者の姓

患者ID 患者 ID

④ 患者情報通知の可否 すべての患者情報を匿名化する

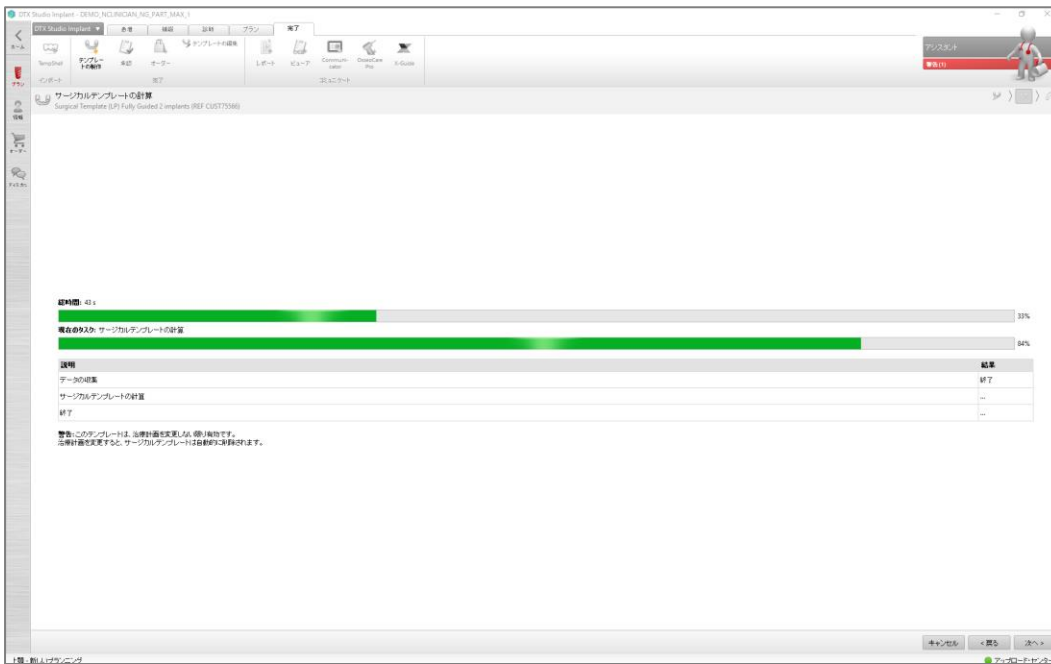
チェックを入れると患者情報【匿名】にしてデータを作成できます



DTX Studio™ Implant

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートのオーダー (to DTX Studio Lab & Go)

6 サージカルテンプレートの3Dデータを作成します。

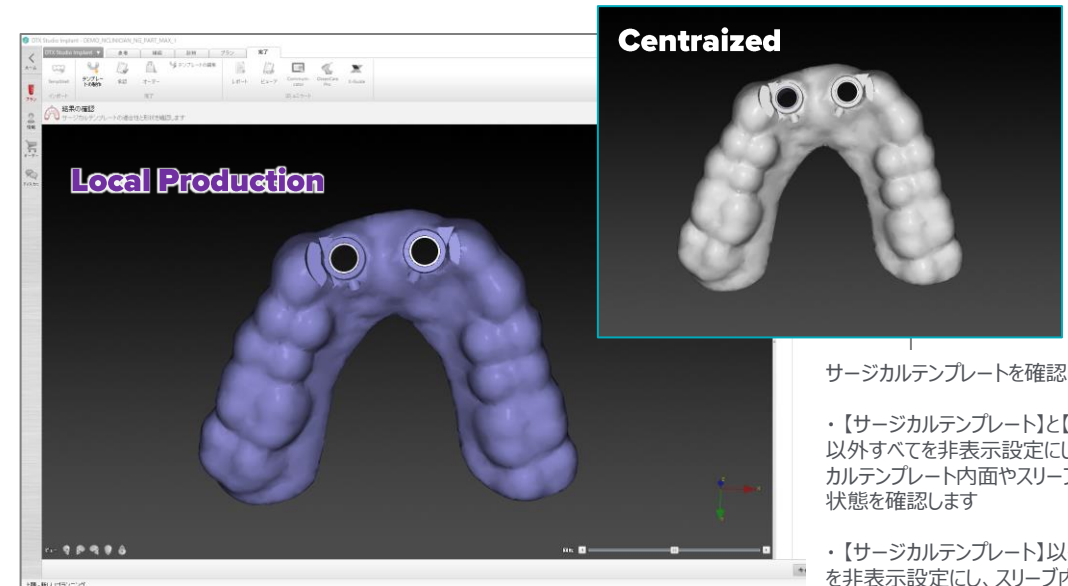


7 サージカルテンプレートの確認をします。

【Other】を選択した場合は、テンプレートが青く表示されます
【Nobel Biocare】を選択した場合は、従来通り白く表示されます

データに問題がなければ、【完了】を左クリックします

完了

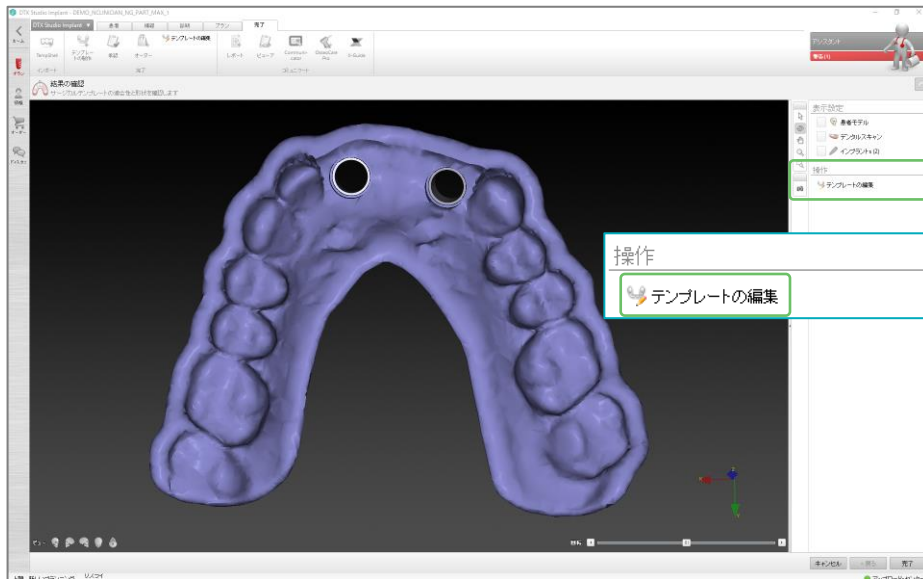




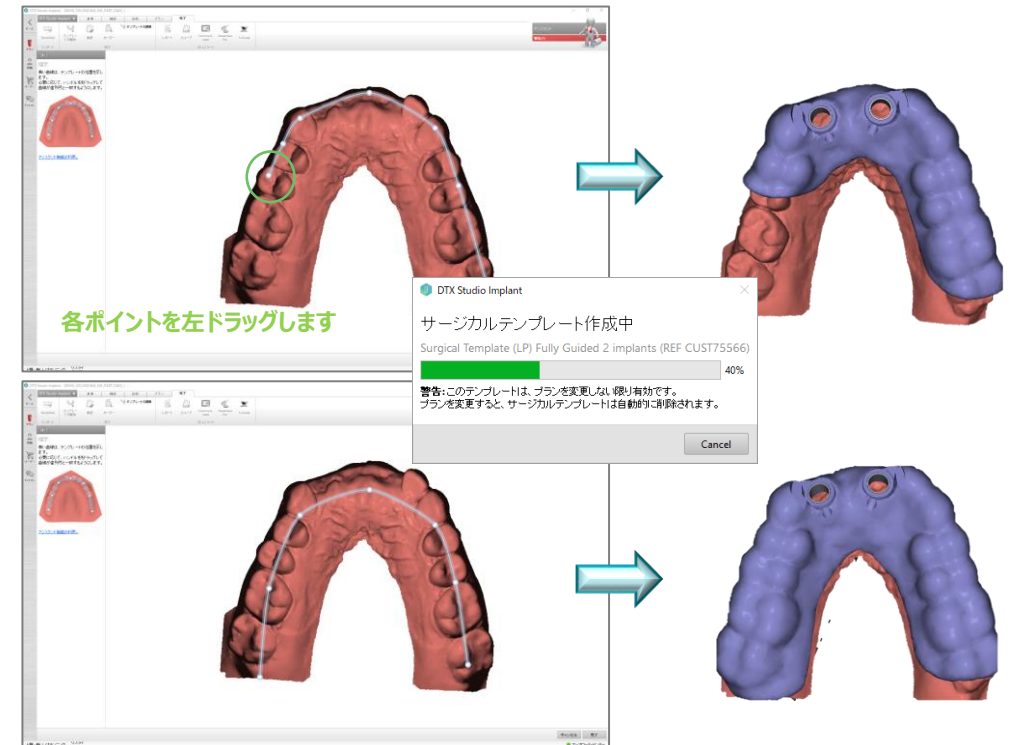
DTX Studio™ Implant

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートのオーダー (to DTX Studio Lab & Go)

8 サージカルテンプレートの確認をします。
テンプレートを編集したい場合は、【テンプレートの編集】をクリックします。



9 サージカルテンプレートの範囲設定を行ないます。
各ポイントをドラッグし、テンプレートの範囲設定を行ない【完了】をクリックします。





DTX Studio™ Implant

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートのオーダー (to DTX Studio Lab & Go)

10 計画の同意を行います。
チェックボックスにチェックします。

* 全ての計画(データ、データマッチング、プランニング)の承認は歯科医師のみが行います



【後で承認】：計画の同意を後で行います

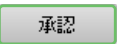
後に承認を行う場合は、【後で承認】を選択し、【完了タブ】内の【承認】を左クリックし、【オーダー】を行います

【オーダーの作成】：続けてオーダーを行います

* 後にオーダーを行う場合は、【完了タブ】内の【オーダー】を左クリックします

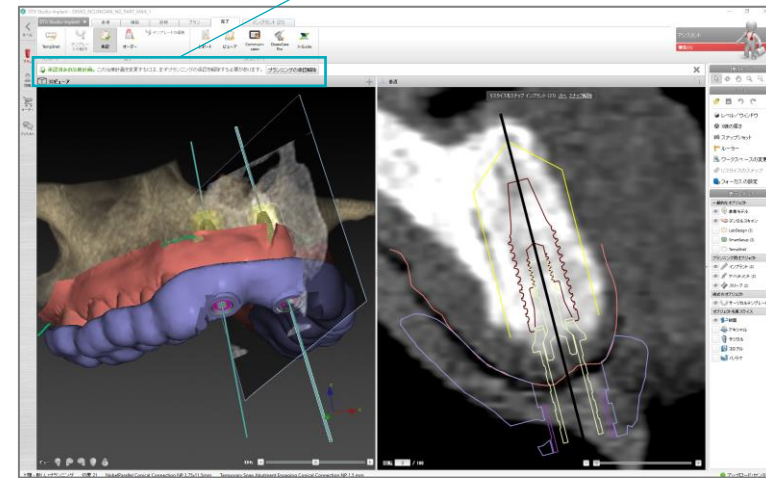
* 本マニュアルでは【後で承認】を選択して解説しています

計画した症例の承認を行います
画面に記載されている内容を確認し、
同意を行います



11 承認済みの治療計画はプランの変更ができなくなります。
問題がない場合は、オーダーの準備に入ります。

承認済みの治療計画。この治療計画を変更するには、まずプランニングの承認を解除する必要があります。 **プランニングの承認解除**



プランの変更を行う場合は、
【プランニングの承認解除】
を左クリックします

* インプラントやアンカー・ピン
の設計を変更した場合は、サージカル
テンプレートが消去されます

プランの承認を行うと、【OsseoCare Pro】および【X-Guide】のコミュニケートが有効化されます。

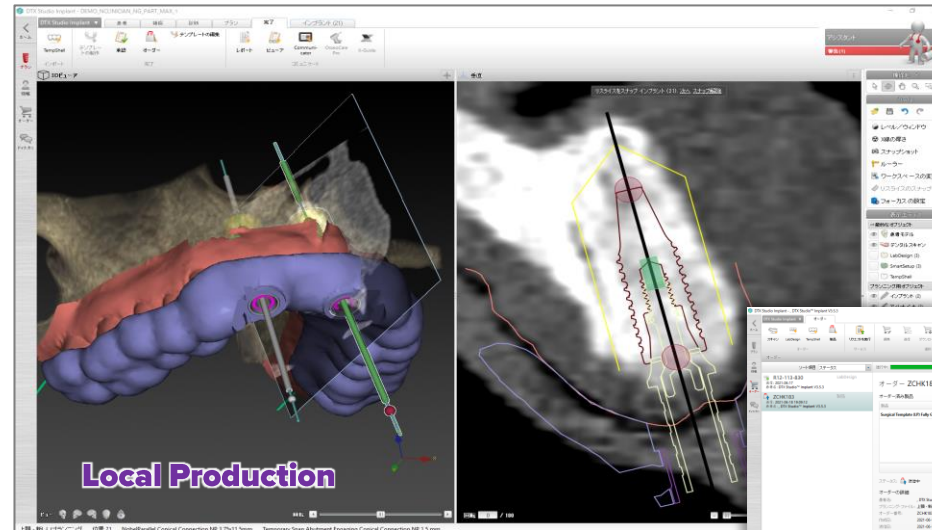
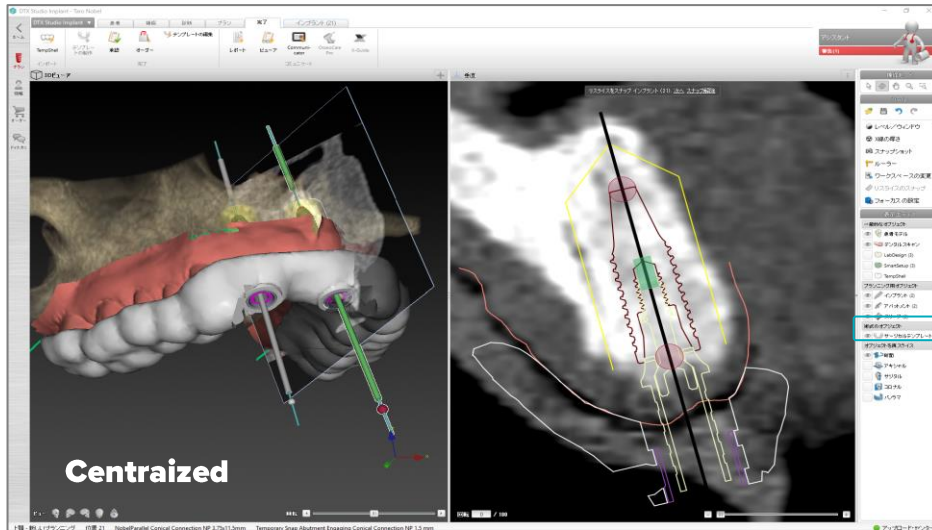




DTX Studio™ Implant

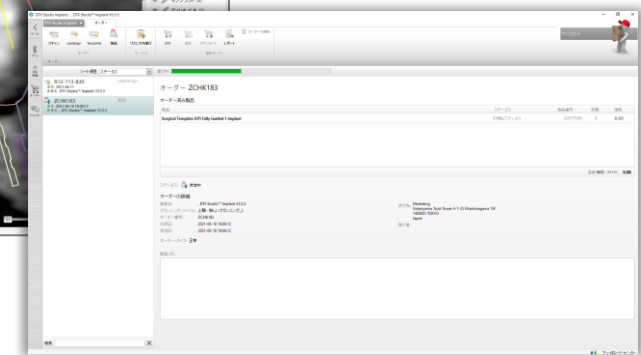
Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートのオーダー (to DTX Studio Lab & Go)

12 通法に従いオーダーを行います。



- プランニング用オブジェクト
- インプラント (2)
 - アパオメント (2)
 - スリーブ (2)
- 術式のオブジェクト
- サージカルテンプレート

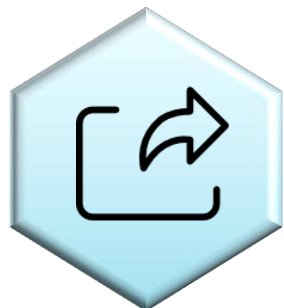
術式オブジェクト内に【サージカルテンプレート】が表示され、表示/非表示の操作が行えます





DTX Studio™ Go

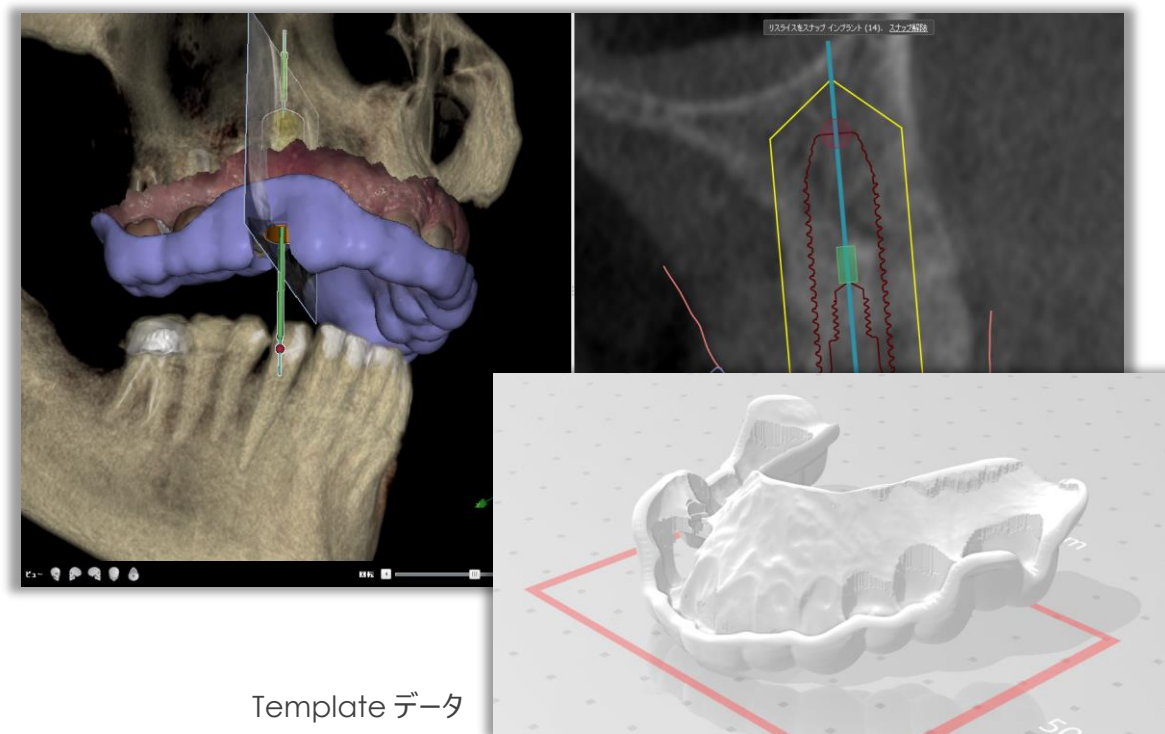
Workflow - Surgical Template local production order
サージカルテンプレートのエクスポート (to DTX Studio Go)



サージカルテンプレートのエクスポート (to DTX Studio Go)

- DTX Studio Implantからリクエストされたサージカルテンプレートのオーダーは、DTX Studio™ Goから、STLデータファイルのエクスポートが可能です。

サージカルテンプレートのエクスポート
(to DTX Studio Go)



Template データ



DTX Studio™ Go Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートのエクスポート (to DTX Studio Go)

13 DTX Studio™ ImplantからTemplateデータ受け取り案内をメールで受信します。DTX Studio™ Go を起動し、【受信リクエスト】を開きます。

送信者: no-reply@dtxstudio.com

件名: Nobel Biocare Japan has sent a new service request

本文: **New service request available**

A new service request was sent out for you to be processed. Open your DTX Studio Lab to fulfill this request.
 Note: the data will stay available on our servers for the upcoming 90 days. More information about the service request can be found [here](#).

Requested by: Nobel Biocare Japan
 Request ID: R14-148-342
 Patient name: DTX Studio™ Implant V3.5.3
 Requested service: Produce a template

Best regards,
 DTX Studio team

14 リクエスト・リストから対象のサージカルテンプレートリクエスト選択し、【ダウンロードして承認】をクリックします。

受信リクエスト

リクエストの検索

リクエスト (11 of 11)

リクエスト	作成日時	ステータス
DTX Studio™ Implant ...	6月 18, 2021	制作済み
R14-148-342	R14-148-342	

テンプレート・リクエスト (R14-148-342)

ダウンロードして承認

サービスID: R14-148-342
 依頼日: 6月 18, 2021
 オーダー元: Nobel Biocare Japan

ステータス: 制作済み
 曜日: 6月 19, 2021
 オーダー申請者: Nobel Biocare

ダウンロードして承認

DTX Studio Go



DTX Studio™ Go

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートのエクスポート (to DTX Studio Go)

15 ファイルダウンロードについて確認し、【承諾】をクリックします。
Zipフォルダがダウンロードされます。

ファイルのダウンロードについて

ダウンロードする前にファイルをロック解除する必要があります。毎月、ロック解除されたファイルごとに請求書をお送りします。ファイルは90日間有効です。

キャンセル **承諾**

1

SurgicalTemplate Export fee
7,500JPY

2

サービスID	作成日	オーダー元
R14-148-342	6月 15, 2021	Nobel Biocare Japan
ステータス	期日	オーダー申請者
進行中	6月 19, 2021	NobelBiocare Mineo

すぐにダウンロードが自動的に開始されます

16 ダウンロードした【レポートファイル】と【STL】ファイルを保存します。

template_ZCHK183.zip

assembly_instructions_ZCHK183.pdf
Adobe Acrobat Document

template_ZCHK183.stl
3D Object
31.2 MB

レポートファイル

STLファイル

Assembly Instructions
Order ID: ZCHK183

ID	Stem name	Volume #
1	Nobel Biocare® Guided Sleeve RP	1276



DTX Studio™ Lab

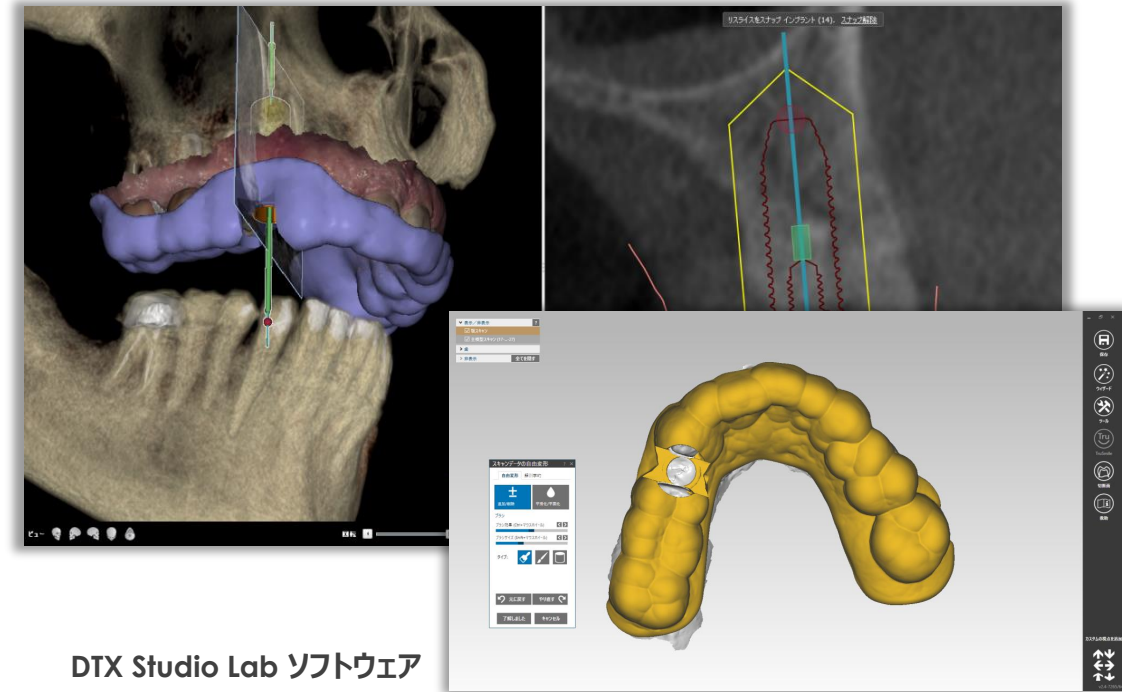
Workflow - Surgical Template local production order
サージカルテンプレートの編集とエクスポート (to DTX Studio Lab)



サージカルテンプレートの受信
(to DTX Studio Lab)

Templateデザインの編集とエクスポート (to DTX Studio Lab)

DTX Studio Implantからリクエストされたサージカルテンプレートのオーダーを、DTX Studio™ Labへ送信し、サージカルテンプレートのデータを修正後、STLデータファイルのエクスポートが可能です。



DTX Studio Lab ソフトウェア



DTX Studio™ Lab

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートのエクスポート (to DTX Studio Go)

17 DTX Studio™ ImplantからTemplateデータ受け取り案内をメールで受信します。
DTX Studio™ Lab を起動し、【受信リクエスト】を開きます。

送信者: no-reply@dtxstudio.com

件名: Nobel Biocare Japan has sent a new service request

本文: **New service request available**

A new service request was sent out for you to be processed. Open your DTX Studio Lab to fulfill this request.
Note: the data will stay available on our servers for the upcoming 90 days. More information about the service request can be found [here](#).

Requested by: Nobel Biocare Japan
Request ID: R14-148-342
Patient name: DTX Studio™ Implant V3.5.3
Requested service: Produce a template

Best regards,
DTX Studio team

18 リクエスト・リストから対象のサージカルテンプレートリクエスト選択し、【リクエストの開始】をクリックします。
リクエストデータのダウンロードが開始されます。

The screenshot shows the DTX Studio Lab interface. On the left, a sidebar contains navigation icons for '+', 'リクエスト', '症例', 'オーダー', and '患者'. The main area displays a list of requests with a search bar and a refresh button. A green arrow labeled '1' points to the first request: 'DTX Studio™ Implant V3.5.3 Nobel Biocare'. To the right, a detailed view of this request is shown, including a 'テンプレート・オーダー-ZCHK184' header, a 'リクエストの詳細' section, and an 'アイテム' list. A green circle labeled '2' points to the 'リクエストの開始' button. Below this, a modal window shows a progress indicator and the text 'リクエストデータをダウンロードしています...'.



DTX Studio™ Lab Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートの編集とエクスポート (to DTX Studio Lab)

19 【症例を追加】から症例情報を確認し、【終了】をクリックします。

症例を追加 ×キャンセル

症例情報

患者
DTX Studio™ Implant V3.5.3

症例ID
[Empty field]

期日
19 6月 2021

歯科医の情報

歯科医名 ● 郵便番号
NobelBiocare Mineo 1400001

歯科技工所または歯科医院
Nobel Biocare Japan

1 → **終了** >

20 【デザイン】項目から、【編集】をクリックします。

DTX Studio™ Impl... - NobelBiocare

1件のリクエストが見つかりました。 ソート項目 期日 ↓

DTX Studio™ Implant V3.5.3 承認済み 残り 1日
NobelBiocare

2 → **デザイン**

デザイン

製作 **編集**

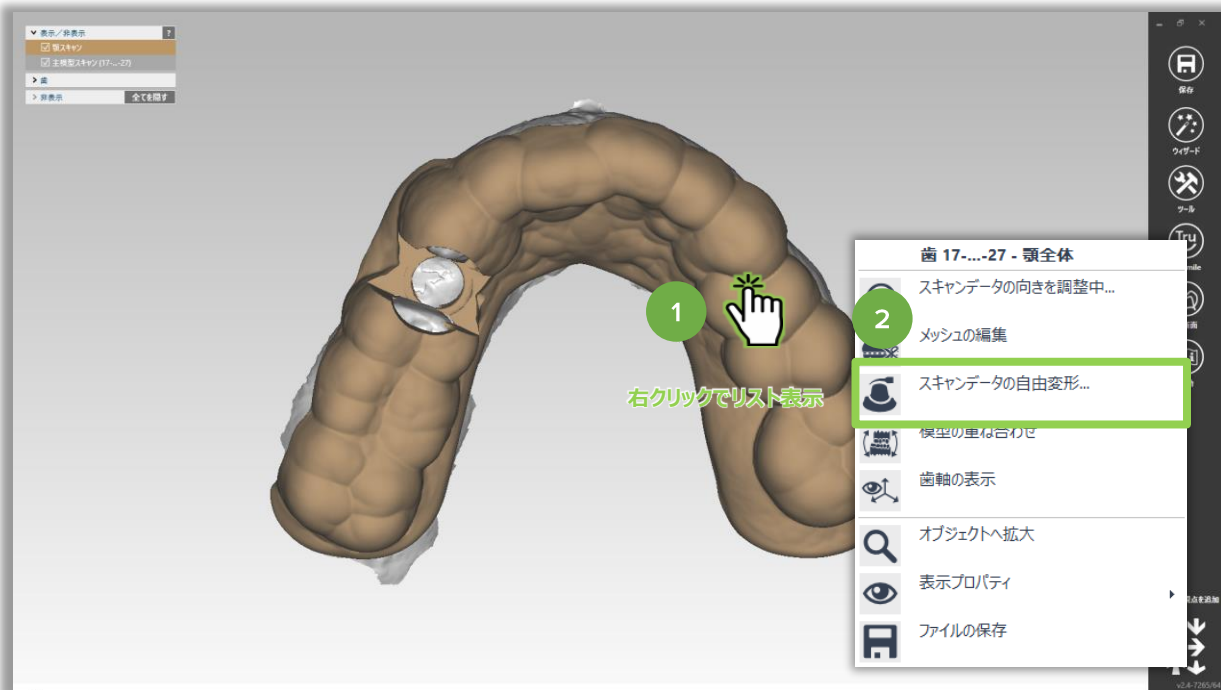
米国とその他の国々では、歯科用骨内インプラント埋入のサージカルテンプレートは医療機器として扱われます。これらのサージカルテンプレートの製造に関する規制状況および要件の詳細については、該当地域の規制機関にお問い合わせください。



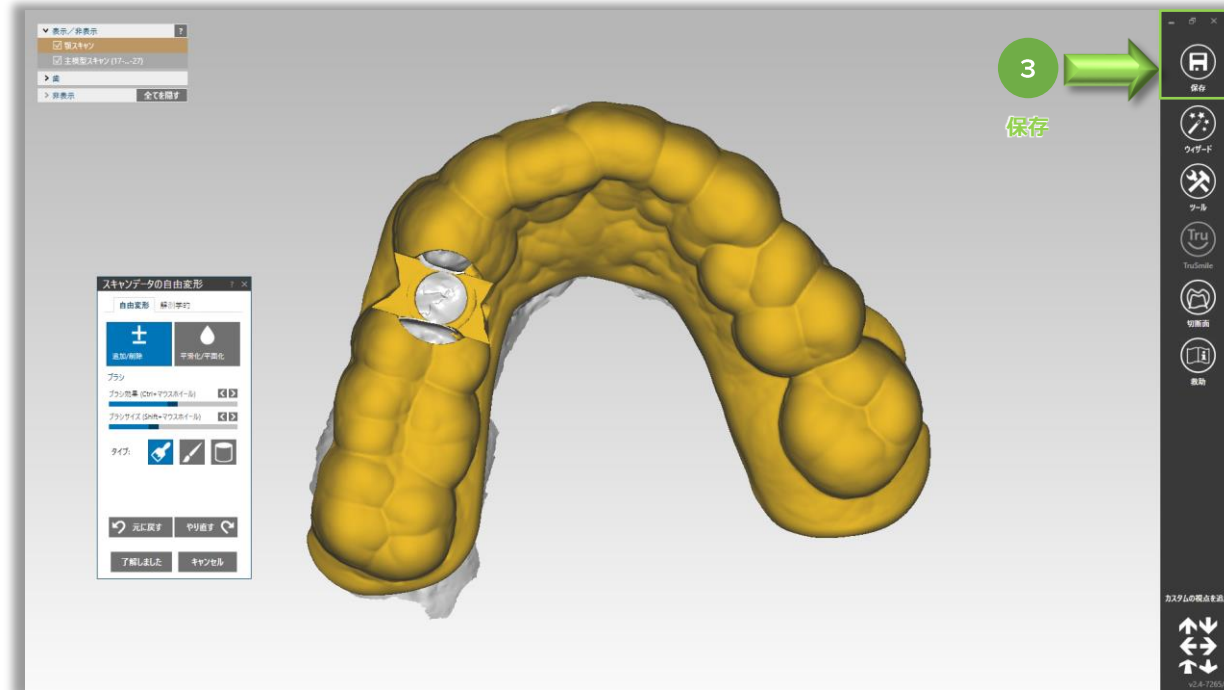
DTX Studio™ Lab

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートの編集とエクスポート (to DTX Studio Lab)

21 テンプレートのデータ上で右クリックし、リストから【スキャンデータの自由変形...】を選択します。



22 自由変形ウィザードを使用して、テンプレートデザインを修正します。
*金属スリーブ付近は編集しないでください。
終了後、【保存】をクリックし、デザイン画面を右上【×】で終了します。



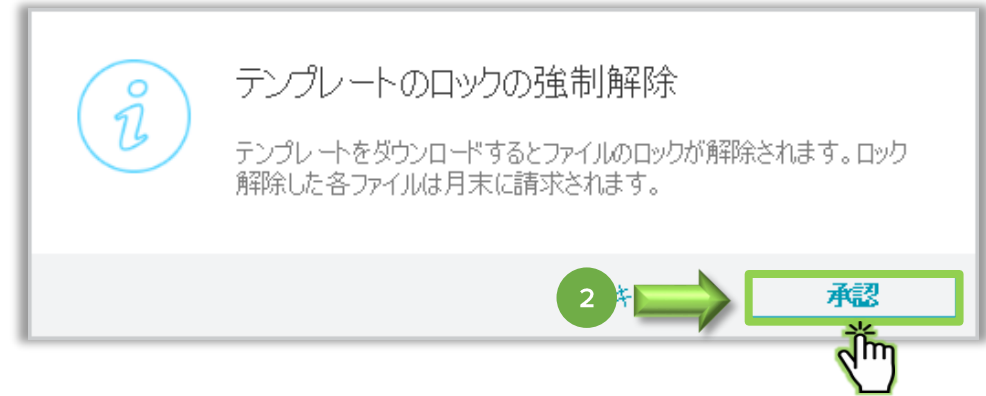
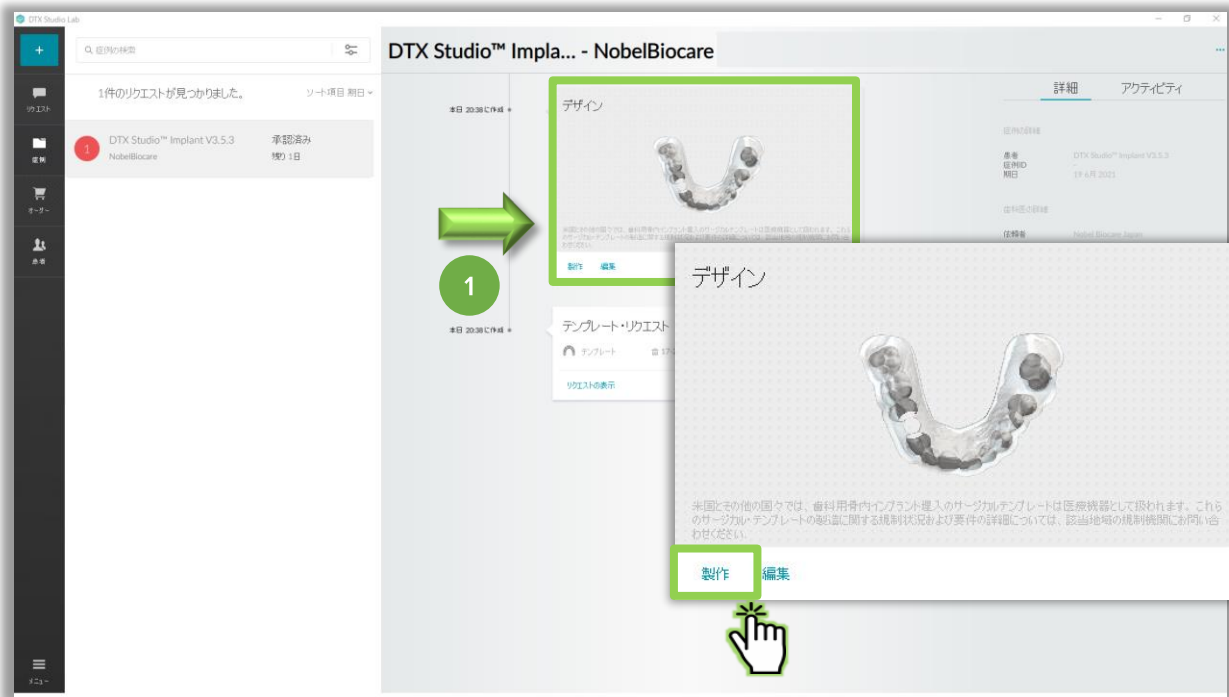


DTX Studio™ Lab

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートの編集とエクスポート (to DTX Studio Lab)

23 【デザイン】項目から、【製作】をクリックします。

24 【テンプレートのロックの強制解除】ウィンドウで【承認】をクリックします。



**SurgicalTemplate Export fee
7,500JPY**



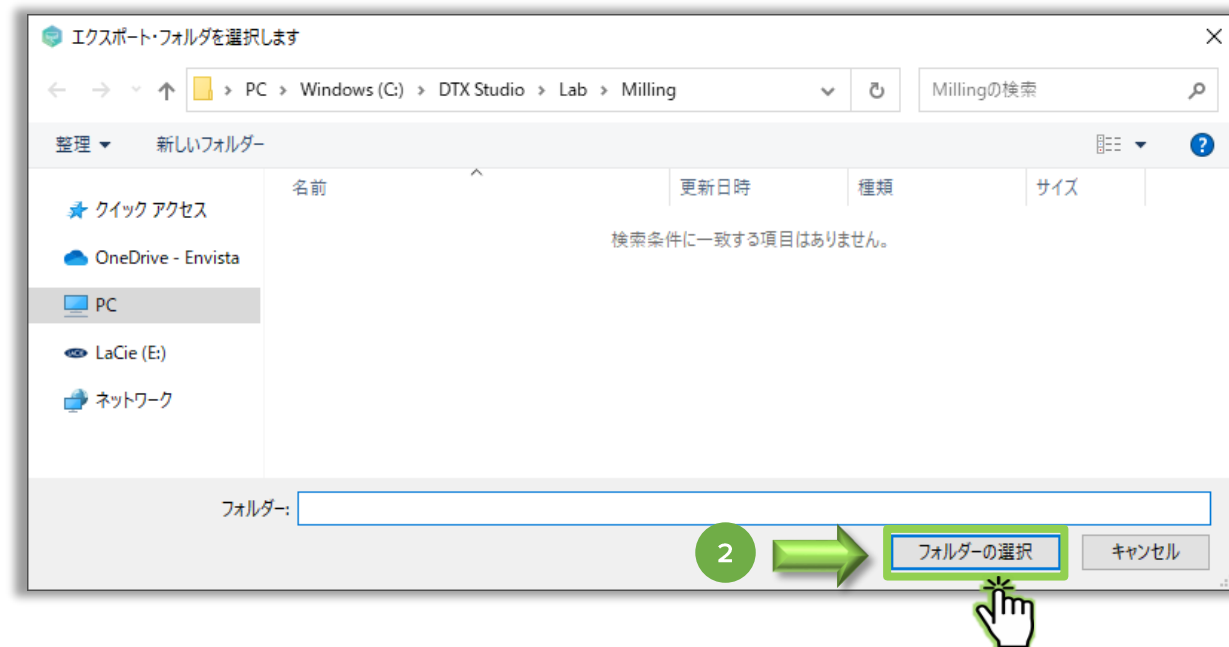
DTX Studio™ Lab

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートの編集とエクスポート (to DTX Studio Lab)

- 25** 製作ユニットを選択します。
*あらかじめDTX Studio Goで機器登録が必要です。



- 26** データを保存するフォルダを選択します。

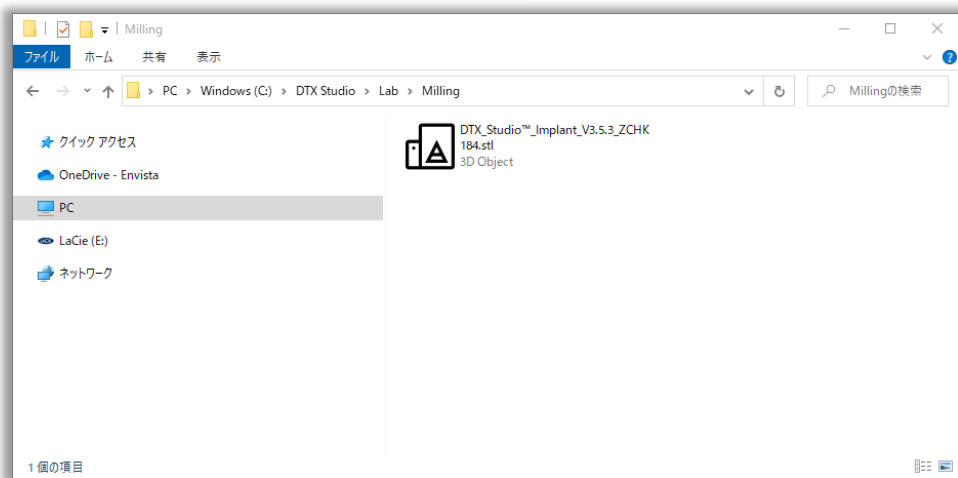
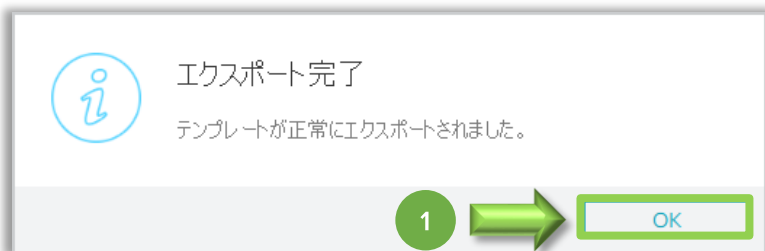




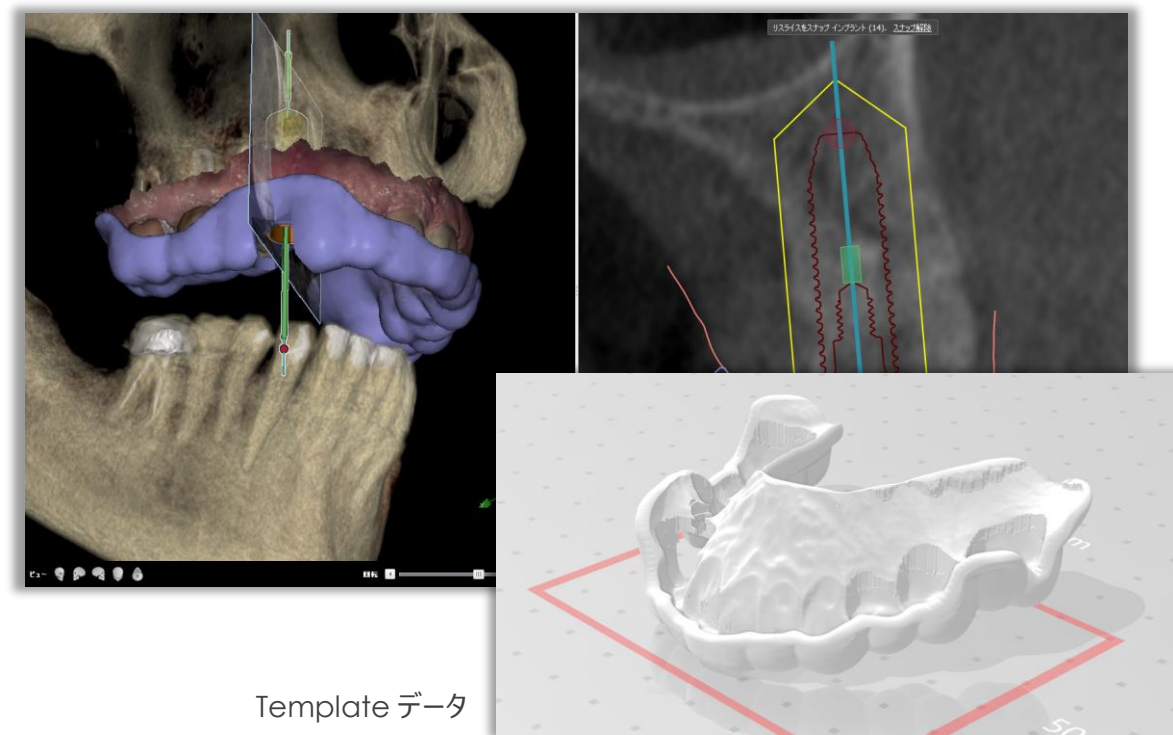
DTX Studio™ Lab

Workflow - Surgical Template local production order サージカルテンプレートの編集とエクスポート (to DTX Studio Lab)

27 【エクスポート完了】ウィンドウで【OK】をクリックし、データを保存します。



28 データ製作完了。



Template データ

その他のWorkflow



DTX Studio™ Go

DTX Studio™ Goでシェアできる事

License & order management

ライセンスとオーダーの管理

DTX Studio™ Goユーザーマニュアルを参照してください

DTX Studio™ Implantでシェアできる事

Share (Communicate)

- Viewer
- iPad Communicator
- Osseo Care Pro
- X-Guide

ビューアファイル作成、シェア、エクスポート
コミュニケーションファイル作成、シェア
オッセオケアプロファイルのシェア
X-ガイドファイルのエクスポート

Nobel Connect

- Connection
- Online up lord
- Share

カスタマー間のコネクション
.ncleファイルのサーバーアップロード
.ncleファイルの共有



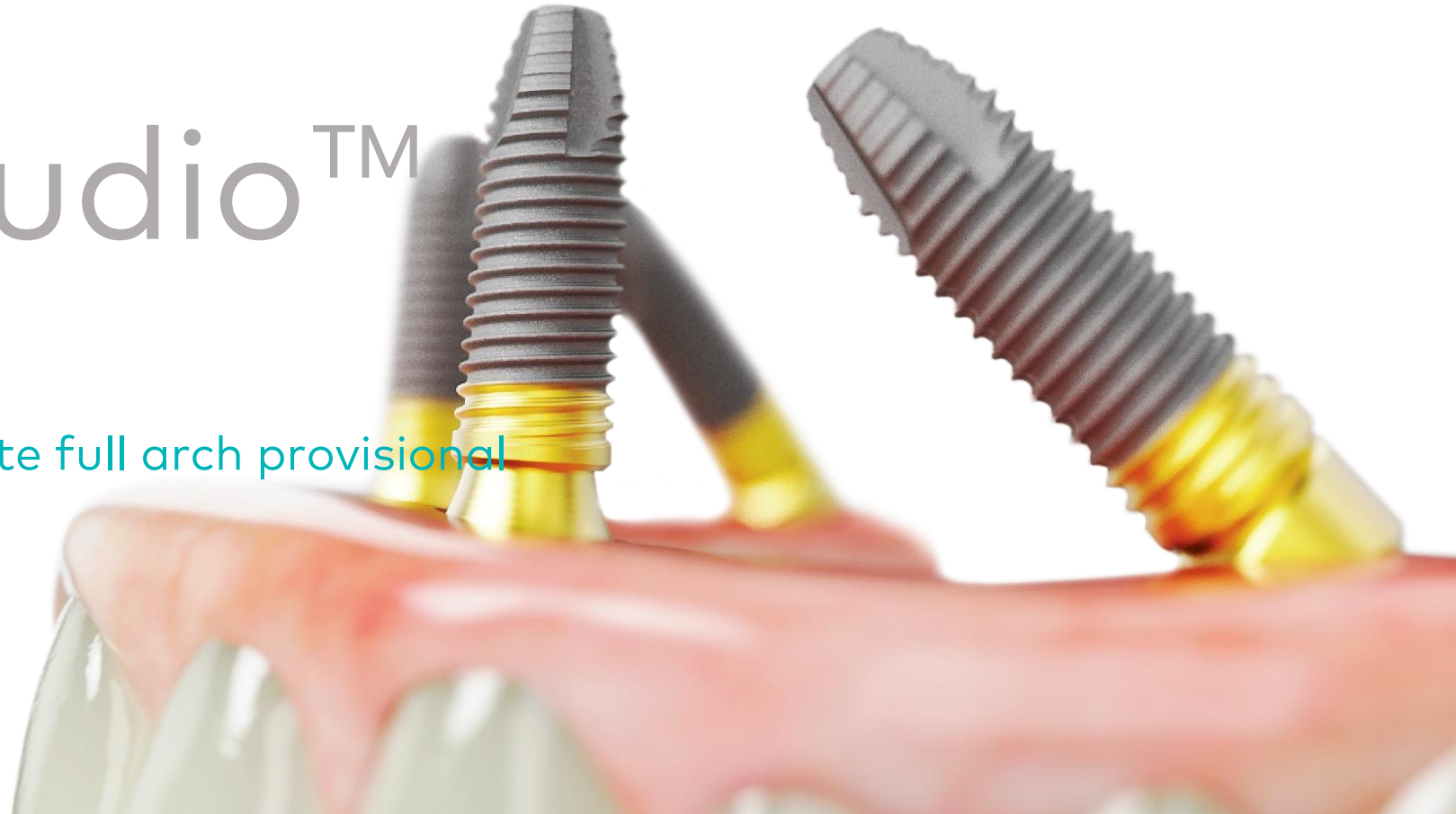
DTX Studio™ Implant

DTX Studio™ Implantユーザーマニュアルを参照してください

New function

DTX Studio™ Ecosystem

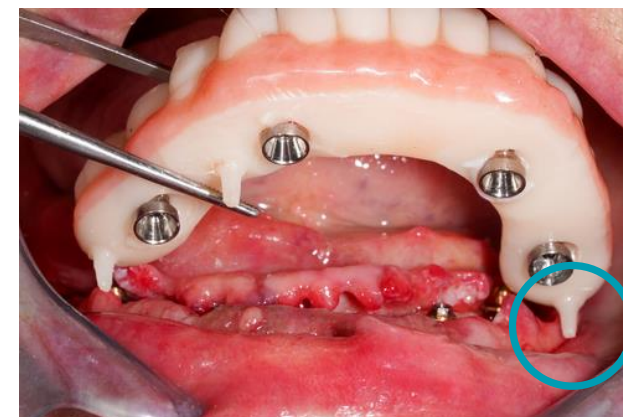
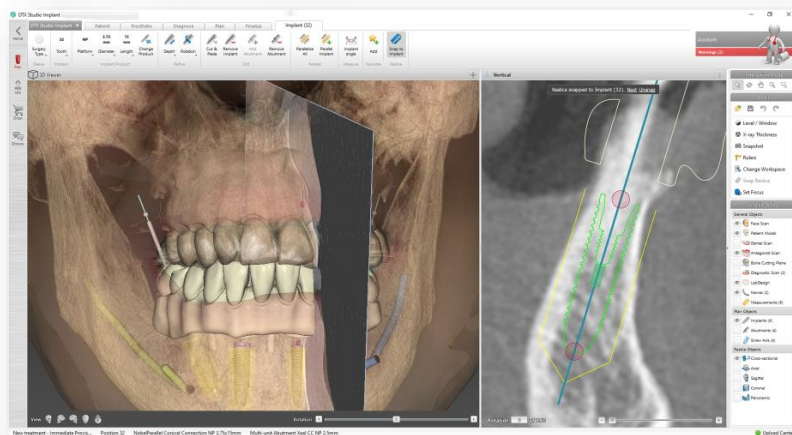
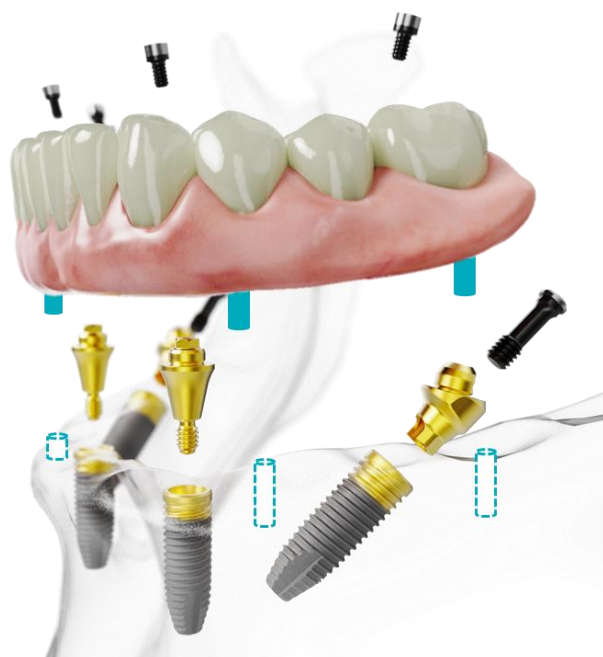
immediate full arch provisional





DTX Studio™ Implant Workflow - immediate full arch provisional (to DTX Studio Lab)

テンポラリーアバットメントの即時暫間フルブリッジのデジタルワークフロー



Stump

Stump (TempShellウイングのように機能) : 取り込まれたテンポラリー・アバットメントの硬化中に、ブリッジが口腔内の正しい咬合高径位置に配置されるために使用されます

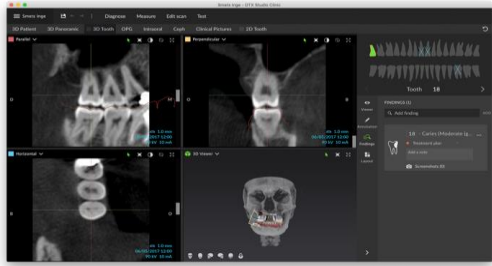
Stumpによって、ブリッジを垂直的な位置に保持されるように、3~4個のパilotホール形成(ドリリング)を行う必要があります。



1. Diagnose (using DTX Studio Clinic*)

Comprehensive clinical and digital examination incl. CBCT scan * 日本未発表

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



SmartFusion



SmartSet-up

OR

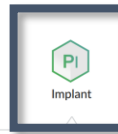
Diagnostic wax-up:
Use IOS /desktop scanner
and scan diagnostic wax-up

Full arch immediate provisional Demo

10/10/2010 • Female



Open patient



Implant



Capture



Order



Share



More

DTX Studio Implant

Open existing patient P

Export to new patient Shift+P

- キャプチャとレビュー：
笑顔の患者の口腔内X線、口腔内スキャン、臨床写真、CBCT

- サーフェスの位置合わせ (SmartFusion)
- SmartSetupを使用して、診断用セットアップを作成するか、IOS /デスクトップスキャナーから診断用ワックスアップのスキャンをインポートします

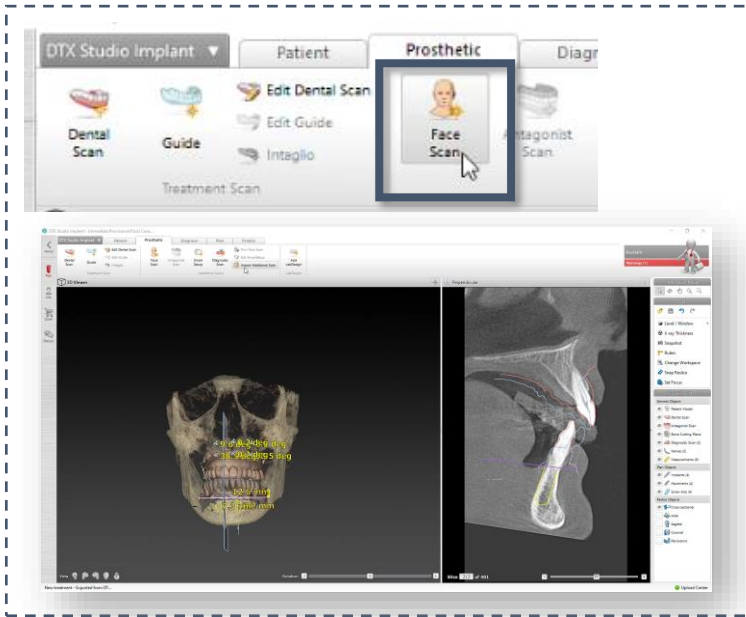
- ケースをDTXスタジオインプラントにエクスポート

*臨床医がまだDTXスタジオクリニックを持っていない場合は、ステップ2に進み、DTXスタジオインプラントでSmartFusionおよびSmartSetup /診断スキャンのインポートを実行します。

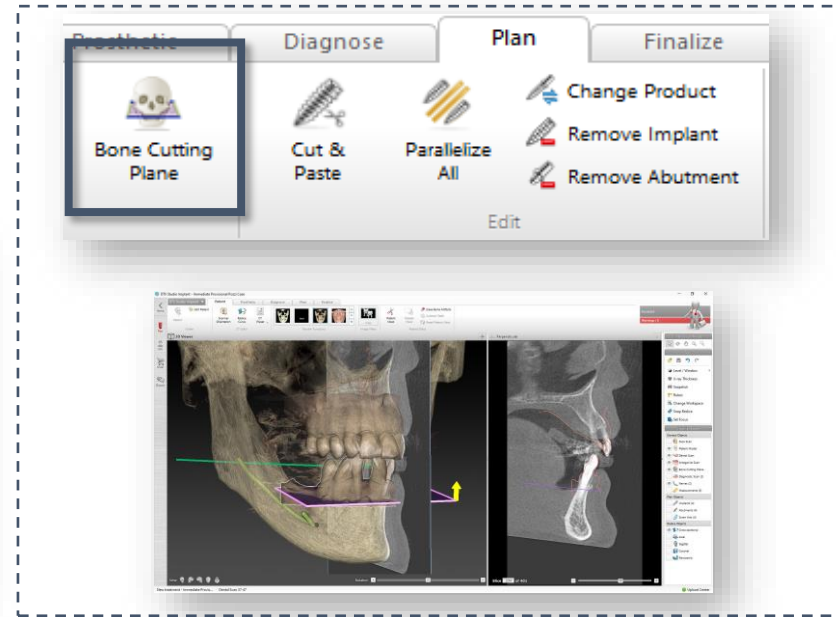


2. Treatment plan Prosthetically driven planning

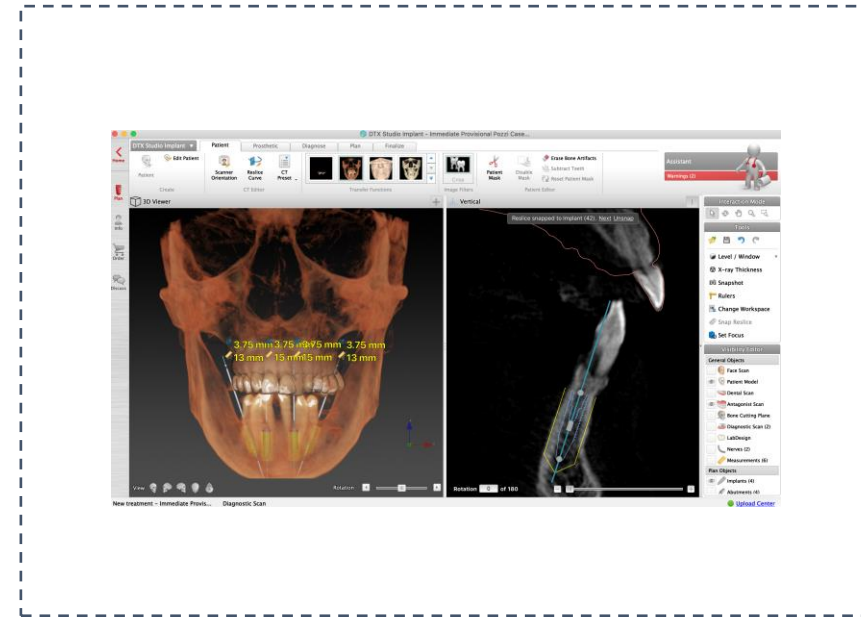
Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



- ケースを開き、DTX Studio ClinicからSmart Fusedサーフェスと診断歯のセットアップをロードします
- 3D顔スキャンをインポートして、インポートしたサーフェスに位置合わせすることができます



- 骨切断面を定義します

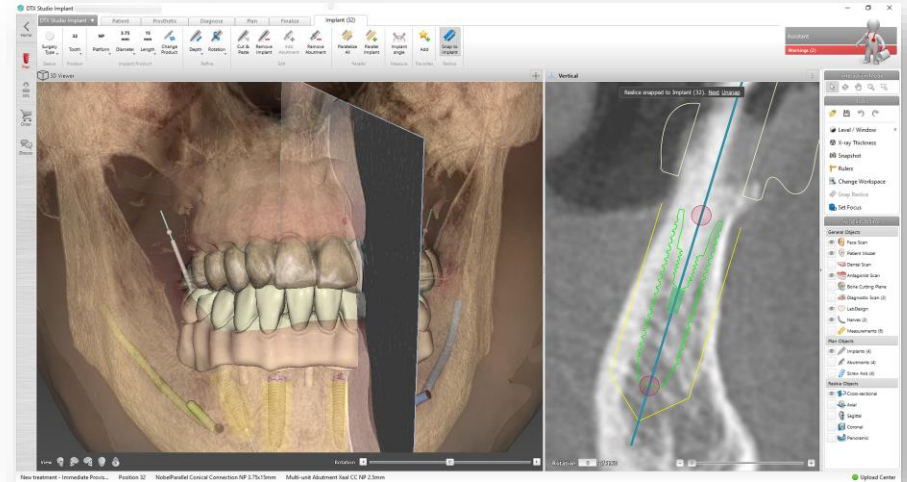
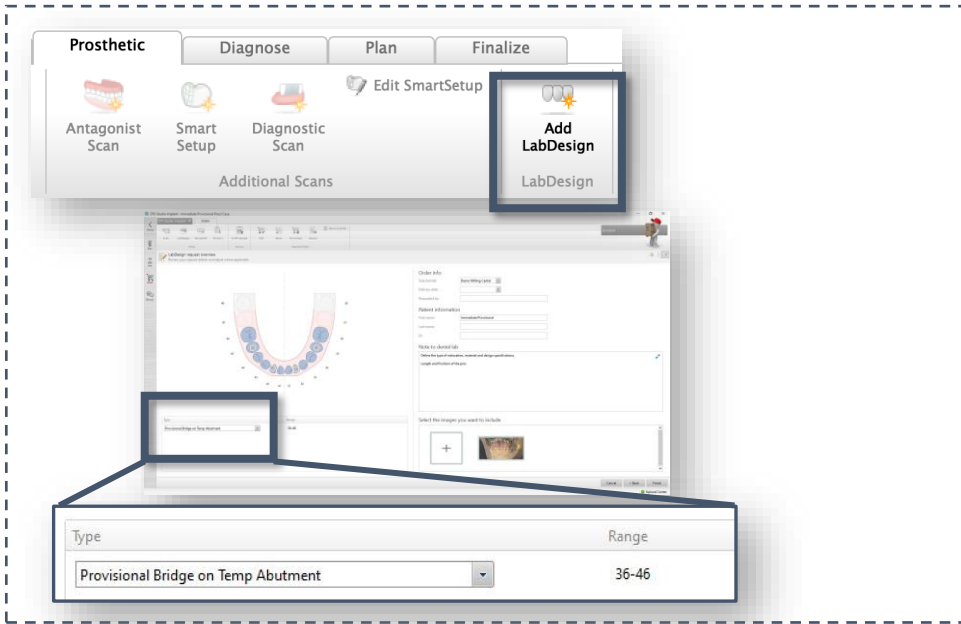


- 患者の解剖学的構造と補綴物の目標に従ってインプラントの位置を定義します

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



2. Treatment plan Prosthetically driven planning



- 計画が完成したら、Lab Designリクエスト「Temp Abutmentsの暫間ブリッジ」を作成し、DTX Studio Labパートナーにケースを送信します。
- 3〜4つのStumpを配置する必要がある場所にメモ/写真を追加します。

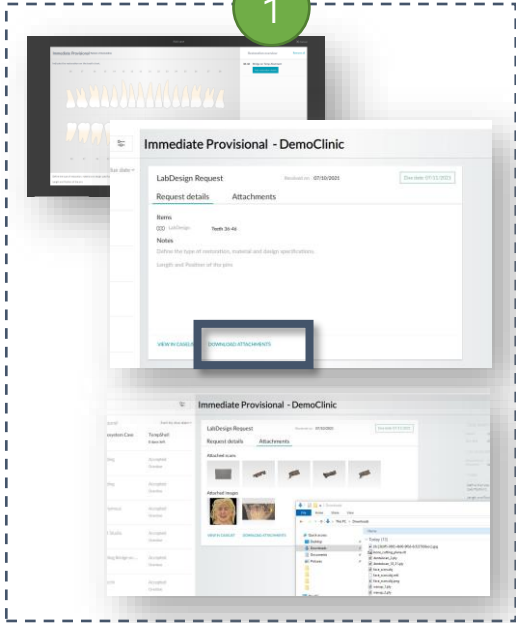
- DTX Studio Labパートナーはリクエストを受け取り、Temp Abutmentsで暫間ブリッジを設計し、完了したらケースを共有します。

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



3. Design restoration

1



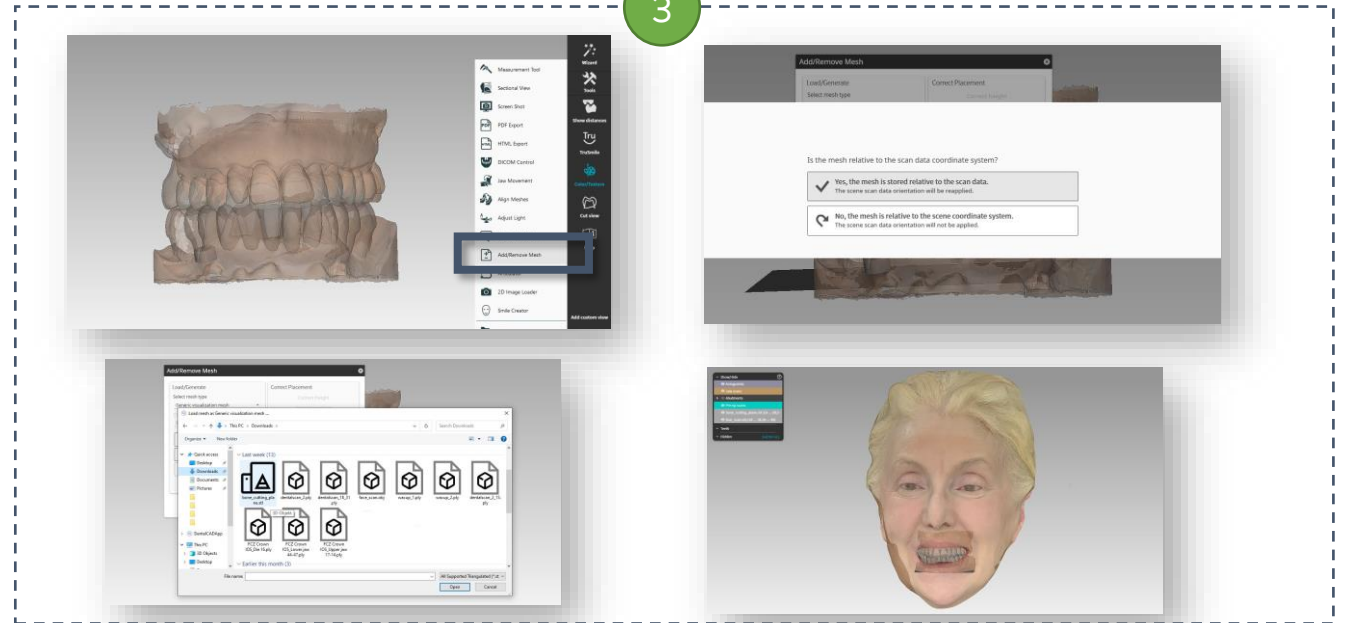
- "要請を受け入れます"
- 添付ファイルをダウンロードします。

2



- 設計を開始します。

3



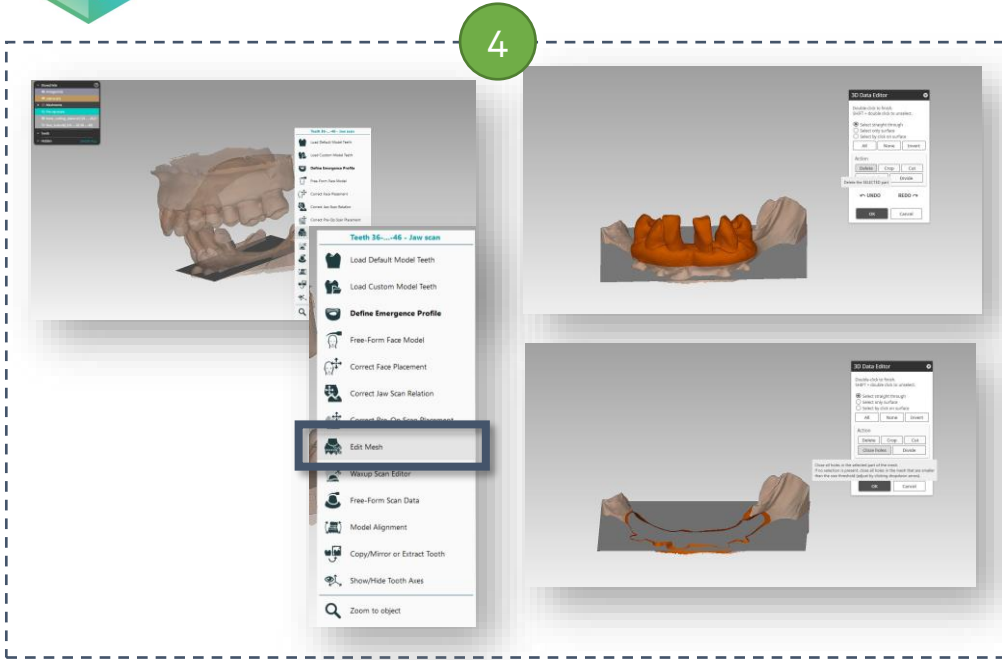
- エキスパートモードを使用する：
- 「メッシュの追加」をクリックします。
- 骨切断面をインポートします。
- 3Dフェイススキャンをインポートする。
- .STLサーフェス*に変換されている場合は、CBCTをインポートすることも可能です。

*オプション：ユーザーがXガイドを持っている場合：ユーザーは必要に応じてCBCTをSTLに変換できますこれは、ケースをX-Guideにエクスポートし、ボーンメッシュを「マージされたアイテム」としてエクスポートすることで実行できます。エクスポートされたSTLデータは、DTX Studio Labパートナーと共有できます。



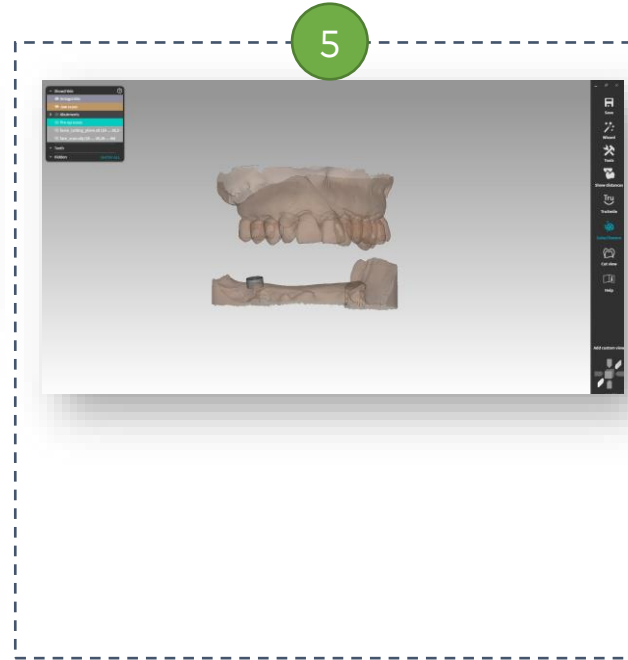
3. Design restoration

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



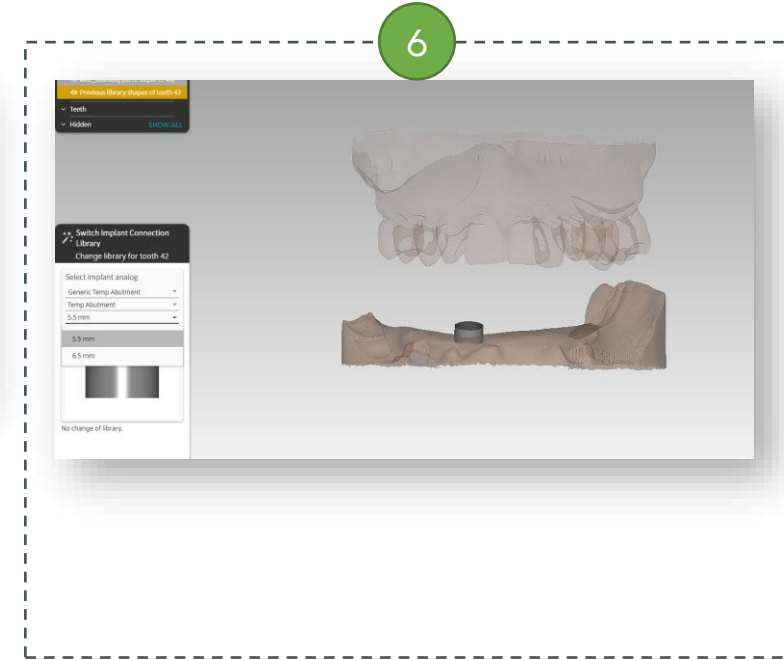
4

- メッシュを編集し、骨切断面に基づいて歯を削除します。



5

- ウィザードモードに戻り、設計を続行します



6

- テンポラリーアバットメントの穴を定義する。
・選択できる2xプリセットがあります

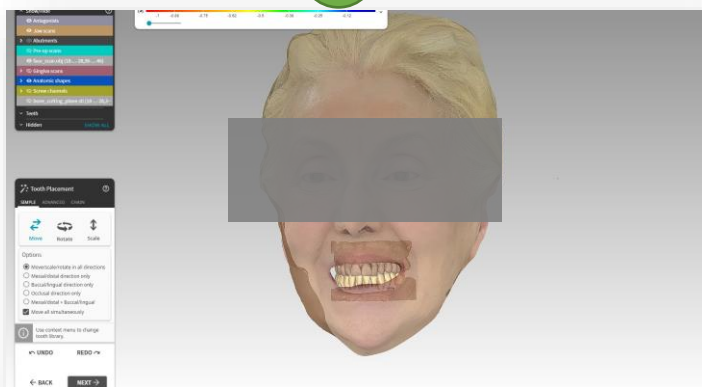
注：プリセット値は、テンポラリーアバットメントの直径+樹脂/光硬化材料を接着するための追加スペースです。

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



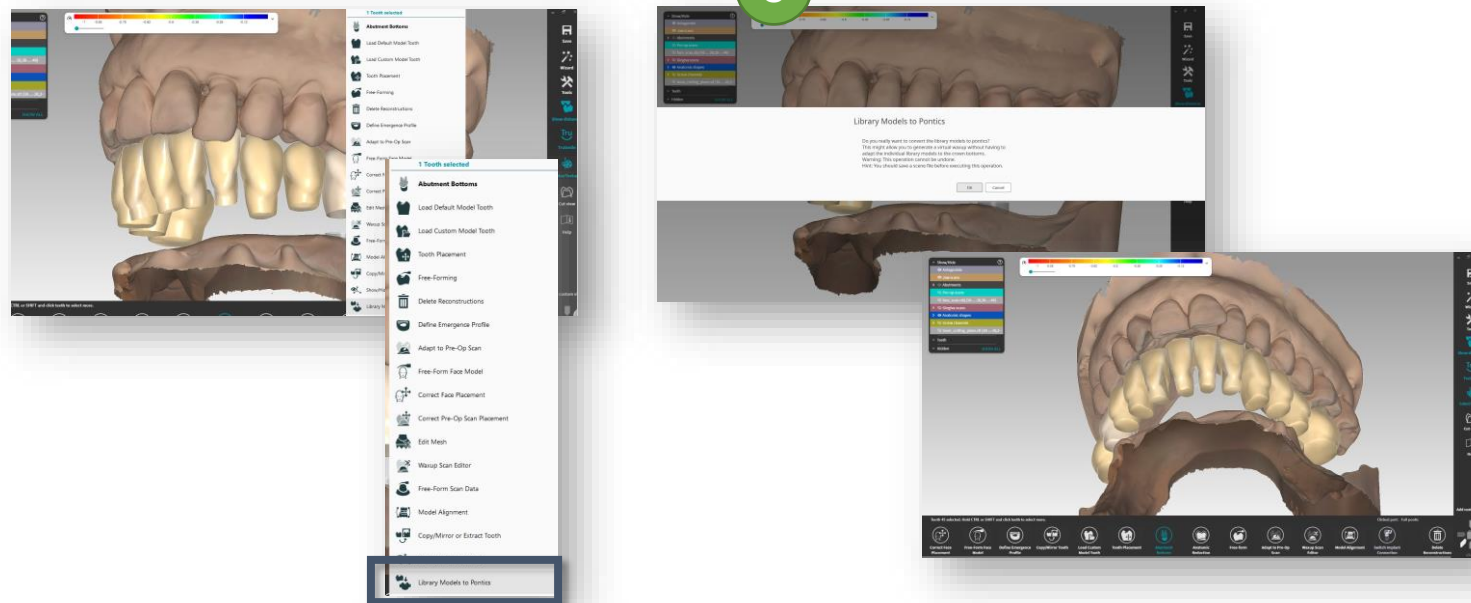
3. Design restoration

7



- 歯の配置を続行します。

8



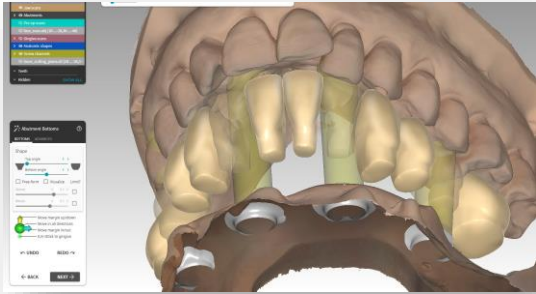
- 完了したら、エキスパートモードをクリックして、「ライブラリモデルをポンティックスに変換」します。
- 「OK」をクリックして、ウィザードモードに戻ります。

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



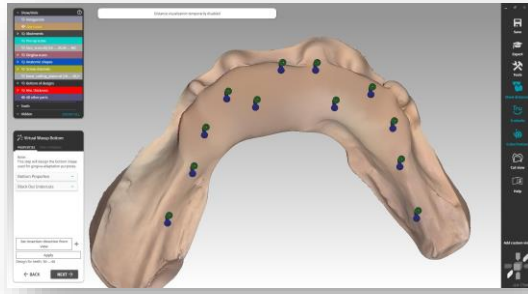
3. Design restoration

9



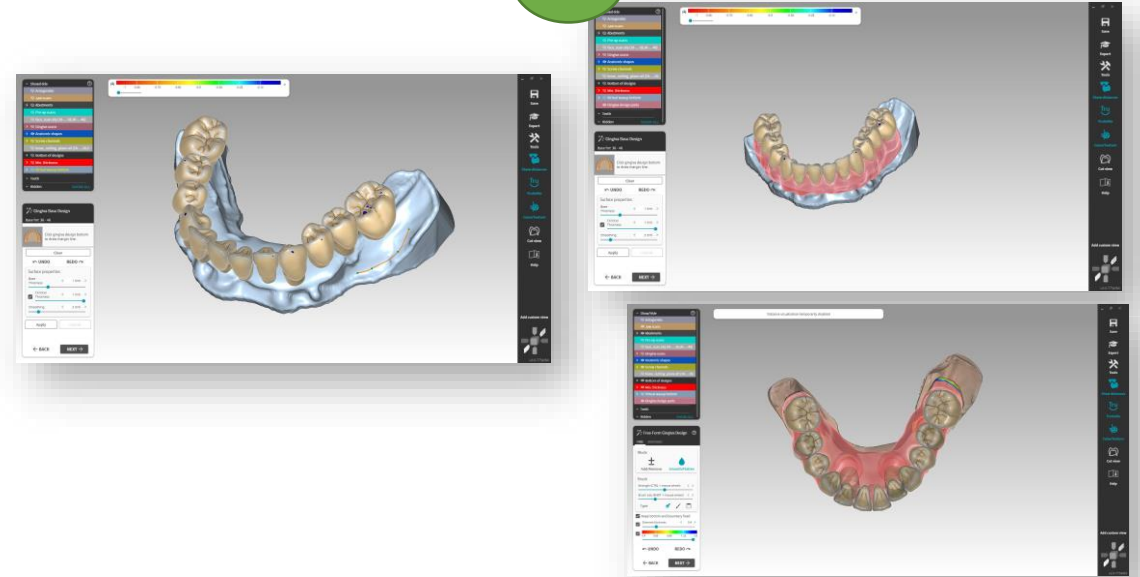
- アバットメントのボトムデザインを続行します。

10



- 仮想歯肉設計用の仮想ワックスアップボトムを準備します。

11



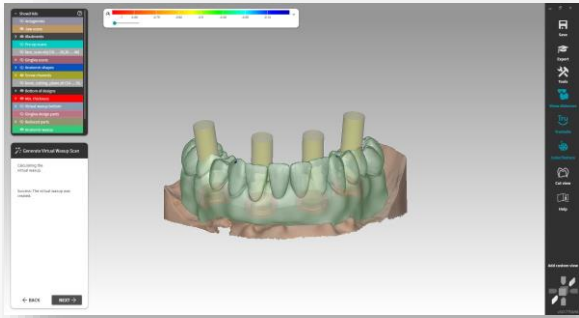
- 仮想の「Gingivaベースデザイン」を定義します。



3. Design restoration

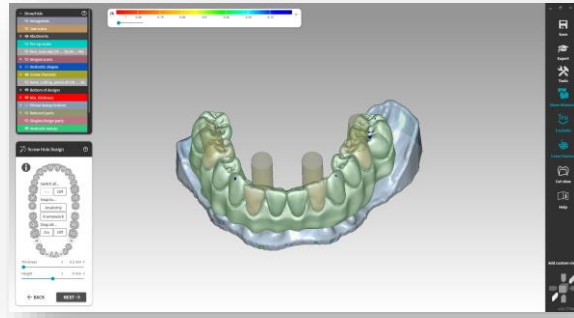
Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy

12



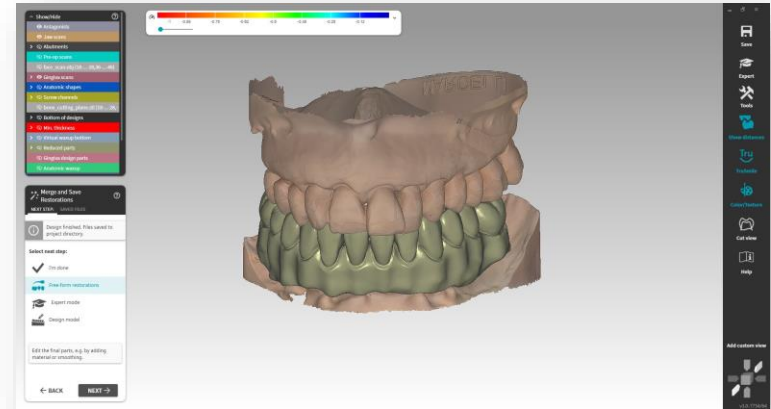
- バーチャルワックスアップを生成します。

13



- アバットメント貫通部の設計を確認します。

14



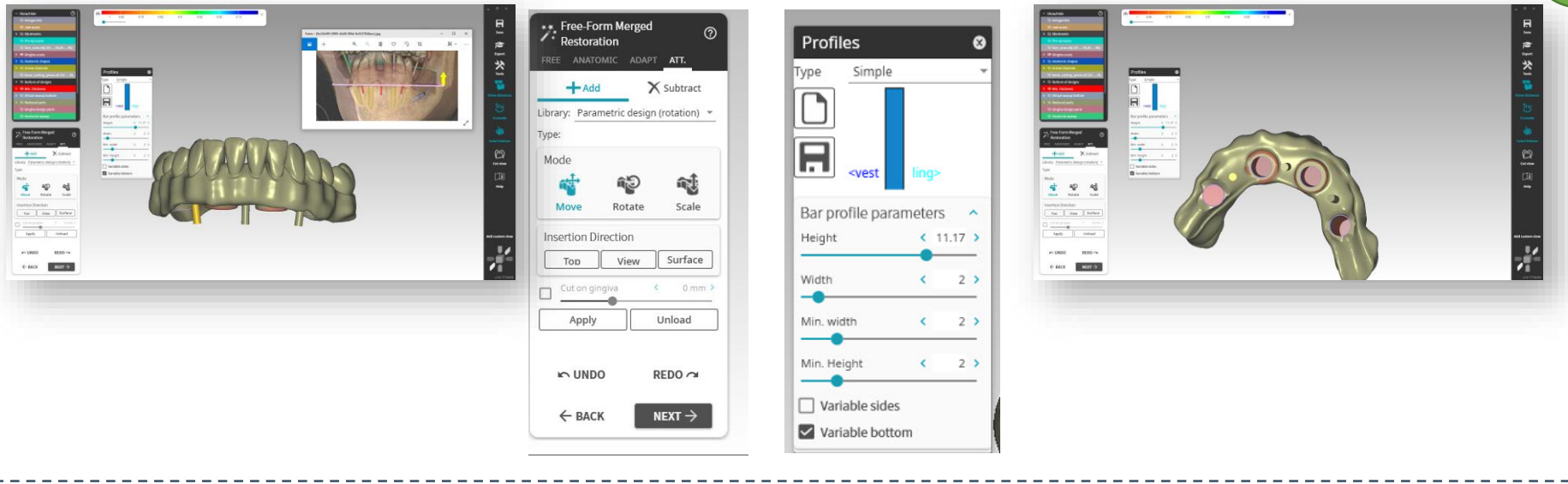
- 設計が完了したら、「自由変形」をクリックします。
- この次のステップでは、Stumpを作成する必要があります。



3. Design restoration

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy

15



• ケースの保存

- 「アタッチメント」ツールを使用して、ライブラリ「パラメトリックデザイン回転」を選択します。
- Stumpのサイズ、臨床医の要求に基づいたプロフィールパラメータを定義します。
- 次の手順に従ってStumpを配置します。
 - 臨床医からのコメント
 - 骨切断面
 - 修復物の下面（凹版表面）。

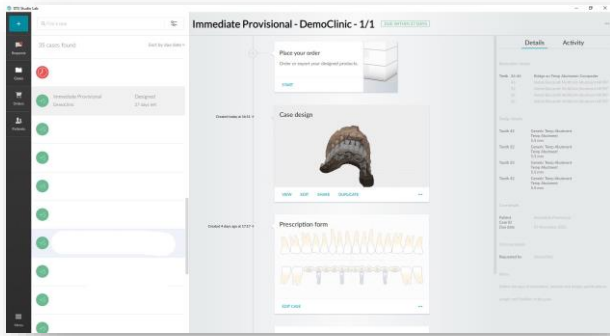
• 設計の完了

Case courtesy of Prof. Alessandro Pozzi, Italy



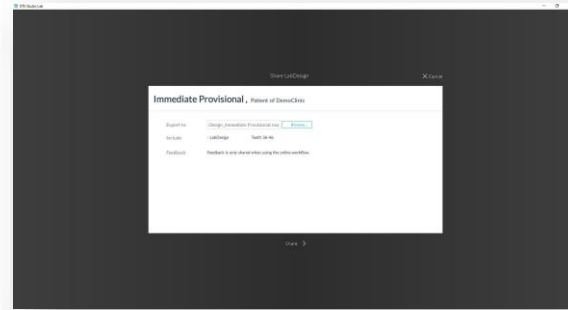
3. Design restoration

16



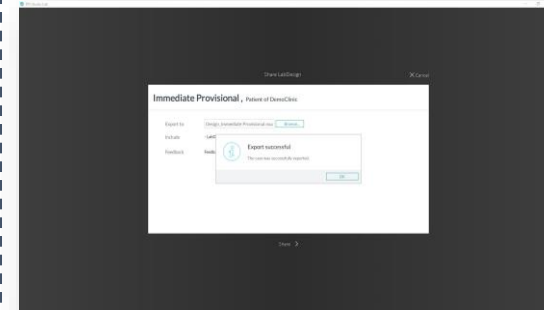
- 「注文する」を選択します。

17



- DTX Studioインプラントパートナー（リクエスター）とデザインを共有します。

18



- ローカルプロダクション用のファイルをエクスポートします。

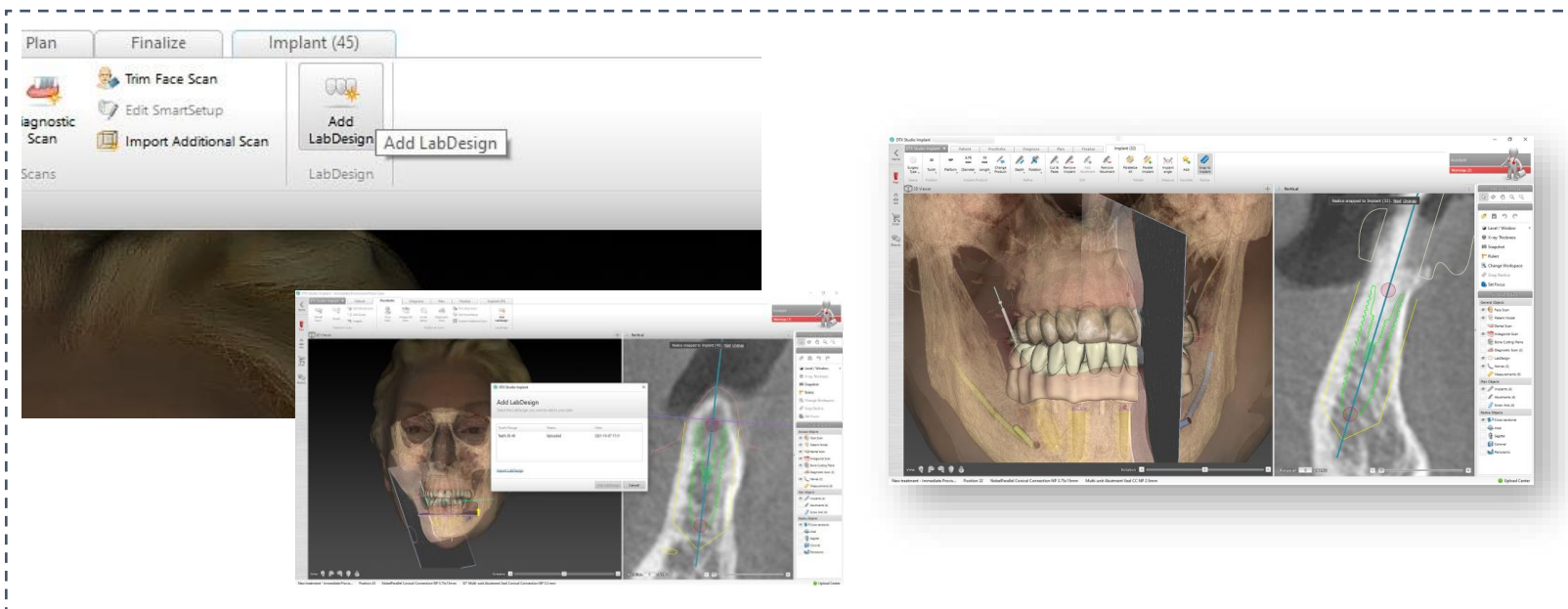
4. Produce restoration



- ミリングまたはプリンティング：
- テンポラリーアバットメント用の暫間ブリッジを作成し、完成したら臨床医に納品します。

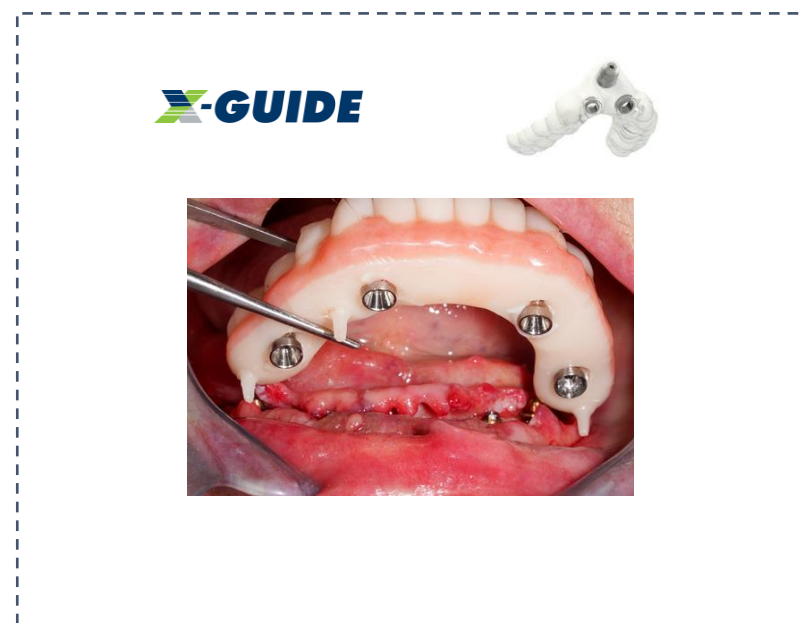


5. Treatment plan Prosthetically driven planning



- DTX Studioインプラントを起動し、「LabDesignを追加」を選択します。
- イミディエイトプロビジョナルのデザインをレビューします。

6. Surgery



- 計画を受け入れ、外科手術に進みます。
- ナビゲート手術 (X-Guide)への計画のエクスポートまたは
- 手術用テンプレートを生成します。

